PL40JA01-1.book 1 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

J

PL-40R

取扱説明書（保証書別添）

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、
正しくお使いください。
本書は、お読みになったあとも、大切に保管して
ください。

CASIO

PL40R-JA-1-Z

Z

426-JA-002A

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

すべての警告事項に注意してください。

以下の指示事項に従ってください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警　告
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。（左の例は電源プラグ本体を持ってコンセントから抜く）

⚠ 警　告
煙、臭い、発熱などの異常について
煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。 1. 電源スイッチを切る。 2. AC アダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。 3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。
AC アダプターについて
AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。 ◆ 必ず本機指定の AC アダプターを使用する ◆ 電源は、AC100V (50/60Hz) のコンセントを使用する ◆ １つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
AC アダプターについて
AC アダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。 ◆ 重いものを乗せたり、加熱しない ◆ 加工したり、無理に曲げない ◆ ねじったり、引っ張ったりしない ◆ 電源コードやプラグが傷んだら、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する 特に、プラグ、汎用コンセントおよび電源コードが機器から出たところで、電源コードが踏みつぶされた状態になったり、何か挟んで締め付けた状態にならないようにしてください。

安全上のご注意

⚠ 警 告

AC アダプターについて

濡れた手でACアダプターに触れないでください。
感電の原因となります。

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

水、異物はさける

水、液体、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. AC アダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. AC アダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 警 告

本機やスタンド※に乗らない

本機の上にのったり、揺らしたりしないでください。特に小さなお子様のいるご家庭では十分にご注意ください。スタンドが倒れてけがをする恐れがあります。

不安定な場所に置かない

本機を、ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところ★に置かないでください。倒れてけがをする恐れがあります。

★ じゅうたんの重なりやコードの挟み込みなどに注意。

スタンドは必ず本体とネジでしっかりと固定してご使用ください。本体が落ちてけがをする恐れがあります。

⚠ 注 意

AC アダプターについて

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
  （必ずACアダプターのプラグを持って抜く）

AC アダプターについて

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 雷雨のとき、または旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年一回以上清掃する

⚠ 注 意

AC アダプターについて

ブックケースや同様の狭い場所にACアダプターを設置しないでください。また、AC アダプターを紙や本等で覆わないでください。

移動させるときは

移動させる場合は、必ず AC アダプターのプラグをコンセントから抜き、その他の外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は、AC アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

本機のお手入れについて

お手入れにベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は使わないでください。
お手入れをする際は、必ず湿気を含ませた布を使用して拭き取ってください。

コネクター部への接続

コネクター部には、指定以外の別売品を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙があたるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

⚠ 注 意

置き場所について

- 本機を水の近くで使用しないようにしてください。
- 放熱器、温風ヒーター、ストーブその他の熱を発する装置（増幅器を含む）の熱源の近くに、本機やアダプターを置かないようにしてください。

液晶表示について

- 液晶表示を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示が割れた場合、表示内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
  - * 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
  - * 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。

音量について

大きな音量で長時間使用しないでください。特にヘッドホンをご使用の際にはご注意ください。設定によっては、聴力障害の原因となることがあります。

健康上のご注意

ごくまれに、強い光の刺激や光の点滅を受けたりしていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいるという報告があります。

- このような症状のある方がお使いになる場合は、事前に必ず医師と相談してください。
- 本機を使用する場合には、明るい部屋で使用してください。
- 使用中にこのような症状がおきた場合には、すぐに使用を中止して、医師の診察を受けてください。

安全上のご注意

⚠ 注 意
重いものを置かない
本機の上に重いものを置かないでください。 バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
スタンド※は正しく組み立てる
スタンドが倒れたり、本機が落ちたりして、けがの原因となることがあります。スタンドに記載されている組み立ての説明にしたがって、しっかりと組み立ててください。また、本機はスタンドに正しく設置してご使用ください。 ◆ 本体をスタンドに乗せるときは、本体とスタンドの間に手をはさまないようご注意ください。 ◆ 本機の設置や移動は、必ず二人以上で行ってください。一人で無理に移動させると、スタンドが倒れてけがをする恐れがあります。 ◆ 本機の設置や移動時には、スタンドを引きずったり、前後に傾けたりしないでください。スタンドが倒れてけがをする恐れがあります。 ◆ スタンドのネジがゆるんでいないか、時々点検してください。ゆるんでいたら再度ネジをしっかりと締めてください。スタンドが倒れたり、本体が落ちてけがをする恐れがあります。
付属品について
付属品類は、当社が指定したもの以外は、絶対に使用しないようにしてください。

※ スタンドは別売品です。

主な特長

■ シンプルでコンパクトなデザインです。

インテリアと調和しやすいシンプルなデザインとコンパクトサイズで、設置場所を気軽に選べます。

■ 70 曲の自動伴奏曲を聴いたり、鍵盤の光に合わせて曲を練習できます。（アドバンストレッスンシステム）☞ 35、38

本機は、70 曲の自動伴奏曲を内蔵しています。曲を聴いたり、メロディーなどを消してその部分を自分で弾いたりすることができます。
レッスン機能では、各曲を３つのアレンジレベルから自分の好きなレベルを選んで、練習することができます。練習したいパートを選んで、鍵盤の光を追いかけて、初めは鍵盤を弾くタイミングを覚え、次に自分のペースで、最後には普通の速さで演奏できるように段階別に練習することができます。

■ 大型液晶画面に鍵盤を押さえるための指使いや、五線譜などを表示し、鍵盤演奏の手助けをします。☞ 12

指使いはピアノ初心者向けに、無理のない押さえ方を表示します。

■ 演奏内容を録音してオリジナル曲が作れます。（シーケンサー機能）☞ 51

本機の自動伴奏を使った演奏を記録できる「システムトラック」に加え、１トラックにつき１音色を使って記録できる 16 のトラックを合わせて、17 のトラックで演奏を録音できるマルチトラックシーケンサーを内蔵しています。

■ 100 種類のリズムに合わせて演奏できます。（100 リズム）☞ 22

ロックやポップス、ジャズなど、100 種類のリズムを備えています。

■ 一人でアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。（自動伴奏機能）☞ 23

コードを指定するだけで、リズム、ベース音、コード楽器の伴奏が自動的に演奏されます。また、リズムごとにプログラムされた、リズムにふさわしい音色、テンポ設定などを瞬時に呼び出したりすることもできます。（ワンタッチプリセット機能）

■ いろいろな音色が楽しめます。（271 音色）☞ 18、69

本機には、グランドピアノやビブラフォンなど、ボタン操作で簡単に選べる 271 種類の音色があります。
さらに、演奏する場所の環境に合わせて、最適な音質（イコライザー設定）を選んで演奏できます。（音質選択機能）

■ DTM 用の入力キーボード／音源として利用できます。（GM 対応）☞ 64

コンピュータを利用した DTM（デスクトップ・ミュージック）が楽しめる GM（General MIDI）準拠の音色を内蔵。DTM 用の入力キーボード／音源として利用できます。

■ 演奏パート／ MIDI チャンネルごとに、個別に詳細な楽音設定が可能です。（ミキサー機能）☞ 44

自動伴奏の各パートや、シーケンサーに録音した曲の各トラックごとの音色、音量、ステレオ定位などといった楽音の設定を、自在に行うことができます。また MIDI 入力に対して、入力チャンネル別に同様の楽音設定が可能です。

■ エフェクト機能☞ 33

DSP ＋コーラス＋リバーブの合計３ブロックのエフェクターを搭載。各ブロックごとのエフェクトの選択やオン／オフが可能です。

主な特長

■ 本機の各種の設定をすばやく呼び出すことができます。（レジストレーション機能）☞ 48

曲に応じた音色、リズムの種類、テンポなどの各種の設定を一括して登録（レジストレーション）しておいて、後からすばやく呼び出すことができます。16 セット（４セット×４バンク）まで登録可能です。

■ パソコンでダウンロードした楽譜データをミュージックライブラリーで使用できます。（転送機能）☞ 68

CASIO インターネット楽譜配信サービスを利用すれば、本機に内蔵していない曲を本機のミュージックライブラリー（ユーザーエリア：最大10曲）に取り込んで、再生したりアドバンストレッスン機能で練習することができます。

インターネット
楽譜配信サービス
のご案内

Windows
95/98/Me/XP
対応

130円/1曲から購入可能。
人気のJ-POPやアニメ、演歌、
ピアノ曲などの豊富なラインアップ！

http://music.casio.co.jp

●●●「インターネット楽譜ナビ」が楽しめます●●●

お好きな曲をレパートリーに加えてみませんか？
メロディー・コード・歌詞つきの楽譜を表示、
印刷も可能です。本体とパソコンをつなげて
曲を聴いたり、３ステップレッスンができます。
カラオケや鍵盤楽器以外の練習にも最適！

NOTE

- 記載された社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

目次

安全上のご注意 1

主な特長 5

目次 7

各部の名称 9
液晶表示の見方 12

電源について 14
AC アダプターの使い方 14
電源切り忘れのお知らせ機能 14
設定とメモリー内容について 15

接続のしかた 16
付属品・別売品について 16

基本操作編

基本的な操作をしてみましょう 18
音を出してみましょう 18
音色を選ぶには 18
UPPER1/UPPER2/LOWER1/LOWER2 の各パートについて 19
レイヤー機能を利用するには 19
スプリット機能を利用するには 20
レイヤーとスプリットを同時に使うには 20
鍵盤の光を消すには 21
ペダルの効果をかけるには 21

自動伴奏を鳴らしてみましょう 22
モードボタンについて 22
リズムを選ぶには 22
リズムを鳴らすには 23
コード自動伴奏を鳴らすには 23
テンポを調節するには 25
伴奏の音量を変えるには 25
イントロを入れるには 26
フィルインを入れるには 26
バリエーションを利用するには（同一伴奏パターンで伴奏の雰囲気を変える） 26
ブレイクを利用するには（自動伴奏の途中に間を入れる） 26
シンクロスタートを利用するには（伴奏とリズムを同時にスタートさせる） 27
エンディングを付けて曲を終わらせるには 28
オートハーモナイズを使うには 28
ワンタッチプリセットを使うには 30
メトロノームを使うには 30
トランスポーズ機能を利用するには 31
チューニング機能を使うには 31
タッチレスポンス機能を利用するには 32

音色にエフェクトをかけてみましょう 33
エフェクトの構成について 33
エフェクトを設定するには 33

アドバンストレッスンシステム１：ミュージックライブラリーの曲を聴いてみましょう 35
曲を選ぶには 35
曲を鳴らすには 36
曲のテンポを調節するには 36
曲を一時停止するには 37
曲を早戻しするには 37
曲を早送りするには 37
フレーズを繰り返し聴くには 37

アドバンストレッスンシステム２：ミュージックライブラリーの曲を練習してみましょう 38
アレンジレベル 38
レッスンパートの選択 38
３ステップレッスンについて 39
ステップ１：弾くタイミングを覚えます 39
ステップ２：弾く鍵盤、指使い、強弱を覚えます 40
運指音声（しゃべる運指） 41
ステップ３：普通の速さで弾いてみましょう 41
レッスンパートの音色を変えるには 42

目次

応用操作編

ミキサー機能を利用するには 44
パートについて 44
特定のパートの設定を変えるには 45
パラメータ詳細 46

レジストレーション機能を使ってみましょう 48
レジストレーション機能でできること 48
登録するには 49
登録した設定を呼び出すには 50

演奏を録音してみましょう（シーケンサー機能）.....51
シーケンサー機能について 51
シーケンサー機能のメインメニュー／サブメニューの遷移と概要 54
演奏をそのまま録音するには（リアルタイム録音）.....55
途中から録音をやり直すには（パンチイン録音）.....58
曲頭設定の書き換え（パネルレコード）.....59
録音した内容を再生するには 59
録音全体に関わる設定をするには 60

MIDI の利用について 64
MIDI とは 64
本機による MIDI メッセージの送受信について 65
MIDI 関連の設定について 66
コンピュータとの接続について 67
USB モード・MIDI モードについて 67
パソコンでダウンロードした楽譜データをミュージックライブラリーで使用するには（転送機能）.....68

設定を変えるには 69
設定項目について 69
設定メニュー項目詳細 71

附　　録

困ったときは 82

製品仕様 85

ご使用上の注意 88

保証・アフターサービス 89

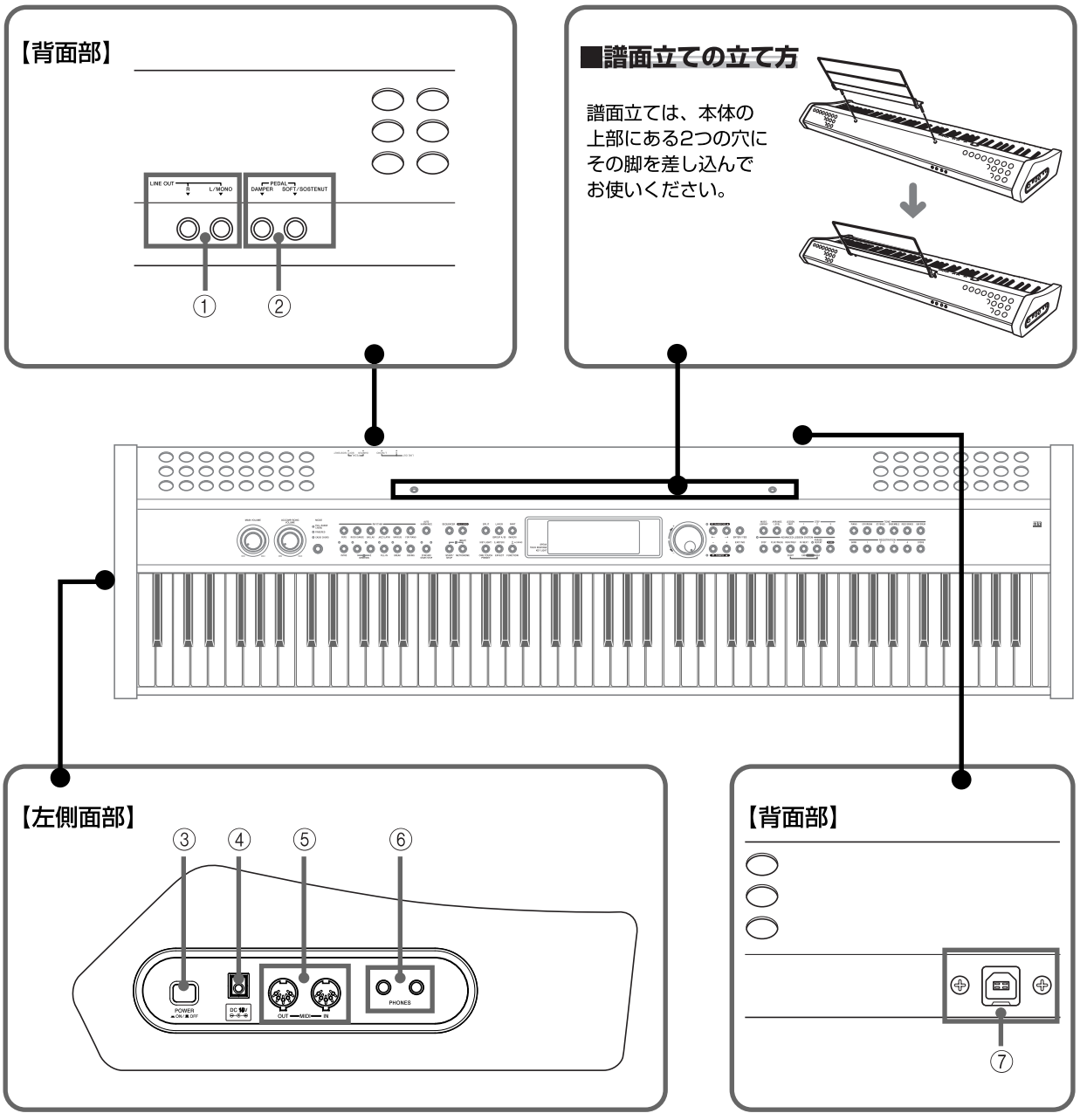
資料 90
トーンリスト 90
ドラム音色リスト 96
リズムリスト 99
エフェクト一覧 100
フィンガード／フルレンジコード一覧 ...101
ソングリスト 104
パラメーター一覧 106

MIDI インプリメンテーション 111
チャンネルメッセージ 111
システムメッセージ 120

索引 130

MIDI インプリメンテーション・チャート

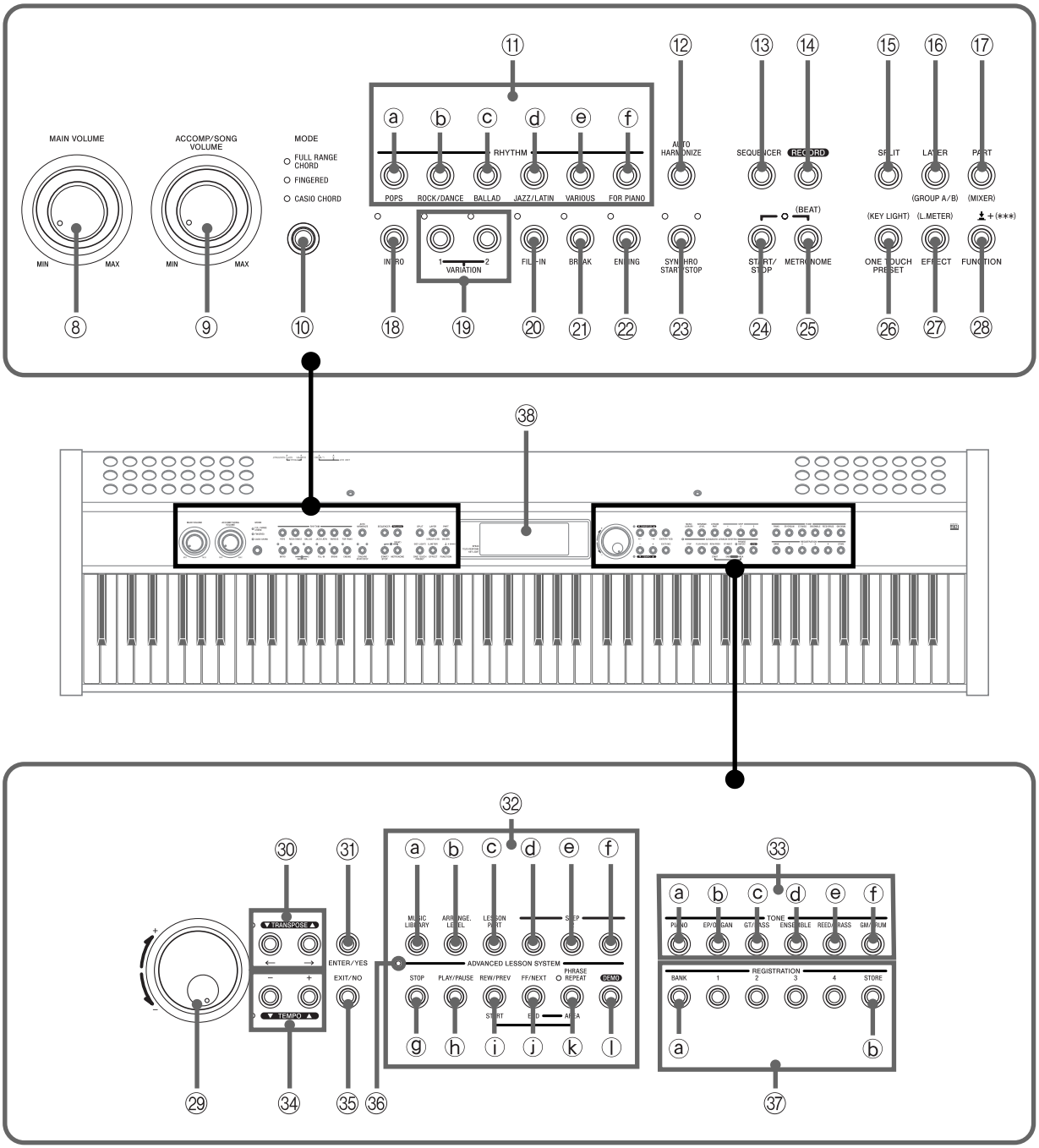
各部の名称



- ☞ マーク右の数字は、参照ページです。
- [ ] 内の文字は、本体に印刷されている名称です。

① ラインアウト端子［LINE OUT R, LINE OUT L/MONO］☞ 16
② ダンパーペダル端子、ソフト／ソステヌートペダル端子［PEDAL DAMPER, PEDAL SOFT/SOSTENUTO］☞ 16、21
③ 電源ボタン［POWER］☞ 14、18
④ 電源端子［DC 15V］☞ 14
⑤ MIDI イン端子［MIDI IN］、MIDI アウト端子［MIDI OUT］☞ 66
⑥ ヘッドホン端子［PHONES］☞ 16
⑦ USB 接続端子［USB］☞ 67

各部の名称

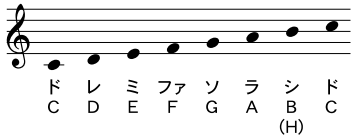


⑧ 全体の音量つまみ［MAIN VOLUME］☞ 16、18
⑨ 伴奏／ソングの音量つまみ［ACCOMP/SONG VOLUME］☞ 25
⑩ モードボタン［MODE］☞ 22、23、30
⑪ リズムボタン［RHYTHM］☞ 22
ⓐ POPS ボタン
ⓑ ROCK/DANCE ボタン
ⓒ BALLAD ボタン
ⓓ JAZZ/LATIN ボタン
ⓔ VARIOUS ボタン
ⓕ FOR PIANO ボタン
⑫ オートハーモナイズボタン［AUTO HARMONIZE］☞ 28
⑬ シーケンサーボタン［SEQUENCER］☞ 56、60 ～ 63
⑭ レコードボタン［RECORD］☞ 56、59、60

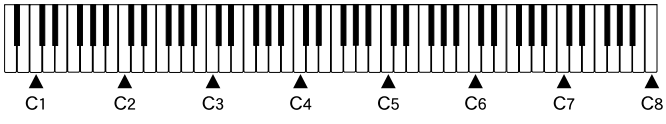
⑮ スプリットボタン［SPLIT］☞ 20
⑯ レイヤー／（グループ A/B）ボタン
［LAYER/(GROUP A/B)］☞ 19、45
⑰ パート／（ミキサー）ボタン
［PART/(MIXER)］☞ 45
⑱ イントロボタン［INTRO］☞ 26
⑲ バリエーションボタン 1/2［VARIATION 1/2］☞ 26
⑳ フィルインボタン［FILL-IN］☞ 26
㉑ ブレイクボタン［BREAK］☞ 26
㉒ エンディングボタン［ENDING］☞ 28
㉓ シンクロスタート／ストップボタン
［SYNCHRO START/STOP］☞ 27
㉔ スタート／ストップボタン［START/STOP］☞ 23
㉕ メトロノーム／（拍子）ボタン
［METRONOME/(BEAT)］☞ 30
㉖ ワンタッチプリセット／（キーライト）ボタン
［ONE TOUCH PRESET/(KEY LIGHT)］☞ 21、30
㉗ エフェクト／（レベルメーター）ボタン
［EFFECT/(L.METER)］☞ 33、34
㉘ 機能ボタン［FUNCTION/ ± +(***)］☞ 21、31、45、70
㉙ ダイヤル ☞ 18、25、31 ～ 33、35
㉚ トランスポーズボタン［▲］/［▼］［TRANSPOSE］、
［←］/［→］ボタン ☞ 18、31 ～ 33、35
㉛ エンター／イエスボタン
［ENTER/YES］☞ 49、58、60 ～ 63
㉜ アドバンストレッスンシステム
［ADVANCED LESSON SYSTEM］☞ 35、38
ⓐ ミュージックライブラリーボタン
［MUSIC LIBRARY］☞ 35
ⓑ アレンジレベルボタン［ARRANGE. LEVEL］☞ 38
ⓒ レッスンパートボタン［LESSON PART］☞ 38
ⓓ ステップ 1 ボタン［STEP 1］☞ 39
ⓔ ステップ 2 ボタン［STEP 2］☞ 40
ⓕ ステップ 3 ボタン［STEP 3］☞ 41
ⓖ 停止ボタン［STOP］☞ 37
ⓗ 演奏／一時停止ボタン［PLAY/PAUSE］☞ 37
ⓘ 早戻し／前ボタン［REW/PREV］、
始点ボタン［START］☞ 37
ⓙ 早送り／次ボタン［FF/NEXT］、
終点ボタン［END］☞ 37
ⓚ フレーズリピートボタン［PHRASE REPEAT］、
区間指定ボタン［AREA］☞ 37
ⓛ デモボタン［DEMO］※ ☞ 11
㉝ トーンボタン［TONE］☞ 18
ⓐ PIANO ボタン
ⓑ EP/ORGAN ボタン
ⓒ GT/BASS ボタン
ⓓ ENSEMBLE ボタン
ⓔ REED/BRASS ボタン
ⓕ GM/DRUM ボタン
㉞ テンポボタン［▲］/［▼］［TEMPO］、
＋／－ボタン ☞ 18、25、31 ～ 33、35、36
㉟ エグジット／ノーボタン
［EXIT/NO］☞ 45、59、60 ～ 63、70
㊱ ミュージックライブラリーモードランプ ☞ 35
㊲ レジストレーションボタン
［REGISTRATION］☞ 49、50
ⓐ バンクセレクトボタン［BANK］☞ 49、50
ⓑ ストアボタン［STORE］☞ 49
㊳ 液晶表示 ☞ 12

NOTE

音名の対応



C4 などの数字は鍵盤の位置を示しています。



※デモ演奏の聴き方

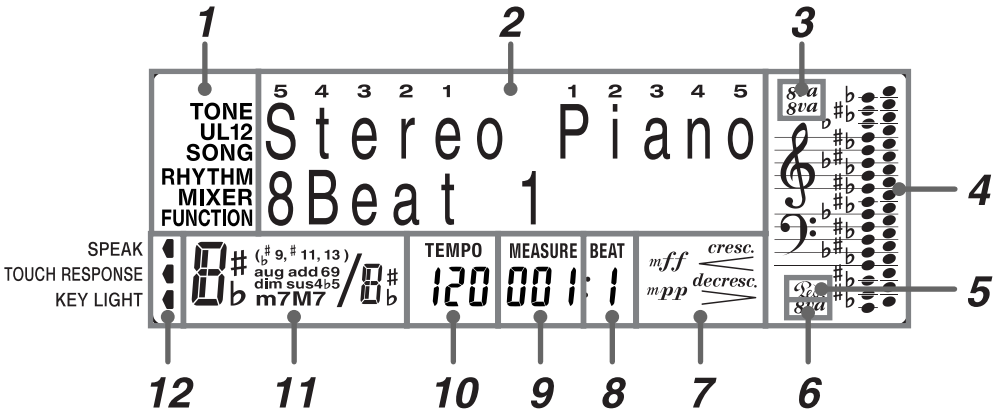
1. デモボタンを押すとデモ演奏が開始されます。
   - ミュージックライブラリーボタンのランプが点滅します。
   - デモ演奏は、ミュージックライブラリーの先頭の曲から、全曲を繰り返し再生します。
     ユーザーグループの曲は演奏されません。（104 ページ「ソングリスト」参照）
   - デモ演奏中は、＋／－ボタンまたはダイヤルで曲を変更できます。
   - ［←］/［→］ボタンを使って、曲グループを変更できます。
2. デモボタンまたはスタート／ストップボタンで演奏を停止します。

NOTE

- デモ演奏に合わせてデモで使われている音色で鍵盤演奏ができます。
- デモ演奏中は MIDI（USB）機能が使用できません。

各部の名称

液晶表示の見方



1. 表示

音色（TONE）／パート（U1/U2/L1/L2）／ソング（SONG）／リズム（RHYTHM）／ミキサー（MIXER）／機能（FUNCTION）の設定時に、対応する表示がそれぞれ点灯します。

2. 名称

現在選択されている音色名／音色番号（GM 音色を選択した場合）、リズム名、曲番号／曲名を表示します。（現在いずれの名称が表示されているかは、***1.*** で確認できます）他にも、使用中の機能に応じた各種表示に使われます。また、レッスン、曲演奏時には鍵盤の押さえ方や運指番号を表示します。

NOTE

- 音色名、リズム名、ソング名は、表示する言語を英語、日本語に切り替えすることができます。設定は、ディスプレイ設定メニューで行います。69 ページの「設定を変えるには」を参照してください。
- メモリーバックアップをオンにしておけば、電源を入れ直しても表示する言語の設定をそのままにできます。69 ページの「設定を変えるには」を参照してください。

3. オクターブ記号１

本機で発音中の音が、***4.*** の音符表示より１オクターブ高いときに１つ、２オクターブ高いときに２つ点灯します。

4. 五線譜

弾いた鍵盤やレッスン時の練習パートの音の高さや、メモリー機能の演奏内容、コードフォーム、MIDI で受信したデータなどを五線譜上に表示します。

5. ペダルマーク

ペダルを踏んだときや、レッスン時にペダルを踏むタイミングのときにペダルマークを表示します。

6. オクターブ記号２

本機で発音中の音が、***4.*** の音符表示より、１オクターブ低いときに点灯します。

7. 強弱記号

レッスン、曲演奏時に鍵盤を弾く強さを表示します。

8. 拍数

リズムや自動伴奏、アドバンストレッスンシステム機能、シーケンサー機能の利用中に、拍数を表示します。

PL40JA01-1.book 13 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

9. 小節数

リズムや自動伴奏、アドバンストレッスンシステム機能、シーケンサー機能の利用中に、演奏開始時からの小節数を表示します。

10. テンポ値

リズムや自動伴奏、アドバンストレッスンシステム機能、シーケンサー機能を利用する際のテンポを、１分間当たりの拍数で表示します。

11. コード名

自動伴奏を利用するときに、コード名が表示されます。

12. インジケーター

運指音声、タッチレスポンス、キーライトの各機能を使用しているとき、それに対応するドットが点灯します。

NOTE

- 本書中では、液晶画面の図が機能説明や操作説明などと共に掲載されています。これらの図は、それぞれの説明の中で一例として挙げているもので、数値や文字表示などは必ずしも本体と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。

レベルメーター表示について

画面を切り替えてレベルメーター表示にすると、各パートのオン／オフ（あるいは無し）とオンの場合はそのレベル（２段階）が表示されます。また、シーケンサーの再生待機中には、各トラックに録音データがあるかどうかを確認することができます。

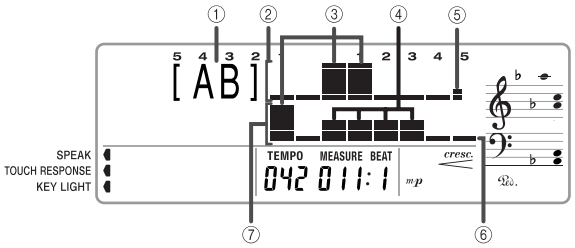
NOTE

レベルメーター表示は、以下のモード時で切り替えできます。

- 音色／リズム表示画面
- ミュージックライブラリー
- シーケンサー再生待機中
- シーケンサー再生中

■ 画面をレベルメーター表示に切り替えるには

1. 機能ボタンを押しながら、エフェクト／(レベルメーター）ボタンを押します。



① 現在表示しているグループ
② 上段
③ レベル大
④ レベル小
⑤ パートがオフまたは無い場合
⑥ パートがオンの場合
⑦ 下段

2. 機能ボタンを押しながらレイヤー／(グループ A/B）ボタンを押して、表示するグループを切替えます。

- レベルメーター表示の上段・下段に表示される内容は、現在選ばれているミキサーのグループ(44 ページ)によって異なります。
- [A] … グループ A（インターナル）
  上段：アッパー１～オートハーモナイズ２
  下段：パーカッション～コード５
- [B] … グループ B（エクスターナル）
  上段：パート１～８
  下段：パート９～ 16
- [AB] … ミュージックライブラリーモードのときは、グループ A/B の両方を表示します。

3. 元の画面に戻るには、エグジット／ノーボタンを押します。

電源について

本機は、電源として家庭用電源を使用します。
ご使用後は、必ず電源を切ってください。

AC アダプターの使い方

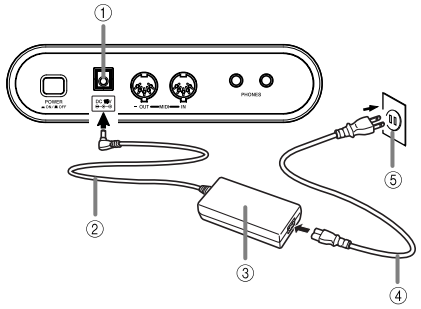
本機指定の AC アダプターおよび AC コードを接続してください。

AC アダプターを接続するには

1. 本機指定の AC コードを本機指定の AC アダプターに差し込みます。
2. AC コードをコンセントに差し込みます。
3. アダプターコードを本機に差し込みます。

本機指定 AC アダプターの型式：AD-15ML

【左側面部】



① 電源端子
② アダプターコード
③ AC アダプター AD-15ML
④ AC コード
⑤ 家庭用電源（100V）

なお、AC アダプターをご使用になるときは、以下の点にご注意ください。

⚠ 警告

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 必ず本機指定の AC アダプターおよび AC コードを使用する
- 電源は、AC100V (50/60Hz) のコンセントを使用する
- １つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだら、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する
- 濡れた手で AC アダプターに触れない

⚠ 注意

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ず AC アダプターのプラグを持って抜く）
- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 雷雨のとき、または旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年一回以上清掃する

重要

- ACアダプター本体を抜き差しするときは、必ず電源を切ってから行なってください。
- ACアダプターは長時間ご使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。

電源切り忘れのお知らせ機能

電源を入れたまま本機を放置すると、約６分後に鍵盤が光って、電源の切り忘れをお知らせします。（このとき、音は出ません）この場合、各ボタンや鍵盤を押すと、電源を入れたときの状態に戻ります。

電源切り忘れのお知らせ機能をキャンセルするには

設定は、69 ページの「設定を変えるには」で行います。参照してください。

- このときは、放置しておいても電源切り忘れのお知らせ機能が働くことはありませんので、状況に応じてご利用ください。

PL40JA01-1.book 15 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

設定とメモリー内容について

電源を切った場合の本機の設定やメモリー内容については、以下のとおりです。

設定の保持

本機では、電源ボタンの操作で電源が切れた後も、いくつかの設定は記憶され、次に電源を入れたときに同じ設定になります。
記憶される設定については、106 ページの「パラメーター覧」の「電源バックアップ項目」を参照してください。

メモリー内容の保持

上記の設定と同様、レジストレーション機能やシーケンサー機能で本機に記憶させた内容やミュージックライブラリーのユーザーエリア（グループ名 “USER”）に保存した内容は、電源を切っても残っています。

設定や記憶内容を保つためには

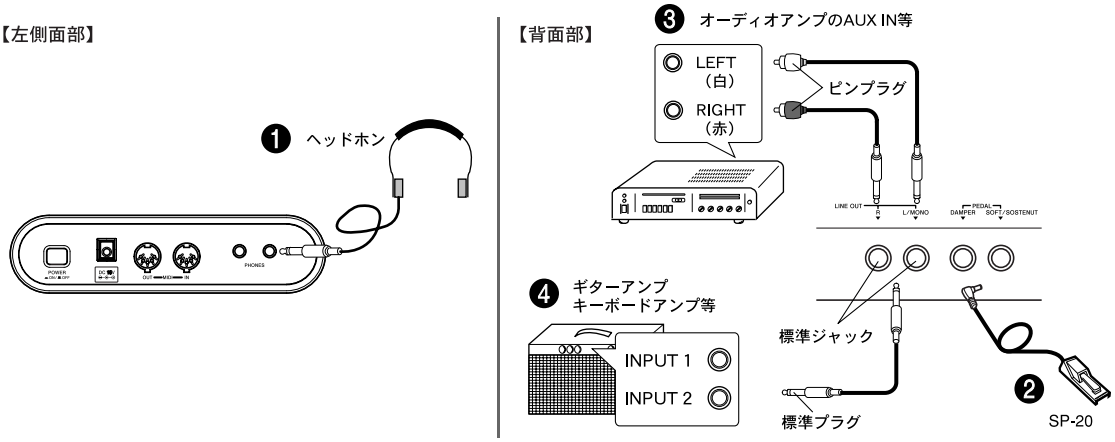
シーケンサーで作成した曲などのデータを、本機の電源を切った後も保持するために、本機はリチウム電池を内蔵しています。
このリチウム電池が消耗すると、本体の電源を切ると同時に記録内容は消去されてしまいます。
内蔵のリチウム電池の寿命は、本機の製造より約５年ですので、お買い上げより相当の年数がたちましたら、最寄りのカシオサービスセンターにご連絡ください。有償にて電池交換をいたします。

設定および各種データの初期化について

本機上の各種の設定状態を工場出荷時の状態に戻したり、本機に記録したデータを一括して消去することができます。こうした操作を初期化（Initialize）と呼びます。初期化については、79 ページの「設定メニュー：イニシャライズ」を参照してください。

接続のしかた

オーディオ機器や楽器用アンプと接続すれば、それらの機器のスピーカーの能力に応じたより迫力のある音量や音質で、演奏を楽しめます。



重要

- 接続の際は、本機の全体の音量つまみを（接続する機器側にも音量調節があればそちらも）絞っておき、接続後、適切な音量に調節してください。
- 接続に際しては、接続機器の取扱説明書も合わせてお読みください。

ヘッドホンを接続するには（図❶）

ヘッドホンをヘッドホン端子に接続します。本機のスピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏が楽しめます。なお、耳の保護のために音量を上げすぎないようにご注意ください。

ペダルを接続するには（図❷）

ペダル（SP-20）を目的に応じて、ペダル端子のダンパー(DAMPER)またはソフト／ソステヌート(SOFT/SOSTENUTO）に接続します。両方の端子を同時に使用したい場合は、別売品のペダルをご利用ください。ペダルの使い方とそれぞれの設定方法については、21ページの「ペダルの効果をかけるには」を参照してください。

オーディオ機器を接続するには（図❸）

R（Right）が右チャンネル、L/MONO（Left）が左チャンネルの音です。市販の接続コードで図 ❸ のように、両方とも接続してください。通常はオーディオ機器のインプットセレクターを、接続した端子（AUX IN等）に切り替えます。音量は本機の全体の音量つまみでも調節できます。

楽器用アンプを接続するには（図❹）

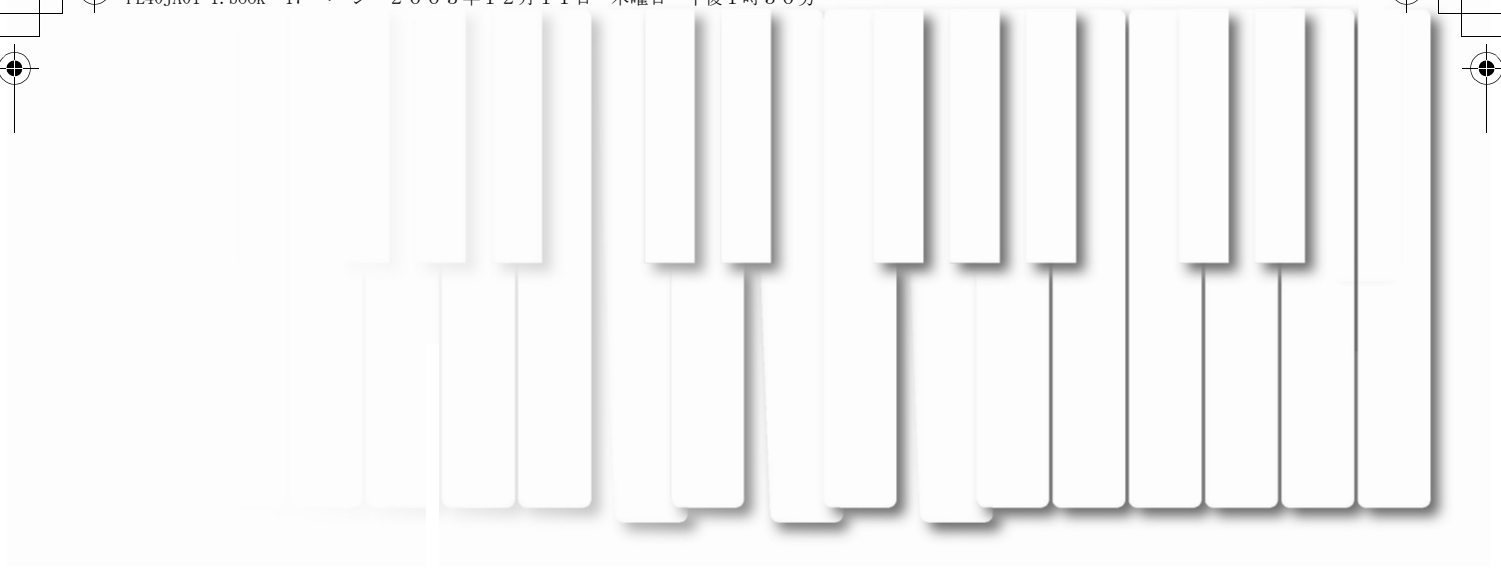
R（Right）が右チャンネル、L/MONO（Left）が左チャンネルの音です。L/MONO だけに接続すれば、両方のチャンネルの混ざった音になります。市販の接続コードで図 ❹ のように接続してください。音量は本機の全体の音量つまみでも調節できます。

付属品・別売品について

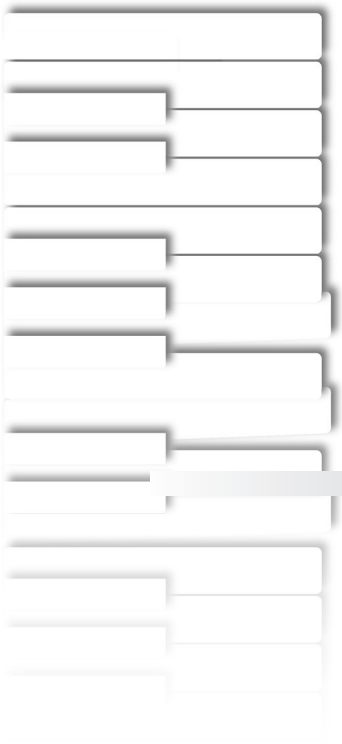
付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

426-JA-018B

PL40JA01-1.book 17 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

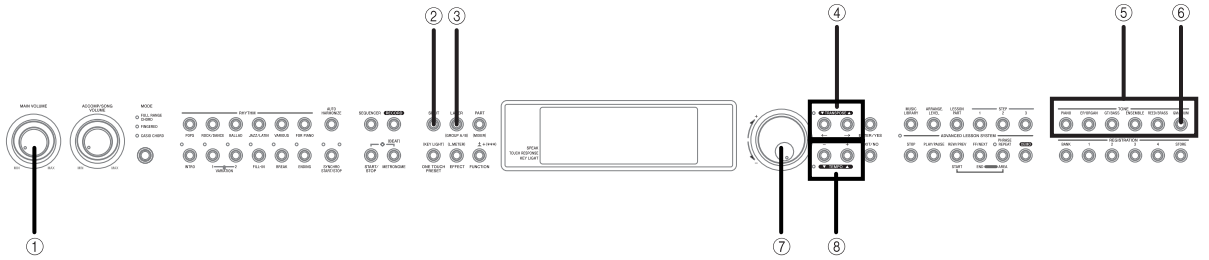


基本操作編



426-JA-019A

基本的な操作をしてみましょう



① 全体の音量つまみ
② スプリットボタン
③ レイヤー／(グループ A/B) ボタン
④ [←]/[→] ボタン
⑤ トーンボタン
⑥ GM/DRUM ボタン
⑦ ダイヤル
⑧ ＋／－ボタン

ここでは、本機の基本操作について説明します。

音を出してみましょう

操作手順

1. 電源ボタンを押します。
2. 全体の音量つまみを調節します。(弾く前は小さめにしておきましょう)
3. 鍵盤を弾いてみましょう。

音色を選ぶには

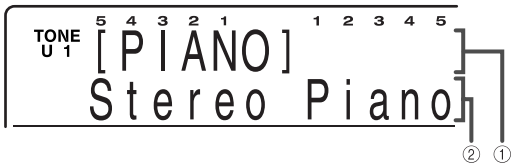
本機の音色は、全部で６のグループに分かれており、ひとつの音色グループがひとつのトーンボタンと対応しています。

操作手順

1. トーンリスト（90 ページ）から鳴らしたい音色を選び、該当するトーンボタンを確認します。
2. 選びたいトーンボタンを押します。
   - 選んだボタンのランプが点灯し、現在選択されている音色グループと音色名が表示されます。

例：

“ブライトピアノ（Bright Piano)”を選ぶ場合は、まず PIANO ボタンを押します。



① 音色グループ名
② 音色名

3. [←]/[→] ボタンを押して音色を選びます。

例：

[→] ボタンを４回押します。

- ダイヤルを＋あるいは－の方向に回して、設定を変更することもできます。
- 10 秒間何も操作を行わないと、元の画面に戻ります。エグジット／ノーボタンを押して元の画面に戻ることもできます。

NOTE

- “グランドピアノ”の音色は、ステレオサンプリングになっています。
- 音色番号 261 ～ 270 のドラムセット (96 ページ) は、鍵盤ごとに異なる打楽器が割り当てられています。

同時発音数について

本機は、同時に最大 64 音まで発音します。ただし、一部の音色では２種類の音色を組み合わせているため最大 32 音になるものもあります。
リズムや自動伴奏が鳴っているときは、鍵盤での演奏音の同時発音数が少なくなります。

デジタルサンプリングの音色について

本機で鳴らすことのできる音色のいくつかは、「デジタルサンプリング」という電子技術により、生の楽器の音を録音・加工したものです。こうした音色の中には、元になっている楽器音の音域ごとの音質を再現するために、低域・中域・高域など複数の音域ごとに元の楽器音を録音し、ひとつの音色に仕上げたものがあります。一部の音色で、鍵盤によって音質や音量が若干異なる箇所がありますが、これは上記のようなサンプリング処理における音域の境目（スプリットポイント）で、故障ではありません。

UPPER1/UPPER2/LOWER1/LOWER2 の各パートについて

本機を使った鍵盤演奏では、最大４つまでのパートを同時に利用することができます。各パートは UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2 と呼び、各パートに対して現在選択されている音色が画面上に表示されます。

パート／（ミキサー）ボタンを押すと、各パート（UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2）に割り当てられている音色が画面に表示されます。パート／（ミキサー）ボタンを押すごとに、パートが以下のように順に表示されます。表示されているときに、各パートの音色を変更することができます。（18 ページ「音色を選ぶには」参照）

◆ UPPER1 選択の状態	U 1
◆ UPPER2 選択の状態	U 2
◆ LOWER1 選択の状態	L1
◆ LOWER2 選択の状態	L 2

レイヤー機能を利用するには

レイヤー機能とは、２種類の音色を重ねて演奏するための機能です。この機能を利用すれば内蔵音色の中から２つの音色（メイン音色とレイヤー音色）を選んで同時に発音させることで、まったく新しいサウンドを作ることができます。

操作手順

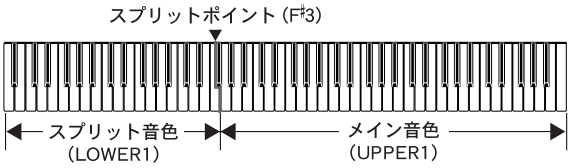
1. メイン音色を選びます。
2. レイヤー／（グループ A/B）ボタンを押して、レイヤー機能をオンにします。
   - ボタンのランプが点灯します。
   - このとき、画面上にレイヤー音色が表示されます。レイヤー音色の表示中は、トーンボタンでレイヤー音色を選択できます。
3. レイヤー音色を選びます。
4. 鍵盤を弾いてみましょう。
   - ２音色の重なった音で演奏できます。
5. レイヤー機能を解除するには、レイヤー／（グループ A/B）ボタンを再度押してください。
   - ボタンのランプが消灯します。

NOTE

- デモ演奏中やミュージックライブラリーモード状態（ミュージックライブラリーモードランプが点灯している状態）では、レイヤー機能を利用できません。
- レイヤー機能は、ミキサー機能のグループＡの UPPER1 と UPPER2 を同時に鳴らすことで実現しています。このため、ミキサー機能を使えば、メイン音色とレイヤー音色それぞれの音量バランスや、ステレオ定位などといった設定も行うことができます。ミキサー機能については、44 ページの「ミキサー機能を利用するには」をお読みください。

スプリット機能を利用するには

スプリット機能とは、２つの音色を鍵盤の高音部（メイン音色）と低音部（スプリット音色）に分ける機能です。両手で鍵盤を演奏するとき、この機能で鍵盤の高音部と低音部に異なる音色を割り当てれば、２種類の楽器を左右に分けて演奏できます。



操作手順

1. メイン音色を選びます。
2. スプリットボタンを押して、スプリット機能をオンにします。
   - ボタンのランプが点灯します。
   - このとき、画面上にスプリット音色が表示されます。スプリット音色の表示中は、トーンボタンでスプリット音色を選択できます。
3. スプリット音色を選びます。
4. 鍵盤を弾いてみましょう。
   - 鍵盤の低音部（左側）はスプリット音色で、高音部（右側）はメイン音色で演奏できます。
   - 低音部と高音部の境目（スプリットポイント）は変更することができます。「スプリットポイントを変更するには」を参照してください。
5. スプリット機能を解除するには、スプリットボタンを再度押してください。
   - ボタンのランプが消灯します。

NOTE

- デモ演奏中やミュージックライブラリーモード状態（ミュージックライブラリーモードランプが点灯している状態）では、スプリット機能を利用できません。
- スプリット機能は、ミキサー機能のグループAのUPPER1 と LOWER1 を同時に使うことで実現しています。このため、ミキサー機能を使えば、メイン音色とスプリット音色それぞれの音量バランスや、ステレオ定位などといった設定も行うことができます。ミキサー機能については、44 ページの「ミキサー機能を利用するには」をお読みください。

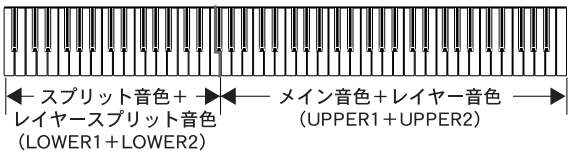
スプリットポイントを変更するには

スプリット機能を使う際の、低音部と高音部の境目（スプリットポイント）を変更することができます。スプリットボタンを押しながら、鍵盤をひとつだけ押してください。押した鍵盤が、高音部の最低音（左端）になります。

- このとき、鍵盤を押しても音は鳴りません。

レイヤーとスプリットを同時に使うには

レイヤー機能がオンの状態からスプリットボタンを押すと、レイヤーとスプリット両方の特徴を兼ね備えた「レイヤースプリット」という状態で利用できます。この状態では、２種類のレイヤーサウンドが鍵盤の高音部（メイン音色＋レイヤー音色）と低音部（スプリット音色＋レイヤースプリット音色）で発音します。



操作手順

1. メイン音色、レイヤー音色、スプリット音色、レイヤースプリット音色をそれぞれ選びます。
   - 「特定のパートの設定を変えるには」(45ページ) を参照して、メイン音色 (UPPER1)、レイヤー音色 (UPPER2)、スプリット音色 (LOWER1) およびレイヤースプリット音色 (LOWER2) を指定してください。
2. レイヤーとスプリットの両方の機能をオンにして、「レイヤースプリット」の状態にします。

PL40JA01-1.book 21 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

- レイヤー／（グループA/B）ボタンを押して、レイヤー機能をオンにします。
- スプリットボタンを押して、スプリット機能をオンにします。
- ボタンのランプが両方とも点灯します。
- このとき、画面上にはレイヤースプリット音色が表示されます。レイヤースプリット音色の表示中は、レイヤースプリット音色を選択できます。

3. 鍵盤を弾いてみましょう。

4. レイヤースプリットの状態を解除するには、レイヤー／（グループ A/B）ボタンとスプリットボタンを再度押してください。

NOTE

- レイヤースプリットは、ミキサー機能のグループ A の UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2 の４つのチャンネルを同時に使うことで実現しています。このため、ミキサー機能を使えば、各音色それぞれの音量バランスや、ステレオ定位などといった設定も行うことができます。詳しくは 44 ページの「ミキサー機能を利用するには」をお読みください。
- ミキサー機能を使うと、例えばLOWER2だけを消音することが可能です。こうすると、レイヤースプリットの使用時に、低音部は単音色、高音部は２音色を重ねた音色で演奏するといったこともできます。44ページの「ミキサー機能を利用するには」を参照してください。

鍵盤の光を消すには

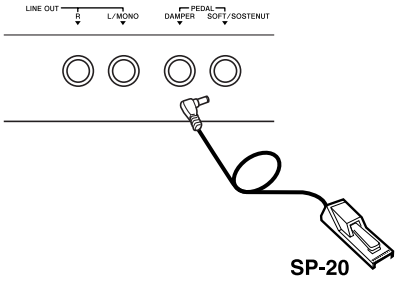
鍵盤の光をオン／オフする方法は以下のとおりです。

1. 機能ボタンを押しながらワンタッチプリセット／（キーライト）ボタンを押して、キーライトのオン／オフを切り替えます。

- キーライトのインジケーターが消灯しているときは鍵盤は光りません。

ペダルの効果をかけるには

本機には、ダンパーペダル用とソフト／ソステヌート用の２つのペダル端子があります。ペダルをソフト／ソステヌートペダル端子につないだ場合には、切り替え式でどちらか一方の効果を使用することができます。ソフト／ソステヌート用端子につないだペダルの効果を切り替えるには、75 ページの「設定メニュー：ペダル」の“Assign Left”で設定を変更します。電源を入れたときの設定は、ソフトペダルです。



【各ペダルの働き】

- ダンパーペダル
  演奏中にこのペダルを踏むと、鍵盤で弾いた音が響き、音に余韻が残ります。

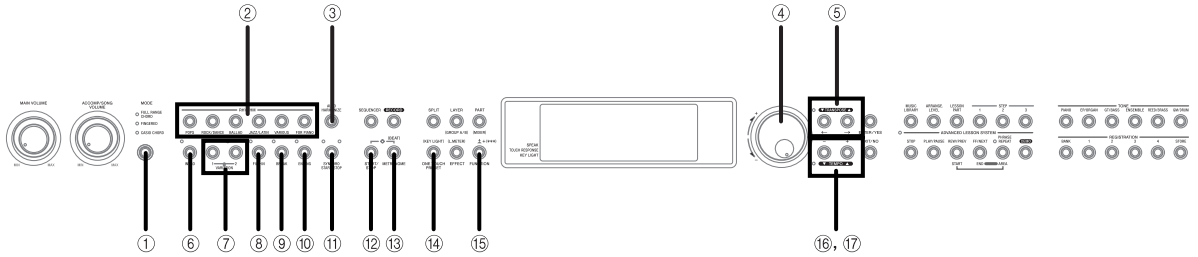
- ソフトペダル
  演奏中にこのペダルを踏むと、鍵盤で弾いた音の音色が柔らかくなり音量が若干小さくなります。ペダルを踏みこんだ後に弾いた音のみにかかる効果であり、鍵盤を押してからペダルを踏んでも音は変化しません。

- ソステヌートペダル
  演奏中にこのペダルを踏むと、ダンパーペダルと同様に鍵盤で弾いた音が響き、音に余韻が残ります。ダンパーペダルとの違いは、効果をかけるタイミングにあり、鍵盤を押してから、その鍵盤を離す前にペダルを踏んだ場合にのみ、その音に対して効果がかかります。

NOTE

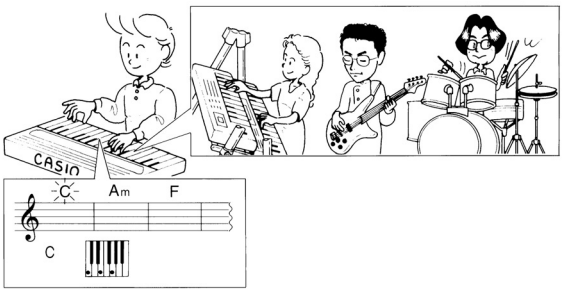
- ペダルの効果は、それぞれ下記のようにかかります。
  メモリーの再生中、デモ演奏中
  …… 鍵盤で弾いている音のみ

自動伴奏を鳴らしてみましょう



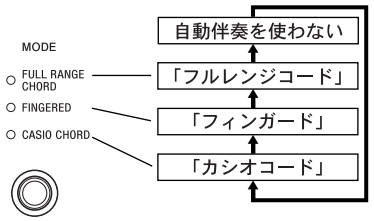
① モードボタン
② リズムボタン
③ オートハーモナイズボタン
④ ダイヤル
⑤ トランスポーズボタン [▲]/[▼]
⑥ イントロボタン
⑦ バリエーションボタン 1/2
⑧ フィルインボタン
⑨ ブレイクボタン
⑩ エンディングボタン
⑪ シンクロスタート／ストップボタン
⑫ スタート／ストップボタン
⑬ メトロノーム／(拍子) ボタン
⑭ ワンタッチプリセット／(キーライト) ボタン
⑮ 機能ボタン
⑯ ＋／－ボタン
⑰ テンポボタン [▲]/[▼]

本機では、曲に出てくるコードを押さえることで、ベースパート（低音部）とコード伴奏パートを鳴らすことができます。これらのパートはリズム（打楽器音）と連動しており、リズムの種類ごとに、その雰囲気に合った音色が鳴ります。これらの伴奏に合わせて右手でメロディーを弾けば、一人でもアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。



モードボタンについて

自動伴奏を鳴らすための入口に当たるのがモードボタンです。モードボタンを使って、自動伴奏を鳴らすか鳴らさないか、鳴らす場合はどんな方法で鳴らすかを指定します。モードボタンを押すごとに、状態が下図のように変わります。



- すべてのランプが消灯している場合は、リズム音だけを鳴らすことができます。
- いずれかのランプが点灯している場合は、点灯しているランプに対応した方法で自動伴奏を鳴らすことができます。それぞれの方法（カシオコード、フィンガード、フルレンジコード）については、24 ページ以降で詳しく説明します。

リズムを選ぶには

本機のリズムは全部で 6 のグループに分かれており、ひとつのグループがひとつのリズムボタンと対応しています。

操作手順

1. リズムリスト（99 ページ）から鳴らしたいリズムを選び、該当するリズムボタンを確認します。

PL40JA01-1.book 23 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

2. 選びたいリズムボタンを押します。

- 選んだボタンのランプが点灯し、現在選択されているリズム名が表示されます。

例：

“サンバ 1（Samba 1）”を選ぶ場合は、まず JAZZ/LATIN ボタンを押します。

① リズムグループ名
② リズム名

3. [←]/[→] ボタンを押してリズムを選びます。

例：

[→] ボタンを８回押します。

- ダイヤルを＋あるいはーの方向に回して、設定を変更することもできます。
- 10 秒間何も操作を行わないと、元の画面に戻ります。エグジット／ノーボタンを押して元の画面に戻ることもできます。

NOTE

- リズムの中には、コード伴奏だけで構成されていてドラムなどのリズム音色が入っていないものもあります。これらのリズムは、カシオコード、フィンガード、フルレンジコードのいずれかが選ばれた状態でないと、発音しません。モードボタンの上のランプを点灯させた状態で、コードを指定してご使用ください。

リズムを鳴らすには

スタート／ストップボタンを押すと、現在選択されているリズムが鳴り始めます。リズムに合わせて鍵盤演奏を楽しむことができます。
リズムを止めるには、再度スタート／ストップボタンを押してください。

NOTE

- モードボタンの上の３つのランプのいずれかが点灯している場合は、リズムと一緒に「コード自動伴奏」が鳴る状態です。リズムだけを鳴らしたい場合は、モードボタンを押してすべてのランプが消灯した状態にしておいてください。

コード自動伴奏を鳴らすには

コード自動伴奏の使い方は以下のとおりです。まず始めに、リズムを選び、テンポを調節します。

操作手順

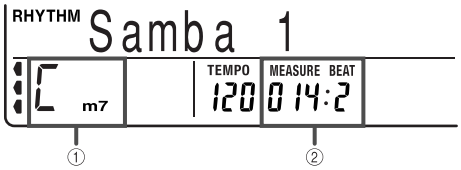
1. モードボタンを押して“カシオコード”“フィンガード”“フルレンジコード”のいずれかのランプを点灯させ、コードの指定方法を選びます。

2. スタート／ストップボタンを押してリズムをスタートさせます。

3. 伴奏鍵盤でコードを指定してみましょう。

- 伴奏鍵盤や具体的な方法については、モードボタンの設定に応じて、以下を参照してください。

「カシオコードについて」.....24 ページ
「フィンガードについて」.....24 ページ
「フルレンジコードについて」...25 ページ



① 指定されたコード名を表示します。
② 現在の小節数と拍数を表示します。

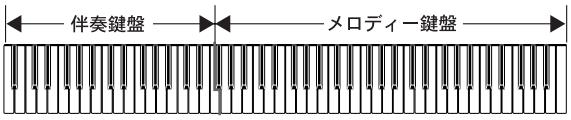
4. スタート／ストップボタンを押すと自動伴奏が停止します。

自動伴奏を鳴らしてみましょう

カシオコードについて

この方法では、コードを知らなくても伴奏鍵盤の押し方により４種類のコードが簡単に指定できます。伴奏鍵盤とコードの指定方法は次のとおりです。

■ 【カシオコードの伴奏／メロディー鍵盤】



NOTE

- 上図の伴奏鍵盤が LOWER1/LOWER2、メロディー鍵盤が UPPER1/UPPER2 に対応しています。
- スプリットがオフのとき、伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」として働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。
- スプリットポイントを右に動かせば、伴奏鍵盤の範囲を広げることができます。

■ 【コードの種類】

カシオコードでは、最小限の指使いで以下の４種類を演奏できます。

コードの種類	例
メジャーコード コード名と同じ音名の鍵盤を１つ押します。(伴奏鍵盤の範囲内であれば、１オクターブ違う同音でもかまいません)	C（C メジャー）
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を１つ押します。	Cm（C マイナー）
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を２つ押します。	C7（C セブンス）
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を３つ押します。	Cm7 (C マイナーセブンス)

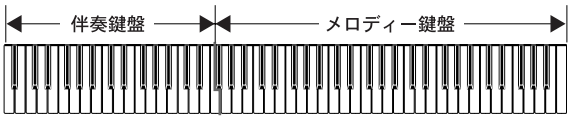
NOTE

- ２つ目以降の伴奏鍵盤は、１つめより右側なら白鍵／黒鍵を問わずどれでも使用できます。

フィンガードについて

伴奏鍵盤の範囲内で、コードの構成音を押さえることにより、コードを指定する方法です。例えば、ド・ミ・ソと押さえると、C のコードが指定されます。

■ 【フィンガードの伴奏／メロディー鍵盤】



NOTE

- 上図の伴奏鍵盤が LOWER1/LOWER2、メロディー鍵盤が UPPER1/UPPER2 に対応しています。
- スプリットがオフのとき、伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」として働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。
- スプリットポイントを右に動かせば、伴奏鍵盤の範囲を広げることができます。

《フィンガードで判別できるコード》

101 ページの「フィンガード／フルレンジコード一覧」を参照してください。

- フィンガードで判定可能なコードは、アカンプ設定の「On Bass Chord」、「6th Chord」、「Tension Chord」の設定状態によって異なります。アカンプ設定については、69 ページの「設定を変えるには」を参照してください。また、設定に応じて判定可能なコード種類については、101 ページの「フィンガード／フルレンジコード一覧」を参照してください。

NOTE

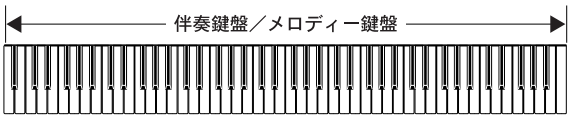
- 伴奏鍵盤であれば基本の押さえ方（例えば C を「ドミソ」と押さえる）だけでなく、転回形（コードの構成音は同じで並び方の違う押さえ方、例えば C を「ミソド」や「ソドミ」と押さえる）も有効です。ただし、コードモード設定の「オンベース（On Bass Chord)」がオンに設定されている場合は、押さえ方によって違うコードになります。
- 原則として前記の例のように、コードの構成音すべてを押さえる必要があります。構成音を省略したり１音のみを押さえても無効となり、意図したコードは指定されません。

PL40JA01-1.book 25 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

フルレンジコードについて

この方法で指定できるコードは、最大 238 種類です。この場合、本機が判別できるコードの指定方法で鍵盤を３つ以上押したときに限り、コードが指定されます。それ以外（本機が判別できないコードや２つ以下の鍵盤を押している場合）ではメロディー鍵盤と同様に発音しますので、すべての鍵盤でコードの指定とメロディー演奏が行えます。

■ 【フルレンジコードの伴奏／メロディー鍵盤】



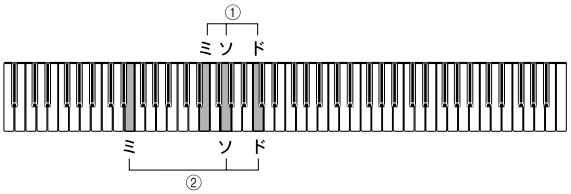
《フルレンジコードで判別できるコード》

101 ページの「フィンガード／フルレンジコード一覧」を参照してください。

例：

C メジャーの場合

C メジャーの構成音は、「ド・ミ・ソ」です。鍵盤で「ド・ミ・ソ」と押さえると、下記のように指定されます。



① C のコード
② $\frac{C}{E}$ のコード

NOTE

- 最低音と右隣の音との間に、半音が６つ以上はさまる場合には、最低音をベース音として判別します。

テンポを調節するには

テンポ（１分間に演奏される拍数）を 30 ～ 255 の範囲で調節します。

操作手順

1. テンポボタンのランプが点灯している状態で、テンポボタン [▲]/[▼] を押します。

- 機能ボタンを押して設定メニュー画面が表示されている場合、テンポボタン上のランプは消灯し、テンポの変更ができません。再度、機能ボタンを押して、音色／リズムの表示されている画面に戻してください。

  [▲]（＋）…… 数値が増える（速くなる）
  [▼]（－）…… 数値が減る（遅くなる）

- ダイヤルを＋あるいは－の方向に回して、設定を変更することもできます。

NOTE

- テンポボタンの [▲]/[▼] ボタンを同時に押すと、現在指定されているリズムのお勧めのテンポになります。
- 表示されるテンポの数値は、１分間に演奏される四分音符の拍数です。

伴奏の音量を変えるには

伴奏パートの音量を通常の演奏とは独立して調節できます。

1. 伴奏の音量を調節するには、伴奏／ソングの音量つまみを使います。

自動伴奏を鳴らしてみましょう

イントロを入れるには

リズム演奏や自動伴奏を始める前にイントロ（前奏）を加えることができます。

準備

- リズムを選び、テンポを調節する。
- モードボタンでコードの指定方法を選ぶ。

操作手順

1. イントロボタンを押します。
   - 選んだリズムに応じたイントロを開始します。このとき伴奏鍵盤を弾くと、イントロに自動伴奏が加わります。

NOTE

- イントロが鳴り終わると通常のリズムに戻ります。

フィルインを入れるには

フィルインとは演奏中のリズムパターンを一時的に変化させた演奏で、リズムにメリハリを付けることができます。

操作手順

1. スタート／ストップボタンを押してリズムを鳴らします。
2. フィルインボタンを押すと、リズムにフィルインが入ります。

バリエーションを利用するには（同一伴奏パターンで伴奏の雰囲気を変える）

本機の各リズム（自動伴奏パターン）は、それぞれ２つずつの「バリエーション」を備えています。リズムや自動伴奏の演奏途中でバリエーションを切り替えることで、違った雰囲気の伴奏を楽しむことができます。

準備

- リズムを選び、テンポを調節する。
- モードボタンでコードの指定方法を選ぶ。
- 現在選択しているリズムで、２つのバリエーションの鳴り方を確認しておく。

1. スタート／ストップボタンを押してリズムを鳴らします。
   - バリエーションボタン 1/2 のいずれか１つを押してリズムを開始してもかまいません。
2. 切り替えたいバリエーションに対応したバリエーションボタンを押します。
   - ボタンを押したタイミングに応じて、適切な拍でバリエーションが切り替わります。

ブレイクを利用するには（自動伴奏の途中に間を入れる）

ブレイクとは演奏中のリズム（自動伴奏パターン）に「間」（伴奏が鳴っていない状態）を入れることです。リズムや自動伴奏の演奏中にブレイクボタンを押すと、次の小節の先頭まで間が入り、次の小節の先頭から再度元のリズムや自動伴奏演奏が再開されます。

PL40JA01-1.book 27 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

シンクロスタートを利用するには（伴奏とリズムを同時にスタートさせる）

伴奏鍵盤を押すと同時にリズムとコード伴奏を同時にスタートさせることができます。これを本機では「シンクロスタート」と呼びます。

準備

- リズムを選び、テンポを調節する。
- コードの指定方法を選ぶ。

1. リズムが鳴っていない状態で、シンクロスタート／ストップボタンを押します。
   - ボタンの上の左側のランプが点灯します。これは「シンクロスタート」の待機状態に入ったことを示します。
2. このときバリエーションボタン 1/2 のいずれかを押すと、リズムを開始せずにバリエーションの切り替えを行うことができます。
3. 伴奏鍵盤でコードを指定します。
   - リズムとコード伴奏が同時にスタートします。スタートすると同時に、シンクロスタート／ストップボタンの上の左側のランプは消灯します。

NOTE

- モードボタンのランプがすべて消灯している状態のときは、リズムのみが鳴り始めます。
- 手順２の前に、イントロボタンを押してボタンの上のランプを点灯させておくと、手順２でコードを指定すると同時に、イントロがスタートします。
- シンクロスタートの待機状態のときに、もう一度シンクロスタート／ストップボタンを押すと、待機状態が解除されます。ボタンの上の左側のランプが消灯します。

自動伴奏の演奏中のシンクロスタート／ストップの利用（伴奏鍵盤を使った伴奏の停止と再開）

シンクロスタートとは逆に、現在演奏中の自動伴奏パターンを、伴奏鍵盤を離すと同時にストップさせることができます。これを本機では「シンクロストップ」と呼びます。この方法で自動伴奏をストップした場合は、単に自動伴奏の演奏がストップするのではなく、伴奏鍵盤上で有効なコードを押さえている間だけ自動伴奏が鳴るという特殊な状態（シンクロストップ状態）に入ります。

重要

- モードボタンのランプがすべて消灯している状態のときは、次の操作を行うことはできません。

■ シンクロストップを使って自動伴奏をストップさせてみましょう。

準備

- リズムを選び、テンポを調節する。
- コードの指定方法を選ぶ。

1. スタート／ストップボタンを押してリズムを鳴らします。
2. シンクロスタート／ストップボタンを押します。
   - ボタンの上の右側のランプが点灯します。これは「シンクロストップ」の待機状態に入ったことを示します。
3. 伴奏鍵盤を（押した後で）離します。
   - 演奏中の自動伴奏がストップし、ボタンの上の両方のランプが点灯します。これは「シンクロストップ状態」に入ったことを示します。
   - 「シンクロストップ状態」から抜けるには、シンクロスタート／ストップボタンを２回押して、ボタンの上のランプを両方とも消灯させてください。
   - 「シンクロストップ状態」でできる自動伴奏の演奏については、次を参照してください。

自動伴奏を鳴らしてみましょう

■ 「シンクロストップ状態」を使った自動伴奏演奏

シンクロストップ状態では、次のような操作を行うことができます。

- 伴奏鍵盤でコードを確定すると、コードを押さえている間だけ自動伴奏が鳴ります。伴奏鍵盤を離すと同時に自動伴奏の演奏が停止し、再びシンクロストップ状態に戻ります。
- 伴奏鍵盤でコードを押さえており自動伴奏が鳴っている最中にシンクロスタート／ストップボタンを押すと、ボタンの上のランプが消灯し、シンクロストップは解除されます。

シンクロストップを利用することで、自動伴奏をブレイクさせてアドリブを演奏したあとで、自動伴奏を含む演奏を再開する、といった演奏ができるようになります。

エンディングを付けて曲を終わらせるには

選ばれたリズムに最適なエンディングを加え、伴奏を自動的に停止します。

操作手順

1. リズム（伴奏）が鳴っているときに、エンディングボタンを押します。

- リズムに応じたエンディングに切り替わり、リズム（伴奏）を終了します。

NOTE

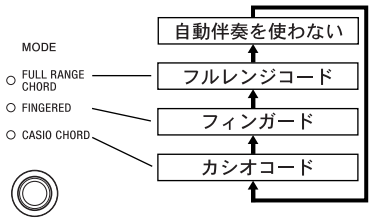
- 各小節の２拍目より前にボタンを押すと瞬時にエンディングを開始し、２拍目以降に押すと次の小節からエンディングを開始します。

オートハーモナイズを使うには

コード自動伴奏を鳴らしながらメロディー鍵盤を弾いたときに、弾いた音に合わせて自動伴奏のコードの構成音のうちの適切な１音を自動的に付加して、メロディーラインに厚みを出すことができます。これがオートハーモナイズ機能です。オートハーモナイズを使うには、次の手順で操作します。

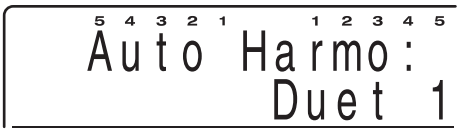
操作手順

1. モードボタンを押して、カシオコード、フィンガードのいずれかのランプを点灯させ、自動伴奏が使える状態にします。



2. オートハーモナイズボタンを押します。

- ボタンのランプが点灯し、オートハーモナイズがオンの状態になります。
- このとき画面が次のようになり、[←]/[→]ボタンまたはダイヤルを使ってオートハーモナイズの種類を選択することができます。詳しくは「オートハーモナイズの種類について」を参照してください。



- 10 秒間何も操作を行わないと、元の画面に戻ります。エグジット／ノーボタンを押して元の画面に戻ることもできます。

3. 自動伴奏をスタートさせ、メロディー鍵盤で演奏してください。

- メロディー演奏に対して、「ハーモナイズ音」が付加されます。

PL40JA01-1.book 29 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

4. オートハーモナイズをオフにするには、オートハーモナイズボタンを押してください。

- ボタンのランプが消灯します。

NOTE

- UPPER1音色とUPPER2音色を同時に使っている場合は、それぞれの音色に対してハーモナイズ音が付加されます。
- 「フィンガード」、「カシオコード」のいずれかのモードに設定されている場合のみ、オートハーモナイズが有効になります。

■ オートハーモナイズの種類について

オートハーモナイズ機能は、次の 12 種類の中から選択することができます。

種類（パラメータ名）	効果
Duet1	演奏したメロディー音の下に、クローズな（3～5度程度離れた）1声のハーモニー音を加えます。
Duet2	演奏したメロディー音の下に、オープンな（4～7度以上離れた）1声のハーモニー音を加えます。Duet1 よりオープンハーモニーになります。
Country	カントリーの演奏に適したハーモニーを加えます。
Octave	オクターブ下のノートを加えます。
5th	5度上のノートを加えます。
3-Way Open	2声（ユーザー演奏と合わせて3声）のオープンハーモニーを加えます。
3-Way Close	2声（ユーザー演奏と合わせて3声）のクローズハーモニーを加えます。
Strings	ストリングス演奏に適したハーモニーを加えます。
4-Way Open	3声（ユーザー演奏と合わせて4声）のオープンハーモニーを加えます。
4-Way Close	3声（ユーザー演奏と合わせて4声）のクローズハーモニーを加えます。
Block	ブロックコード音を加えます。
Big Band	ビックバンド演奏に適したハーモニーを加えます。

オートハーモナイズの種類の変更は、オートハーモナイズ機能をオンにした直後に [←]/[→] ボタンまたはダイヤルを使って行うことができます。

ハーモナイズ音の音色変更

オートハーモナイズ機能の使用中に自動的に付加される音のことを、鍵盤演奏による「メロディー音」に対して「ハーモナイズ音」と呼びます。通常メロディー音の音色とハーモナイズ音の音色は同じ音色ですが、ミキサー機能（44 ページ）を使ってハーモナイズ音の音色を変更することができます。ハーモナイズ音はミキサーのグループ A のオートハーモナイズ 1、2 に対応していますので、オートハーモナイズ 1、2 の音色を変更してください。
また、音色だけでなく、ミキサーのさまざまな設定（音量バランスの変更など）も変更することができます。操作については、45 ページの「特定のパートの設定を変えるには」を参照してください。

NOTE

- オートハーモナイズをオンにした時点で、ハーモナイズ音色は自動的に鍵盤音色と同じ音色に設定されます。
- 鍵盤音色を変更すると、その時点でハーモナイズ音色も自動的に鍵盤音色と同じ音色に設定されます。

自動伴奏を鳴らしてみましょう

ワンタッチプリセットを使うには

ワンタッチプリセットとは、各リズムパターンごとに、そのリズムに良くマッチした音色やテンポ設定などを、ワンタッチで呼び出すことができる機能です。ワンタッチプリセットでは、次の設定がリズムパターンごとにあらかじめ設定されています。

- 鍵盤の音色と音量
- レイヤー、スプリットのオン／オフ
- レイヤー、スプリットがオンの場合のその音色と音量
- テンポ
- エフェクト設定
- ハーモナイズ設定（Type, On/Off など）

ワンタッチプリセットの操作手順

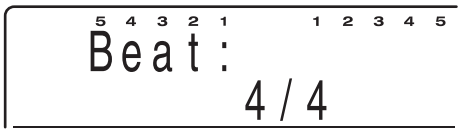
1. リズムを選択します。
2. モードボタンを使って、コードの指定方法を選択します。
3. ワンタッチプリセット／（キーライト）ボタンを押します。
   - 鍵盤の音色やテンポなどが、現在選択されているリズムに対応した設定にセットされます。
4. リズムとコード自動伴奏をスタートさせ、鍵盤演奏を行ってみてください。
   - ワンタッチプリセットによる設定での演奏ができます。

メトロノームを使うには

本機は、メトロノーム音を鳴らすことができます。メトロノーム音には小節の１拍目に鳴るベル音と、その他の拍に鳴るクリック音があります。伴奏（リズム）のない曲の練習に活用できます。

操作手順

1. 機能ボタンを押しながらメトロノーム／（拍子）ボタンを押します。



2. [←]/[→] ボタンで拍子を設定します。
   - ダイヤルを＋あるいはーの方向に回して、設定を変更することもできます。

NOTE

- ０拍子を選んだ場合は、ベル音は鳴らず、クリック音のみが鳴ります。拍子数にかかわらず、練習するのに便利です。
- 拍子は 0、2/4 ～ 7/4 拍子、9/4、12/4、3/8、5/8、6/8、7/8、9/8、12/8 拍子の間で設定が可能です。
- 10 秒間何も操作を行わないと、元の画面に戻ります。エグジット／ノーボタンを押して元の画面に戻ることもできます。

3. メトロノーム／（拍子）ボタンを押して、メトロノームを鳴らします。
   - メトロノーム音が鳴り、スタート／ストップボタンの上のランプが拍にあわせて点灯します。
4. テンポボタンのランプが点灯している状態で、テンポボタン [▲]/[▼] を押します。
   - 機能ボタンを押して設定メニュー画面が表示されている場合、テンポボタン上のランプは消灯し、テンポの変更ができません。再度、機能ボタンを押して、音色／リズムの表示されている画面に戻してください。

     [▲]（＋）…… 数値が増える（速くなる）
     [▼]（－）…… 数値が減る（遅くなる）
5. メトロノーム／（拍子）ボタンを押すとメトロノームがとまります。

PL40JA01-1.book 31 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

トランスポーズ機能を利用するには

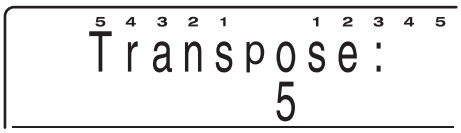
トランスポーズ機能とは、本機全体の音の高さを半音単位で上下させる機能です。例えば、歌の伴奏をするとき、その楽譜が歌う人の声の高さに合わないことがあります。このようなとき、鍵盤演奏はそのままで、簡単に音の高さを変えることができます。

操作手順

1. トランスポーズボタンのランプが点灯している状態で、トランスポーズボタン [▲]/[▼] を押してトランスポーズの設定を変更します。
   - 機能ボタンを押して設定メニュー画面が表示されている場合、トランスポーズボタン左のランプは消灯し、トランスポーズの変更ができません。再度、機能ボタンを押して、音色／リズムの表示されている画面に戻してください。

   例：

   ５半音上にトランスポーズさせる場合



   - トランスポーズの設定画面では、[←]/[→] ボタンまたはダイヤルで設定を変更することもできます。
   - 10 秒間何も操作を行わないと、元の画面に戻ります。エグジット／ノーボタンを押して元の画面に戻ることもできます。

NOTE

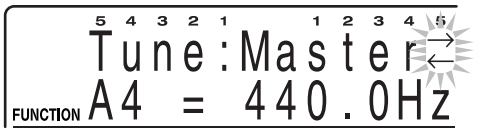
- トランスポーズの設定範囲は－12（１オクターブ下）～＋12（１オクターブ上）です。
- [▲] ボタンと [▼] ボタンを同時に押すと、設定値は“０”に戻ります。
- トランスポーズの設定は、シーケンサー機能や自動伴奏の演奏にも反映されます。ただし、自動伴奏のドラムパートの音の高さは調節できません。

チューニング機能を使うには

チューニング機能とは、本機全体の音の高さを微調節する機能です。この機能を利用すると、チューニングが異なる他の楽器とアンサンブルする場合でも、相手の楽器にチューニングを合わせることができます。

操作手順

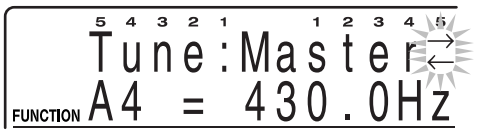
1. 機能ボタンを押します。
2. [←]/[→]ボタンまたはダイヤルで“Tune”メニュー画面にします。
3. エンター／イエスボタンを１回押してチューニングの設定画面にします。



4. ＋／－ボタンでチューニングの設定を変更します。

   例：

   チューニングを 10 下げる場合



   - ダイヤルを＋あるいは－の方向に回して、設定を変更することもできます。

NOTE

- チューニングの設定範囲は 415.3Hz ～ 466.2Hz で、±約 100 セント※です。
  ※ 100 セント＝半音
- ＋ボタンと－ボタンを同時に押すと、設定値は“440.0Hz”に戻ります。
- チューニングの設定は、シーケンサー機能や自動伴奏の演奏にも反映します。
- バロックピッチ設定がオンになっている場合は、チューニングの設定範囲は 390.6Hz ～ 441.5Hz になります。その場合、＋ボタンと－ボタンを同時に押すと、設定値は“415.3Hz”になります。

タッチレスポンス機能を利用するには

タッチレスポンス機能とは、鍵盤を弾く強弱で音量と音質を変化させるかどうか決める機能です。タッチレスポンス機能をオンにすると、実際のピアノのように鍵盤を弾く強さで音量と音質が変化します。

タッチレスポンスの感度を設定します

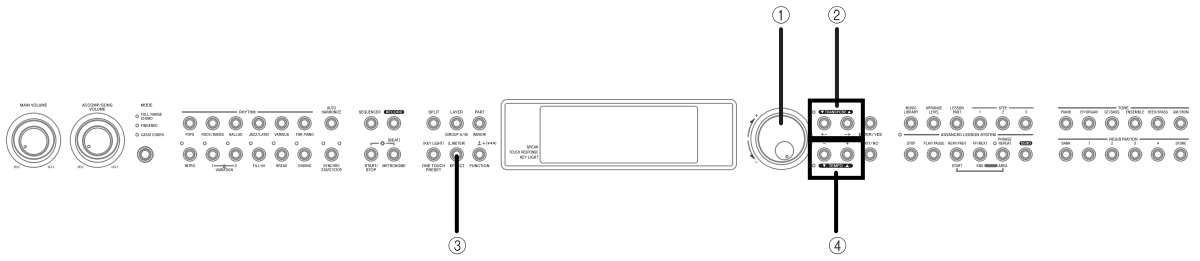
1. 機能ボタンを押します。
2. [←]/[→]ボタンまたはダイヤルで“General”メニュー画面にします。
3. エンター／イエスボタンを１回押してタッチレスポンスの設定画面にします。

4. ＋／－ボタンで感度を選択します。
   - “Light”では、弱く弾いても大きめの音がでますが、“Heavy”ではかなり強く弾かないと大きな音が出ません。
   - ＋ボタンと－ボタンを同時に押すと、“Normal”に設定されます。
   - ダイヤルを＋あるいは－の方向に回して、設定を変更することもできます。

NOTE

- タッチレスポンスの動作は、本機の内蔵音源だけでなくMIDIアウトの情報にも反映します。
- シーケンサー再生や、伴奏、外部からのMIDIノート情報は、タッチレスポンス機能の設定に影響されません。
- 音色によりタッチレスポンスの効き具合は異なります。

音色にエフェクトをかけてみましょう

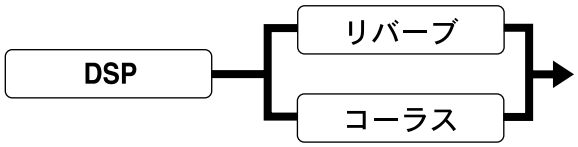


① ダイヤル　② [←]/[→] ボタン　③ エフェクト／(レベルメーター) ボタン
④ ＋／－ボタン

本機は、音にさまざまな音響効果を追加する「エフェクト機能」を備えています。

エフェクトの構成について

本機のエフェクトは、次のような構成になっています。



■ DSP

音源と出力 (PA) の間に接続するタイプのエフェクトで、歪み系、モジュレーション系など 16 種類の中から選ぶことができます。

■ リバーブ

音響空間をシミュレーションするタイプのエフェクトで、室内（Room)、ホール（Hall）などを含む８種から選択することができます。

■ コーラス

音の厚みを増したり、音に揺れを与えるようなタイプのエフェクト（Chorus、Flanger など）８種類から選択することができます。

NOTE

- DSP、リバーブ、コーラスの選択できるタイプについては、100 ページ「エフェクト一覧」のリストを参照してください。

エフェクトを設定するには

DSP、リバーブ、コーラスの各エフェクトを設定するには、以下の操作に従ってください。

DSP を設定するには

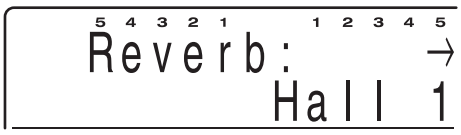
1. エフェクト／(レベルメーター) ボタンを押します。
2. [→]ボタンを２回押して、DSP設定画面にします。

3. ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、DSP のタイプを設定します。
   - DSP エフェクトをオフにするには、OFF を選びます。
   - 10 秒間何も操作を行わないと、元の画面に戻ります。エグジット／ノーボタンを押して元の画面に戻ることもできます。

音色にエフェクトをかけてみましょう

リバーブを設定するには

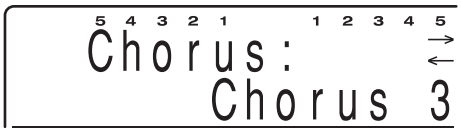
1. エフェクト／(レベルメーター) ボタンを押します。



2. ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、リバーブのタイプを設定します。
   - リバーブエフェクトをオフにするには、OFF を選びます。
   - 10 秒間何も操作を行わないと、元の画面に戻ります。エグジット／ノーボタンを押して元の画面に戻ることもできます。

コーラスを設定するには

1. エフェクト／(レベルメーター) ボタンを押します。
2. [→] ボタンを押して、コーラス設定画面にします。



3. ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、コーラスのタイプを設定します。
   - コーラスエフェクトをオフにするには、OFF を選びます。
   - 10 秒間何も操作を行わないと、元の画面に戻ります。エグジット／ノーボタンを押して元の画面に戻ることもできます。

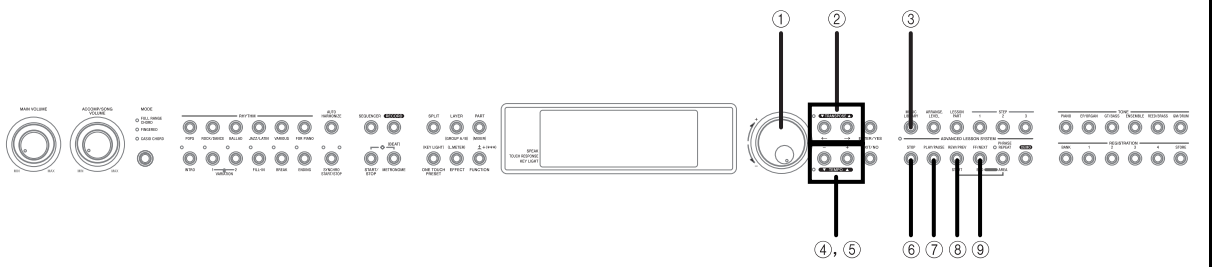
NOTE

- デモ演奏曲（11 ページ）の演奏中は、自動的に各曲に適したエフェクトが選ばれます。これを変更したり、キャンセルすることはできません。
- 持続音が鳴っている間にエフェクトを切り替えると、プツッという音が入ることがあります。
- 音色の中には、より効果的な音にするために自動的に DSP が設定されているもの（DSP 音色）がいくつかあります。鍵盤パート（UPPER1/2、LOWER1/2）に DSP 音色を設定すると、自動的に DSP がオンになり、DSP の選択がその DSP 音色で設定されている種類に変更※1 されます。また、それに伴って、DSP 音色を設定した鍵盤パートについては、ミキサー機能の DSP オン／オフ設定もオンになります※2。

  ※ 1. ただし UPPER1 についてミキサー機能の DSP 設定がオンになっている状態では、UPPER2 や LOWER 1/2 に DSP 音色を設定しても、DSP の選択とミキサーの DSP オン／オフ設定は変更されません。

  ※ 2. DSP 音色を設定したパート以外はすべて、パートのミキサーの DSP 設定は自動的にオフになります。そのため、それまで DSP 効果がかかっていたパートに効果がかからなくなり、音色が少し変化して聞こえる場合があります。
- 発音するパートに実際にエフェクトがかかるかどうかは、ミキサー機能のリバーブセンド、コーラスセンド、DSP オン／オフ設定によります。詳しくは、44 ページの「ミキサー機能を利用するには」を参照してください。
- ミキサー機能のDSP設定がオンになっているパートについては、DSP がオンの場合にはそのパートへのリバーブ、コーラスのかかり方は、ミキサー設定ではなく「設定項目」の中の「システム」の設定によります。詳しくは、69 ページの「設定を変えるには」を参照してください。

アドバンストレッスンシステム1：ミュージックライブラリーの曲を聴いてみましょう



① ダイヤル
② [←]/[→] ボタン
③ ミュージックライブラリーボタン
④ ＋／－ボタン
⑤ テンポボタン [▲]/[▼]
⑥ 停止ボタン
⑦ 演奏／一時停止ボタン
⑧ 早戻し／前ボタン
⑨ 早送り／次ボタン

曲を選ぶには

本機には、クラシックやスタンダードなど、多彩なジャンルの曲が搭載されています。

操作手順

1. ソングリスト（104 ページ）からお好きな曲を選び、該当するグループ名を確認します。
2. ミュージックライブラリーボタンを押します。
   - ミュージックライブラリーモードランプが点灯し、曲選択の画面が表示されます。

   - 10 秒間何も操作を行わないと、ミュージックライブラリーの通常画面に移ります。

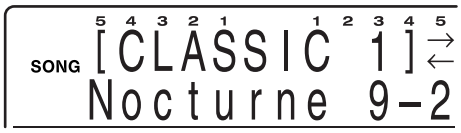
   - ミュージックライブラリーボタンまたは [←]/[→] ボタンを押すと、曲選択の画面に戻ります。
3. 曲選択の画面が表示されている間に [←]/[→] ボタンを使って、お好きな曲グループを選びます。

   例：

   “ノクターン 9-2 (Nocturne 9-2)”を選ぶ場合は、まず [→] ボタンを 1 回押します。
4. ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、曲を選びます。

   例：

   ＋ボタンを 6 回押します。



   - 10 秒間何も操作を行わないと、元の画面に戻ります。エグジット／ノーボタンを押して元の画面に戻ることもできます。

NOTE

- エグジット／ノーボタンを再度押して、ミュージックライブラリーモードを抜けて通常状態に戻った際に、モードに入る直前の通常状態での主なパラメータ設定が復帰します（リコール）。復帰するパラメータの詳細については、106 ページの「パラメーター覧」中の、「リコール項目」を参照してください。
- 本機に曲データを転送すると、本機のミュージックライブラリーのグループ内にダウンロードした曲を保存できるユーザーエリア（グループ名“USER”）が追加され、転送した曲（最大 10 曲）を選択できるようになります。なお、ユーザーエリアのソング名等の表示言語は、本機のディスプレイ設定（74 ページ参照）に関わらず、英語になります。

アドバンストレッスンシステム１：ミュージックライブラリーの曲を聴いてみましょう

曲を鳴らすには

操作手順

1. ミュージックライブラリーの曲を選びます。
2. 演奏／一時停止ボタンを押します。
   選ばれている曲の演奏を開始します。

① 小節数
② 拍数

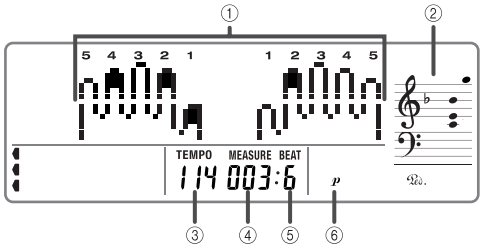
3. 停止ボタンを押すと、曲の演奏が止まります。
   - 演奏を止めるまで、同じ曲が繰り返し演奏されます。
   - 繰り返し演奏をやめたい場合は、73 ページの「設定メニュー：レッスン」の「Repeat」を“Off”に設定します。

NOTE

- 曲の演奏中でも曲の変更ができます。この場合、曲の途中でも直ちに次の曲が演奏されます。

ミュージックライブラリー演奏中の光ガイドと液晶表示について

ミュージックライブラリーの演奏中は、鍵盤が光ってそれぞれのパートの押さえるべき鍵盤が示されます（光ガイド）。同時に液晶表示では演奏するための指使いや、コード、音の高さ、テンポなどを知ることができます。



① 指使い
② 音の高さ
③ テンポ値
④ 小節数
⑤ 拍数
⑥ 強弱記号

ご注意：「鍵盤の光について」

- 鍵盤の光は、赤色で明るく光ります。部屋を暗くして本機をご使用になると、光の点灯・点滅に刺激を受けて気分がわるくなる恐れがあります。暗い部屋でのご使用は避けるようご注意ください。

曲のテンポを調節するには

曲を選んだ直後には、その曲のおすすめのテンポが設定されています。曲の演奏中、テンポの値（１分間に演奏される４分音符の数）は 30 ～ 255 の範囲で自由に調節できます。

操作手順

1. テンポボタン左のランプが点灯している状態で、テンポボタン [▲]/[▼] またはダイヤルでテンポを変更します。
   - 機能ボタンを押して設定メニュー画面が表示されている場合、テンポボタン左のランプは消灯し、テンポの変更ができません。再度、機能ボタンを押して、音色／リズムの表示されている画面に戻してください。

   [▲]（＋）…… 数値が増える（速くなる）
   [▼]（－）…… 数値が減る（遅くなる）

NOTE

- [▲]/[▼] ボタンを同時に押すと、現在選ばれている曲のおすすめのテンポに戻ります。

PL40JA01-1.book 37 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

◆ 曲を演奏しているときは、曲調に変化をつけるためにテンポが変化します。

曲を一時停止するには

操作手順

1. 曲の演奏中に演奏／一時停止ボタンを押します。
2. もう一度演奏／一時停止ボタンを押すと、曲が止まった位置から演奏を再開します。

NOTE

◆ 停止ボタンで曲を止めた場合、演奏／一時停止ボタンを押すと曲の頭から演奏を開始します。

曲を早戻しするには

操作手順

1. 曲の演奏中（または一時停止中）に早戻し／前ボタンを押し続けると、１小節単位で早戻しを始めます。
   ◆ 早戻し中の小節数と拍数を表示します。
2. 早戻し／前ボタンを離すと、その位置から曲の演奏を始めます。

NOTE

◆ 停止ボタンで曲を止めた場合は、早戻しの操作が行えません。

曲を早送りするには

操作手順

1. 曲の演奏中（または一時停止中）に早送り／次ボタンを押し続けると、１小節単位で早送りを始めます。
   ◆ 早送り中の小節数と拍数を表示します。
2. 早送り／次ボタンを離すと、その位置から曲の演奏を始めます。

NOTE

◆ 停止ボタンで曲を止めた場合は、早送りの操作が行えません。

フレーズを繰り返し聴くには

曲の演奏中に特定の区間（曲ごとにあらかじめ設定されています）を繰り返し再生させることができます。

NOTE

◆ ユーザーエリアにダウンロードされている曲は、フレーズがあらかじめ設定されていません。任意の区間を設定することはできますので、以下の「任意のフレーズを設定するには」を参照してください。

操作手順

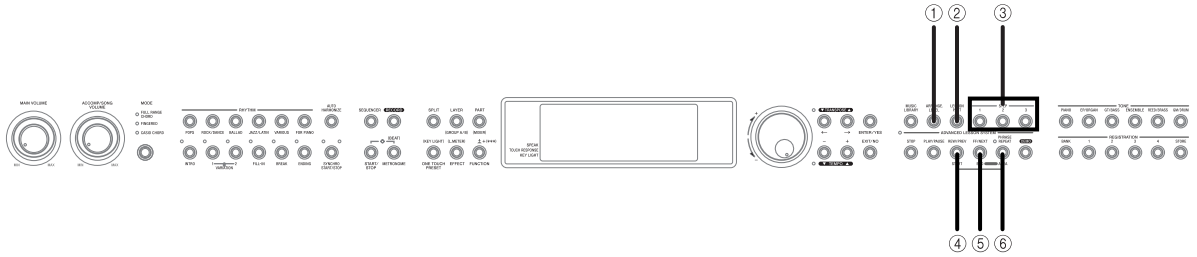
1. 曲の再生待機あるいは再生中にフレーズリピートボタンを押します。
   ◆ ボタン上のランプが点灯します。カウント※の後、フレーズが繰り返し演奏されます。
   ※ 設定項目で、前カウント（Pre Count）をオンに設定している場合のみ。（73ページ「設定を変えるには」の「設定メニュー：レッスン」参照）
   ◆ 前のフレーズ（区間）に移動したい場合は、早戻し／前ボタンを１回押します。先のフレーズ（区間）に移動したい場合は、早送り／次ボタンを押します。

任意のフレーズを設定するには

あらかじめ設定されているフレーズとは別に、お好きなフレーズを設定して繰り返し再生させることもできます。

1. 曲の再生中、フレーズリピートボタンを押しながら、早戻し／前ボタンを押して始点を設定します。
2. 曲の再生中、フレーズリピートボタンを押しながら、早送り／次ボタンを押して折り返し点（終点）を設定します。
   ◆ 設定した始点から終点までのフレーズが、繰り返し再生されます。

アドバンストレッスンシステム2：ミュージッククライブラリーの曲を練習してみましょう



① アレンジレベルボタン　② レッスンパートボタン　③ ステップ1ボタン～3ボタン
④ 始点ボタン　⑤ 終点ボタン　⑥ 区間指定ボタン

アレンジレベル

本機の内蔵曲は、難易度別に３つのアレンジを備えています。お好きなアレンジレベルを選んで練習することができます。難易度は、以下のとおりです。

■ アレンジレベル A

原曲よりとても易しいアレンジです。(左手、右手パートは１～２音、左手パートは１小節あたり１～２音)

■ アレンジレベル B

原曲より易しいアレンジです。(左手パートは１音で、リズムは原曲と同じ)

■ アレンジレベル C

原曲と同じアレンジです。

NOTE

- ユーザーエリアにダウンロードした曲のアレンジレベルは、曲ごとに１種類だけ設定されており、レベル変更はできません。

操作手順

1. アレンジレベルボタンを押すごとに、アレンジレベル（レベル -A/ レベル -B/ レベル -C）を変更できます。

NOTE

- 曲によってはアレンジレベルが３段階ないものもあります。アレンジレベルが１種類しかない曲は、アレンジレベル A から C まで、同じアレンジになります。アレンジレベルが２段階しかない曲は、アレンジレベル A と B が同じアレンジになります。詳しくは、104 ページの「ソングリスト」を参照してください。

レッスンパートの選択

３ステップレッスンでは、左手、右手パートをそれぞれ練習することができます。また、両手パートを一緒に練習することもできます。

操作手順

1. レッスンパートボタンを押すごとに、レッスンパートを変更できます。

- L：左手パート
- R：右手パート
- L+R (BOTH)：両手パート

曲の種類と練習できるパート

■ 両手演奏の曲

ピアノ右手＋ピアノ左手（＋オブリガート）

■ 自動伴奏の曲

メロディー（右手）＋自動伴奏（左手）＋オブリガート

３ステップレッスンについて

３ステップレッスンは、内蔵曲を３つのステップに分けて練習していくための機能です。鍵盤１つでメロディーを演奏する簡単なステップ１から始まり、鍵盤の位置や指使いを覚えるステップ２を経て、最後のステップ３で普通の速さで曲が弾けるようになるまで、上達の進度に合わせてレッスンが行えます。
３ステップレッスンの内容は次のようになります。

NOTE

- ユーザーエリアにダウンロードした曲の中には、運指情報がないものがあります。その場合、指使い表示や指番号を音声でガイドする機能（運指音声）はありません。

ステップ１：弾くタイミングを覚えます

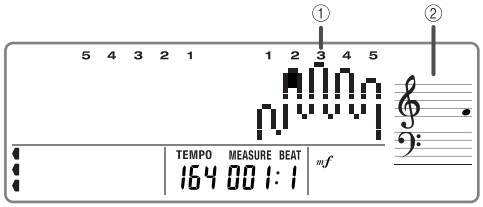
メロディーを弾くタイミングを覚えるレッスンです。ここでは光ガイドのタイミングに合わせて、鍵盤のいずれか１つを続けて押すだけでメロディーが演奏でき、サブメロディー（オブリガート）は次の鍵盤を弾くまで待ってくれます。音の高さは気にせずに、メロディーを弾くタイミングだけ覚えましょう。

1. **レッスンするミュージックライブラリーの曲を選びます。**

2. **ステップ１ボタンを押して、ステップ１のレッスンを開始します。**

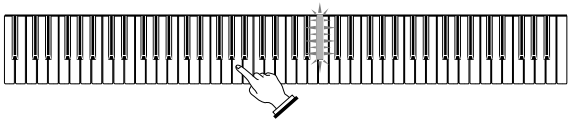
- カウント※の後、（前奏のある曲は前奏に続き）１音目の待機状態になります。

※ 設定項目で、前カウント（Pre Count）をオンに設定してる場合のみ。(73 ページ「設定を変えるには」の「設定メニュー：レッスン」参照)



① 指使い
② 音の高さ

3. **鍵盤のいずれか１つを続けて押して、メロディー（右手パート）を演奏してみましょう。**



- カウント中および前奏中は、初めに押さえる鍵盤が点滅します（演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します）。弾くタイミングになると、鍵盤の光ガイドは点滅から点灯に変わります。
- 伴奏（または左手パート）は、次の鍵盤を押さえるまで待ってくれます。ただし、鍵盤が光ったまま約 10 秒間放置すると、伴奏の音は自動的に消えます。その場合は、光っている鍵盤を押さえれば、続きの伴奏が開始されます。
- 誤って複数の鍵盤を続けて押すと、押した鍵盤の数だけメロディーが進行しますのでご注意ください。
- 複数の鍵盤を同じタイミングで押した場合は、１つしかメロディーは進みません。

4. **レッスンを途中で止めるときは、停止ボタンまたはスタート／ストップボタンを押します。**

NOTE

- ステップ１では、早送り、早戻しの操作が行えます。
- ステップ１では、フレーズリピート機能が使えます。

アドバンストレッスンシステム２：ミュージックライブラリーの曲を練習してみましょう

ステップ１、２での光ガイドと液晶表示について

ステップ１・２のレッスン中、以下の方法で音の高さ、音の長さ、押さえるべき指の位置を確認できます。

■ 音の高さ

現在、点灯している鍵盤が、押さえるべき鍵盤です。音の高さは、五線譜の液晶表示でも確認できます。指使いの液晶表示は、押さえる指の位置が点灯します。

■ 音の長さ

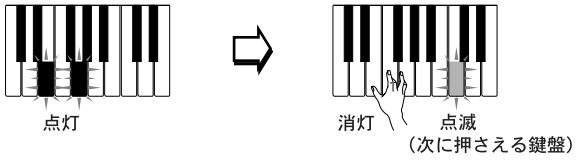
音の長さは、押さえるべき鍵盤を押した後、五線譜上の音符の表示が点灯している時間が、その音の長さとなります。

■ 次の音

点滅している鍵盤が次に押さえる鍵盤です。次に押さえる鍵盤が１拍前になると倍の速さで点滅します。

NOTE

- ステップ１、２を設定している場合は、鍵盤の光や画面の指使い表示は該当する鍵盤を押すとすぐに消えます。音の長さは、画面上の五線譜表示で確認することができます。



【ステップ１・２での鍵盤の光り方】

ステップ１・２での鍵盤の光り方は以下のとおりです。

■ 次鍵点滅（通常点滅）
↓
■ １拍前で倍速点滅
↓
■ 押鍵待ちで点灯
↓
■ 押鍵で消灯

ステップ２：弾く鍵盤、指使い、強弱を覚えます

メロディーを正確に鍵盤で弾くレッスンです。どの指で弾くのか（指使い）、どのくらいの強さで弾くのか（強弱）を液晶表示で確認しながら、メロディーを光ガイドが示すとおりに弾いてみましょう。サブメロディー（オブリガート）はメロディーを正確に弾けるまで待ってくれますので、最初は自分のペースでゆっくり弾いてみましょう。

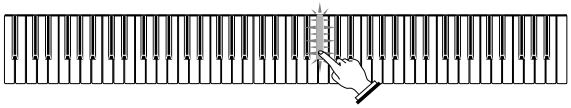
1. レッスンするミュージックライブラリーの曲を選びます。

2. ステップ２ボタンを押して、ステップ２のレッスンを開始します。

- カウント※の後、（前奏のある曲は前奏に続き）１音目の待機状態になります。

※ 設定項目で、前カウント（Pre Count）をオンに設定してる場合のみ。(73 ページ「設定を変えるには」の「設定メニュー：レッスン」参照)

3. 鍵盤の光ガイドに合わせてメロディー（右手パート）を演奏してみましょう。



- カウント中および前奏中は、初めに押さえる鍵盤が点滅します（演奏中は次に押さえる鍵盤が点滅します）。弾くタイミングになると、鍵盤の光ガイドは点滅から点灯に変わります。
- 伴奏（または左手パート）は、次の鍵盤を押さえるまで待ってくれます。ただし、鍵盤が光ったまま約 10 秒間放置すると、伴奏の音は自動的に消えます。その場合は、光っている鍵盤を押さえれば、続きの伴奏が開始されます。
- 両手演奏曲で複数の鍵盤が光っているときは、それらの鍵盤をすべて押さえたときに曲が進行します。

4. レッスンを途中で止めるときは、停止ボタンまたはスタート／ストップボタンを押します。

NOTE

- ステップ２では、早送り、早戻しの操作が行えます。
- ステップ２では、フレーズをリピートさせる機能が使えます。(37 ページ「フレーズを繰り返し聴くには」参照)

強弱記号について

ミュージックライブラリー内の曲では、下記の強弱記号が表示されます。表示を参考にして、鍵盤を押さえる強さを覚えましょう。

pp (ピアニッシモ)：とても弱く

p (ピアノ)：弱く

mp (メゾ・ピアノ)：少し弱く

mf (メゾ・フォルテ)：少し強く

f (フォルテ)：強く

ff (フォルテッシモ)：とても強く

cresc.(＜) (クレッシェンド)：だんだん強く

decresc.(＞) (デクレッシェンド)：だんだん弱く

指くぐり表示について

ミュージックライブラリー内の曲では、指使いと指くぐりの方向を表示します。

例：

表示を参考にして指の押さえ方を覚えましょう。

① 指くぐり表示

- 指使い：人さし指を親指の上にまたがせます。

運指音声（しゃべる運指）

指番号を音声でガイドします。ステップ１あるいは２をレッスン中で、片手パートのみを選択しているとき、弾くべき鍵盤の指番号を喋っていきます。たとえば、親指なら「いち」と、親指・中指・小指なら「いち」「さん」「ご」と順にしゃべってガイドする機能です。
運指音声は、弾くべきタイミングになっても鍵盤が押されなかった場合にだけガイドされます。

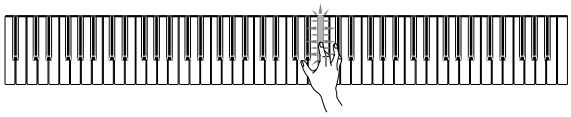
NOTE

- 運指音声のオン／オフは、機能設定のレッスン設定メニューで行います。73 ページの「設定を変えるには」の「設定メニュー：レッスン」を参照してください。
- 音声は、英語、日本語にそれぞれ設定できます。設定は、レッスン設定メニューで行います。73 ページの「設定を変えるには」の「設定メニュー：レッスン」を参照してください。

ステップ３：普通の速さで弾いてみましょう

ステップ２で練習した曲を、普通の速さで弾くレッスンです。押さえるべき鍵盤が光ガイドで示されますが、伴奏は待たずに一定のテンポで進行します。

1. レッスンするミュージックライブラリーの曲を選びます。
2. ステップ３ボタンを押して、ステップ３のレッスンを開始します。
   - 伴奏（左手パート）が普通の速さで演奏されます。
3. 鍵盤の光ガイドに合わせてメロディー（右手パート）を演奏してみましょう。



4. レッスンを途中で止めるときは、停止ボタンまたはスタート／ストップボタンを押します。

NOTE

- 両手演奏の曲のステップ３では、音の長さも光ガイドで示されます。この場合、点灯している鍵盤が押さえる鍵盤で、次に押さえる鍵盤は点滅しません。
- ステップ３では、次の音の指番号は表示しません。現在の音の指番号を表示します。
- ステップ３では、一時停止、早送り、早戻しの操作が行えます。
- ステップレッスン再生中に、ステップ、アレンジレベルやレッスンパートを変更すると、現在演奏されている小節から切り替わります。

ステップ３での光ガイドと液晶表示について

ステップ３のレッスン中、以下の方法で音の高さ、音の長さ、押さえるべき指の位置を確認できます。

■ 音の高さ

現在、点灯している鍵盤が、押さえるべき鍵盤です。音の高さは、五線譜の液晶表示でも確認できます。指使いの液晶表示は、押さえる指の位置が点灯します。

■ 音の長さ

鍵盤が点灯してから消灯するまでの時間が、その音の長さになります。五線譜や指使いの表示も同じ長さになります。

■ 次の音

ステップ３では、次に押さえる鍵盤の予告（点滅）は行いません。

３ステップレッスンのテンポ設定について

３ステップレッスンのテンポは、「テンポを調節するには」（25 ページ）の方法で変えることができます。

レッスンパートの音色を変えるには

本機には、271 種類の音色が内蔵されています。この中から、レッスンするパートの音色を選ぶことができます。音色の変更は、曲のレッスン中でも行えます。音色の選び方は、18 ページの「音色を選ぶには」を参照してください。

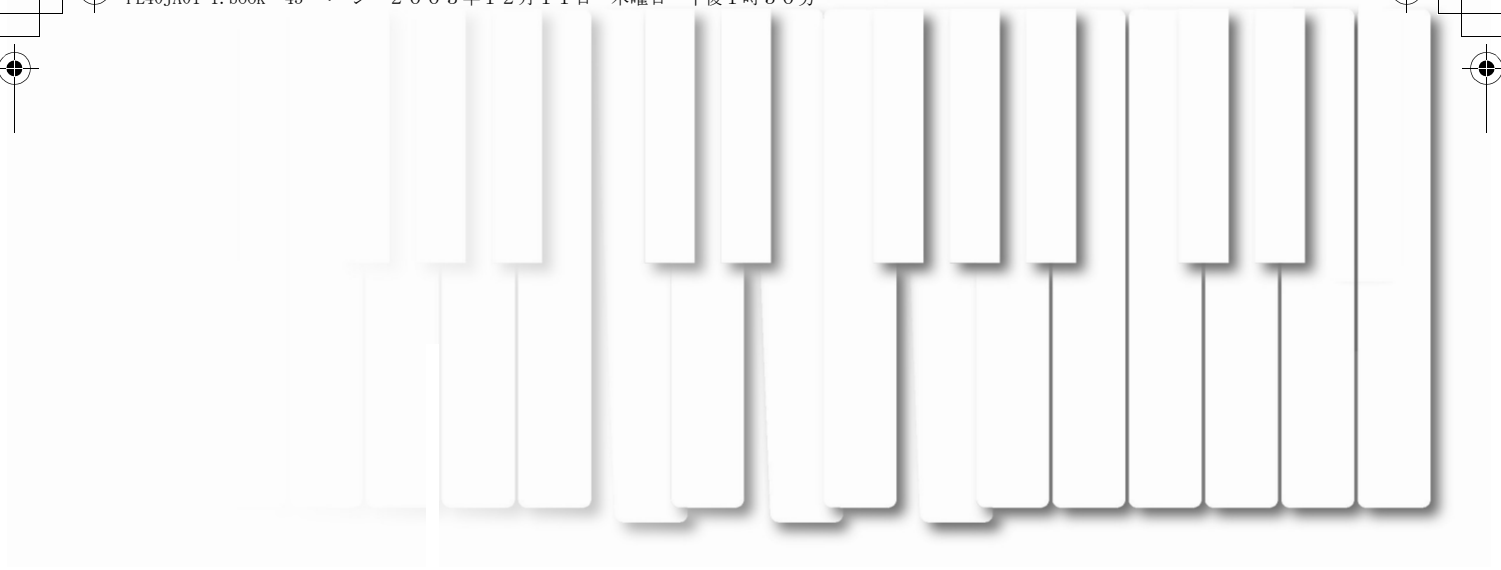
NOTE

- 同じ曲をもう一度選び直すと、あらかじめその曲に設定されている音色に戻ります。

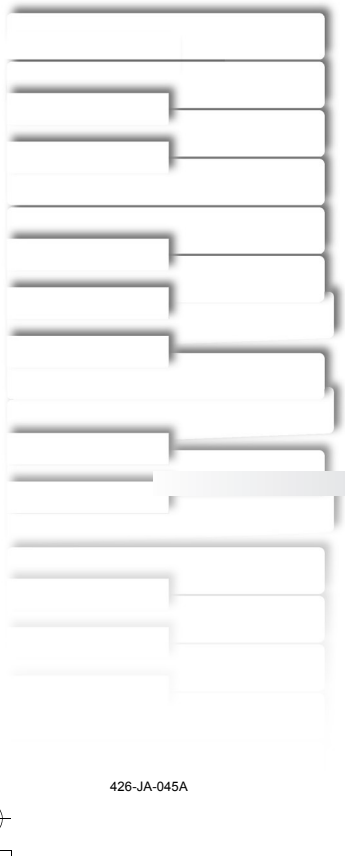
３ステップレッスン中にできること

- ステップ１～３にいるとき演奏／一時停止ボタンを押すと、演奏中の一時停止状態となります。ここで、もう一度演奏／一時停止ボタンを押せば、通常の演奏がその小節頭から開始されます。一時停止中に、ステップ１～３を押せば、それぞれのステップを現在の小節頭から開始します。
- ステップレッスン中に同じステップのボタンを押すと、曲頭から同じステップを再度始めます。
- リピート機能は、ステップ１～３、通常演奏中に使用できます。
- 曲頭、リピート開始点でのカウントオン／オフは、設定項目内の「前カウント（Pre Count）」で設定します。詳しくは、73 ページの「設定を変えるには」の「設定メニュー：レッスン」を参照してください。

PL40JA01-1.book 43 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

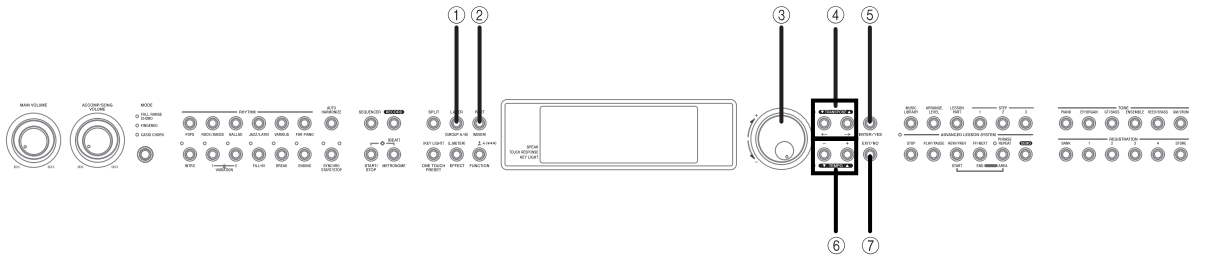


応用操作編



426-JA-045A

ミキサー機能を利用するには



① レイヤー／(グループ A/B) ボタン　② パート／(ミキサー) ボタン　③ ダイヤル
④ [←]/[→] ボタン　⑤ エンター／イエスボタン　⑥ ＋／－ボタン
⑦ エグジット／ノーボタン

パートについて

本機の自動伴奏機能やシーケンサー機能では、同時に複数のパートの再生が行われます。また本機では、これらの再生に合わせて鍵盤演奏を行ったり、レイヤーやスプリット機能を使って鍵盤上で同時に複数の音を使うこともできます。
例えば、コード自動伴奏を使いながら、UPPER1 と UPPER2 の２音色を重ねた音でメロディーを演奏している場合を考えてみましょう。

1	鍵盤演奏	アッパー１音色（Upper1）
2		アッパー２音色（Upper2）
3	自動伴奏	パーカッション（Perc.）
4		ドラム（Drum）
5		ベース（Bass）
6		コード１（Chord1）
7		コード２（Chord2）
8		コード３（Chord3）
9		コード４（Chord4）
10		コード５（Chord5）

この場合、上の表のように、同時に10 の「パート」で音が鳴っていることになります。ミキサー機能を使うと、こうしたパートごとのオン／オフ（音を出すか、出さないか）、音色、音量、ステレオ定位、エフェクトのかかり具合などを、個別に設定することが可能です。

パートの種類

本機は「パート」を全部で 30 個持っています。パートは大きく「グループ A」と「グループ B」の２つに分かれています。

■ グループ A

本機の通常の演奏時（自動伴奏の演奏および鍵盤演奏）には、本機の「グループ A」が使われています。全 14 パートあります。グループ A のうち鍵盤演奏に関わる部分６パートを「メロディーパート」、自動伴奏に関わる部分８パートを「伴奏パート」と呼びます。

■ グループ B

外部からの MIDI 入力によって発音するパートで、全 16 パートあります。また、本機単体で利用する場合は、シーケンサー機能（51 ページ）のトラック１～16 に対応します。

パートの全構成は、以下のとおりです。

グループ名	パート分類	パート名	解説
グループ A インターナル〔A〕	Melody Part（メロディーパート）	アッパー１（Upper1）	鍵盤演奏時に鳴るパートです。（19 ページ「UPPER1/UPPER2/LOWER1/LOWER2 の各パートについて」参照）
		アッパー２（Upper2）	
		ロワー１（Lower1）	
		ロワー２（Lower2）	
		オートハーモナイズ１（Harmo1）	オートハーモナイズ機能を使っている際のハーモナイズ音です。（28 ページ「オートハーモナイズを使うには」参照）
		オートハーモナイズ２（Harmo2）	
	Accomp Part（伴奏パート）	パーカッション（Perc.）	自動伴奏の各パートです。（23 ページ「コード自動伴奏を鳴らすには」参照）
		ドラム（Drum）	
		ベース（Bass）	
		コード１～コード５（Chord1 ～ Chord5）	
グループ B エクスターナル〔B〕		パート１～パート 16（Part1 ～ Part16）	シーケンサー機能（51 ページ）を利用した録音／再生時に使われるエクスターナルトラック（External Track）１～ 16 に対応します。また、MIDI 入力によって鳴らすこともできます。（64 ページ「MIDI の利用について」参照）

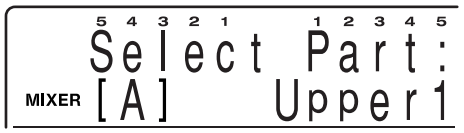
特定のパートの設定を変えるには

特定のパートの設定を変更するには、以下の手順で行ってください。

操作手順

1. 機能ボタンを押しながら、パート／（ミキサー）ボタンを押します。

- 画面上に“MIXER”が表示されます。

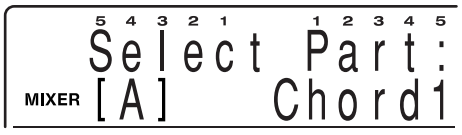


2. 機能ボタンを押しながら、レイヤー／（グループ A/B）ボタンを押して、設定したいグループを選びます。

グループ A：〔A〕
グループ B：〔B〕

- レイヤーやスプリット、自動伴奏の設定を行う場合は、グループ A を選択します。
- MIDI やシーケンサーの設定を行う場合は、グループ B を選択します。

3. [←]/[→]ボタンまたはダイヤルを使って、設定を行いたいパートを選びます。



4. エンター／イエスボタンを押して、サブメニュー画面へ移ります。

ミキサー機能を利用するには

5. [←]/[→] ボタンを使って、設定したいパラメータを選びます。

- 設定できるパラメータについての詳細は、次の「パラメータ詳細」を参照してください。

6. ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、パラメータの設定値を変更します。

- メインメニュー画面（パート設定の画面）に戻るには、エグジット／ノーボタンを押します。
- パート／（ミキサー）ボタンを押して、設定を行うパートを変更することができます。

7. 手順２～手順６の要領で、各パートに対するパラメータを、必要なだけ設定します。

- 設定を行う際には、設定したいパートの音を実際に鳴らしながら行うと良いでしょう。

8. 設定が済んだら、エグジット／ノーボタンを押します。

パラメータ詳細

ここでは各パートごとに設定可能なミキサーのパラメータについて個別に説明します。

音色系の各パラメータ

■ Tone（音色：271 音色）

各パートに対して、割り当てる音色を設定します。

NOTE

- 音色はトーンボタンでも変更できます。選択されているパートに対して音色設定が有効になります。
- ドラム（Drum）、パーカッション（Perc.）の各パートに対しては、DRUM の音色グループのみ選択できます。
- ベース（Bass）、コード１～５（Chord1 ～ 5）の各パートに対しては、DRUM の音色グループは選択できません。
- Upper1の音色を変更するとHarmo1の音色も、Upper2 の音色を変更すると Harmo2 の音色も同時に変更されます。

■ Part On/Off（パートオン／オフ：On, Off）

各パートごとに、音を鳴らす（オン）か鳴らさない（オフ）かを設定します。パートのオン／オフ状態は、画面のレベルメーター表示にして確認できます。13 ページの「レベルメーター表示について」を参照してください。

■ Volume（音量：０～ 127）

各パートごとの音量を設定します。

■ Pan（パン：－64 ～ 63）※

各パートごとのステレオ定位（左右のスピーカー／ライン出力から出る音の音量バランス）を調節します。設定値０が中央（左右とも同じ音量）で、設定値が小さいほど左、大きいほど右に定位が移動します。

※ 使用する DSP の設定が「On」の場合、この設定は無効になり、各 DSP のパラメータ設定に従います。

エフェクト系の各パラメータ

エフェクト・モードで行う各設定が、すべてのパート共通の設定であるのに対して、ここではパート別にエフェクトのかかり方を設定することができます。

■ Reverb Send（リバーブセンド：０～ 127）

各パートへのリバーブのかかり具合を調節します。「０」に設定するとエフェクトがまったくかからない状態で、127 でかかり方が最大となります。

■ Chorus Send（コーラスセンド：０～ 127）

各パートへのコーラスのかかり具合を調節します。「０」に設定するとエフェクトがまったくかからない状態で、127 でかかり方が最大となります。

- ドラム音色では、設定しても効果がかかりません。

■ DSP（DSP オン／オフ：On, Off）

各パートごとに、DSP を使用するかしないかを選択します。

PL40JA01-1.book 47 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

チューニング関連のパラメータ

パート別に、チューニングを行うことができます。

■ Coarse Tune（コースチューン：－24 ～ 24）

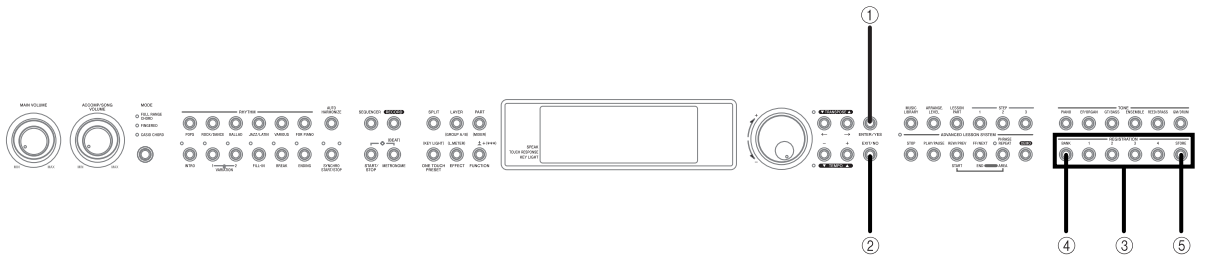
パートごとのチューニング（音高設定）を半音単位で行います。設定値 1 につき半音変化します。

- ここでの設定は、トランスポーズ（31 ページ）に対して加算される形で働きます。
- ドラム音色では、設定しても効果がかかりません。

■ Fine Tune（ファインチューン：－64 ～ 63）

パートごとのチューニングを微調整します。設置値を－64 にすると元の音に対して半音低くなり、63 にすると元の音に対して半音高くなります。設定項目中の Tune 設定に加算される形で働きます。

レジストレーション機能を使ってみましょう



① エンター／イエスボタン　② エグジット／ノーボタン　③ レジストレーションボタン
④ バンクセレクトボタン　⑤ ストアボタン

レジストレーション機能でできること

本機で演奏するとき、曲に応じて音色、リズムの種類、テンポなどの設定を行います。こうしたさまざまな設定を一括して登録（レジストレーション）しておいて、後からボタンひとつで呼び出せるようにすることができます。登録は 16 セット（４セット×４バンク）まで可能です。

登録できる内容

- リズム
- テンポ
- レイヤーのオン／オフ
- スプリットのオン／オフ
- オートハーモナイズのオン／オフ
- オートハーモナイズの種類
- サスティンレングス
- リバーブの種類
- コーラスの種類
- DSP の種類
- パートのオン／オフ（グループ A）

■ 以下の設定は、メロディーパート分についてです。

- パートの音色設定
- パートのパン
- パートの音量
- コースチューン
- ファインチューン
- パートのリバーブレベル
- パートのコーラスレベル
- パートの DSP のオン／オフ

NOTE

- 以下の状態で、レジストレーション機能を登録／呼び出しすることができます。
  - 通常画面（音色名とリズム名が表示されている画面）
  - ソングシーケンサーの再生待機および再生中
  - ソングシーケンサーの録音中（呼び出しのみ）

初期設定

バンク A

エリア	音色	リズム
1	004:E.Piano1	16Beat 1
2	Stereo Piano	8Beat 1
3	004:E.Piano1	Pop Rock 2
4	Full Organ	R&B

バンク B

エリア	音色	リズム
1	022:Harmnica	Shuffle Pop 1
2	Flute	8Beat Ballad 2
3	091:SpaceChr	16Beat Ballad 3
4	030:Dist.Gt1	Rock 1

バンク C

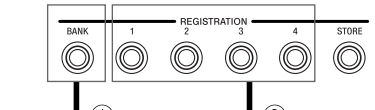
エリア	音色	リズム
1	Clavi	Dance 1
2	017*PercOrg2	Swing 1
3	Flute	Bossa Nova 1
4	Strings 1	Broadway

バンク D

エリア	音色	リズム
1	Stereo Piano	Piano Ballad 1
2	Mellow Piano	Jazz Waltz
3	Stereo Piano	Arpeggio 1
4	Stereo Piano	2Beat

登録の単位について

各種の設定は、バンクセレクトボタンと、１～４の４つのレジストレーションボタンを使って選べる 16 個のエリア（下表の A-1 ～ D-4）に対して登録します。



	1	2	3	4
バンク A	A-1	A-2	A-3	A-4
バンク B	B-1	B-2	B-3	B-4
バンク C	C-1	C-2	C-3	C-4
バンク D	D-1	D-2	D-3	D-4

① バンクセレクトボタンを押すごとに、バンク A からバンク D の間で切り替わります。

② １～４のいずれかのレジストレーションボタンを押すと、現在選択されている側のバンクに対応したエリアを選択できます。

NOTE

- あるエリアに新しく登録した時点で、そのエリアの前の登録内容は消えます。

登録するには

1. 本機の音色、リズムの選択や、各種の設定を行います。

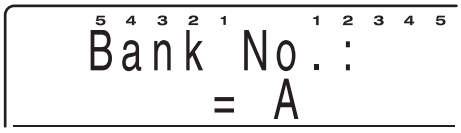
- 48 ページの「登録できる内容」を参照してください。

2. バンクセレクトボタンを押して、登録したいバンクを選択します。

- 10 秒間何も操作を行わないと、元の画面に戻ります。バンクを選択する場合は、再度バンクセレクトボタンを押します。

例：

バンク A を選択した場合



3. ストアボタンを押しながら、登録したいエリア（１～４）に対応したレジストレーションボタンを押し、登録します。

例：

２のボタンを押した場合

4. 登録したバンク番号（A ～ D）とエリア（１～４）が表示された後、元の画面に戻ります。レジストレーションボタンとストアボタンを離します。

レジストレーション機能を使ってみましょう

登録した設定を呼び出すには

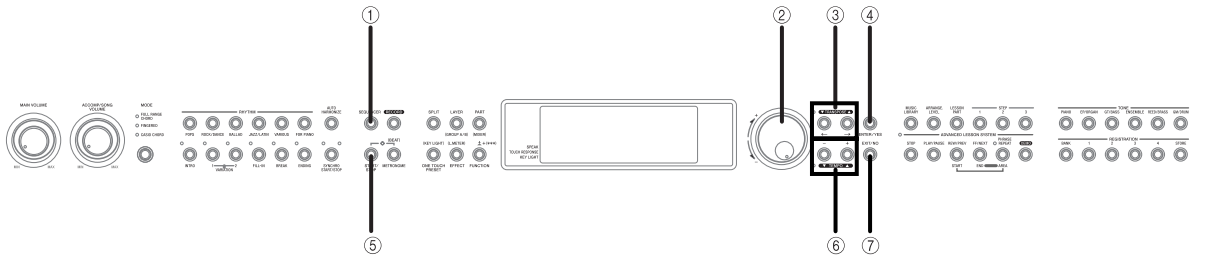
1. バンクセレクトボタンを押して、呼び出したいバンクを選択します。
2. 呼び出したいエリア（1～4）に対応したレジストレーションボタンを押します。

- 呼び出したバンク番号（A ～ D）とエリア（1～4）が表示された後、元の画面に戻ります。

NOTE

- 上記の手順1を省略すると、以前に選択したバンクが自動的に選択されます。

演奏を録音してみましょう（シーケンサー機能）



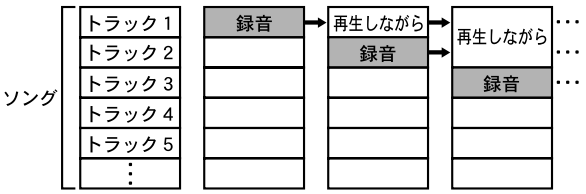
① シーケンサーボタン　② ダイヤル　③ [←]/[→] ボタン
④ エンター／イエスボタン　⑤ スタート／ストップボタン　⑥ ＋／－ボタン
⑦ エグジット／ノーボタン

本機には、鍵盤演奏を録音して 10 曲までオリジナル曲が作れるシーケンサー機能が搭載されています。シーケンサー機能をフルに活用すると、単純なピアノ曲の演奏や自動伴奏を使った演奏を録音できるだけでなく、最大 17 トラックを利用した高度な演奏データの作成を行うことが可能です。

シーケンサー機能について

ソングとトラックについて

シーケンサー機能は、テープレコーダーのように鍵盤演奏の内容を記録して再生する機能です。録音は 10 曲まで行うことができ、シーケンサー機能ではこれらの録音した曲それぞれを「ソング」と呼びます。
各ソングは 17 の「トラック」（システムトラック＋トラック１～ 16）で構成されています。トラックとは録音内容が記録される場所のことで、１トラックずつ順番に録音していくと、録音後は 17 のトラックを一度に再生することができます。この機能は、バンド演奏やオーケストラのように、複数のパートでできている曲を作るのに適しています。



システムトラックとエクスターナルトラック１～16 について

本機の自動伴奏機能を使った演奏では、ドラムパートやコードパートなど全部で８つのパートが同時に使われています。自動伴奏に合わせてメロディー鍵盤での演奏を行う際には、UPPER1、UPPER2、LOWER1、LOWER2 の４パートと、オートハーモナイズ機能を利用した場合のハーモナイズ音色２パートまでが同時に利用されます。これらの全 14 パートをまとめて録音することができるのが「システムトラック（Sys.Track）」です。要するに、自動伴奏機能を使ったあらゆる演奏を、「システムトラック」を使えばそのまま記録できると考えてください。
一方、システムトラック以外の各トラック（トラック１～トラック 16）は、それぞれが単音色を使った演奏のみを記録することができるトラックです。録音を行う際は、前図のように録音済みのトラックを再生しながら重ね録音していきます。

NOTE

- 各トラックは独立しているので、録音時に弾き間違えても、そのトラックだけ録音し直したりすることができます。
- トラック１～９、11 ～ 16 は、おもにドラム音色以外の音色で、トラック 10 は、おもにドラム音色に設定してお使いください。それ以外の使い方では、再生したときや SMF 形式で保存したときに音色を忠実に再現できない場合があります。

演奏を録音してみましょう（シーケンサー機能）

録音のしかたについて（リアルタイム録音とパンチイン録音）

録音する方法は２種類あります。鍵盤演奏をそのまま録音する「リアルタイム録音」と、録音されたものを修正するために途中から録音をやりなおす「パンチイン録音」です。

■ リアルタイム録音

普通に鍵盤演奏を行い、演奏したままを録音する方法です。

■ パンチイン録音

録音を終了した後で、途中で間違えていたことに気づいたときや録音の途中で間違えてしまったときに、間違えたところから録音をやりなおす方法です。

シーケンサーへの記録内容について

シーケンサーで録音できる内容には、以下の３つの基本的なタイプに分かれます。

- 拍子の設定など（全トラックに共通して録音される内容）
- 録音の開始時の設定状態（曲の先頭に録音される内容）
- 録音中の操作（曲の演奏中に録音できる内容）

  システムトラックに記録できる内容はトラック１～ 16 に記録できる内容と異なります。

NOTE

- 各トラックごとに記録できる項目についてのより詳細な仕様については、106 ページの「パラメーター覧」を参照してください。

全トラックに共通して記録される設定

次の設定は、ソング１つにつき全トラックに共通して適用されます。ソングの先頭に記録され、ソングの途中で変更したり、トラックごとに指定することはできません。

- 拍子の設定（0、2/4 ～ 7/4 拍子、9/4、12/4、3/8、5/8、6/8、7/8、9/8、12/8 拍子の間で設定が可能）
- エフェクトのタイプ
- チューニングの設定（マスターチューン、バロックピッチ、音律）

システムトラックに記録できる内容

■ 記録の開始時の設定状態（曲の先頭に記録される内容）

システムトラックに録音を開始するとき、以下の設定内容は曲の先頭に録音されます。59 ページの「曲頭設定の書き換え （パネルレコード）」の操作でこの設定内容を変更することができます。

- リズム選択状態
- 音色の選択状態
  曲の始めの部分に、UPPER1/UPPER2/LOWER1/LOWER2の各パートごとの音色の選択状態が記録されます。また、各パートのオン／オフの状態、スプリットポイントの設定も記録されます。
- テンポ設定
- トランスポーズ設定
- ミキサーの設定状態（自動伴奏およびメロディー演奏の各パートごとの設定状態）
  曲の始めの部分に、パートごとの設定が記録されます。記録の開始後の設定変更は記録されません。
- 自動伴奏モード
- オートハーモナイズのオン／オフ状態

■ 記録中の操作（曲の演奏中に記録できる内容）

- 鍵盤上での演奏（伴奏鍵盤でのコード指定を含む）
- ペダル操作
- リズムの変更
- 音色の変更
- テンポの変更
- 自動伴奏モードの変更
- スタート／ストップボタンを除く自動伴奏の各種コントローラの操作（イントロ、フィルイン、ブレイク、バリエーション 1/2、シンクロスタート／ストップ、エンディングの各ボタン操作）
- 伴奏鍵盤を使ったコード指定
- エフェクトタイプの変更

トラック１～ 16 に記録できる内容

■ 記録の開始時の設定状態（曲の先頭に記録される内容）

トラック１～ 16 に録音を開始するとき、以下の設定内容は曲の先頭に録音されます。59 ページの「曲頭設定の書き換え （パネルレコード）」の操作でこの設定内容を変更することができます。

- 音色の選択状態
- ミキサーの設定状態

■ 記録中の操作（曲の演奏中に記録できる内容）

- 鍵盤上での演奏
- ペダル操作
- 音色の変更

録音できる長さについて（メモリー容量）

メモリー容量：10 曲合わせて約 15,500 音符
なお、１曲で容量すべてを使いきってしまうこともできます。

- 現在のメモリー使用量は、録音待機状態に入ったとき、画面にパーセントで数秒間表示されます。
- 録音中にメモリー容量がいっぱいになると、録音が自動的に終了します。自動伴奏やリズムを鳴らしているときは、その音も止まります。
- １曲で 1,000 小節以上は録音できません。

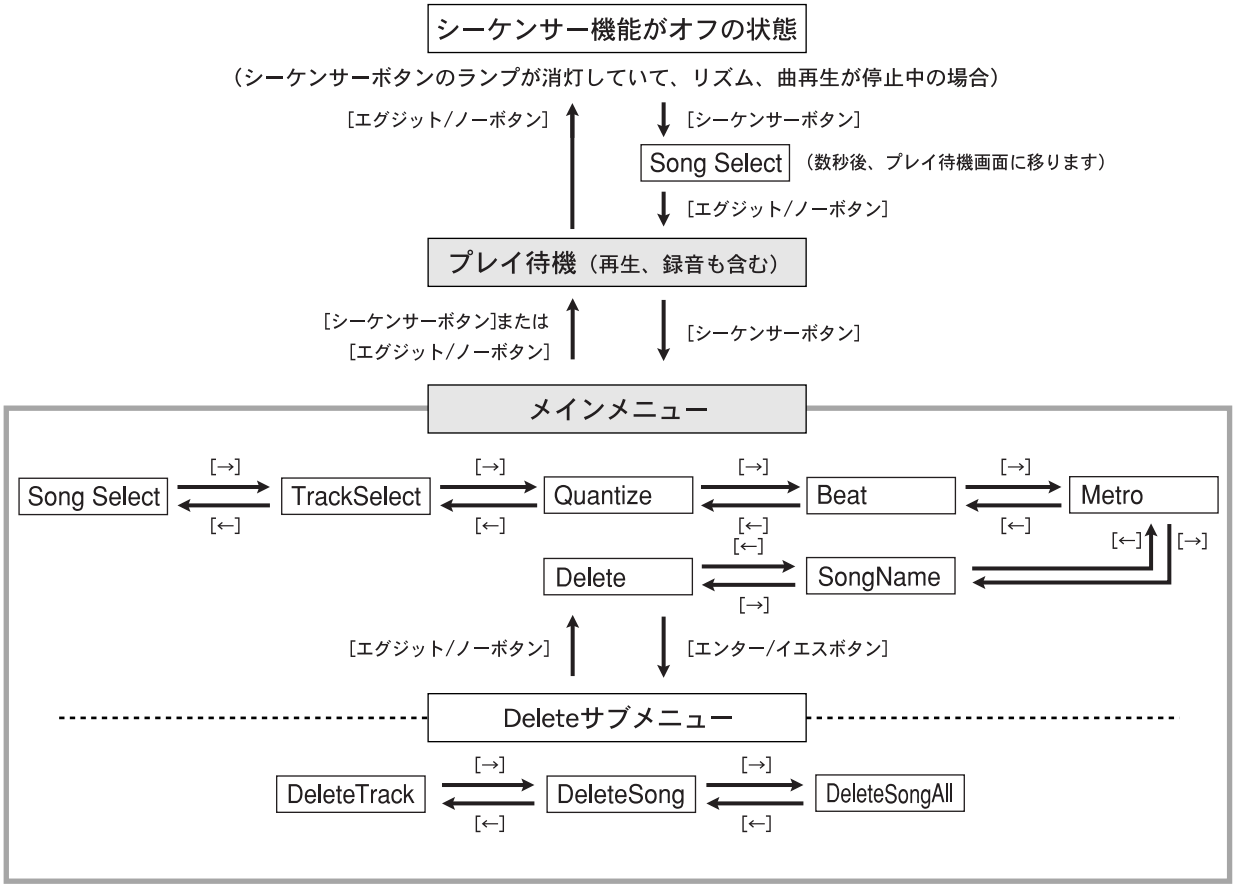
録音内容の保持について

- 新しく録音した時点で前の録音内容は消えます。
- 電源をオフにしても録音内容を保持するために、本機はリチウム電池を内蔵しています。このリチウム電池が消耗すると、本体の電源を切ると同時に録音内容は消去されてしまいます。内蔵のリチウム電池の寿命は、本機の製造より約５年ですので、お買い上げより相当の年数がたちましたら、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。有償にて電池交換をいたします。
- 録音待機中や録音中に電源が切れると、シーケンサーの内容はすべて消去されます。

演奏を録音してみましょう（シーケンサー機能）

シーケンサー機能のメインメニュー／サブメニューの遷移と概要

シーケンサーボタンを押すごとに、プレイ待機とメインメニュー画面に移り変わります。



NOTE

- エグジット／ノーボタンを押して、モードを抜けて通常状態に戻った際に、モードに入る直前の通常状態での主なパラメータ設定が復帰します。（リコール）復帰するパラメータの詳細については、106 ページの「パラメーター覧」中の、「リコール項目」を参照してください。
- “Delete”メニューから、エンター / イエスボタンを押すと、“Delete”サブメニューに移ります。
- メインメニューからプレイ待機に戻るときにメニュー画面を記憶し、再度メインメニューに入った場合は前回のメニュー画面になります。
- “Delete”サブメニューからプレイ待機または Delete に戻るとき、“Delete”サブメニュー画面を記憶し、再度“Delete”サブメニューに入った場合は、前回の“Delete”サブメニュー画面になります。

PL40JA01-1.book 55 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

演奏をそのまま録音するには（リアルタイム録音）

システムトラックへのリアルタイム録音

次はもっとも基本的な操作手順例です。他にも録音時のさまざまな応用操作が可能です。56 ページの「システムトラックにリアルタイム録音する場合の応用例」も参照してください。

1. シーケンサーボタンを押します。

- ボタンのランプが点灯します。

2. ソングエリアを選択します。

- ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、録音するエリア(Song 1～10)を選択します。
- 数秒後プレイ待機画面に移ります。また、エグジット／ノーボタンを押してプレイ待機画面に移動することもできます。

3. シーケンサーボタンでメインメニュー画面にします。

- [←]/[→] ボタンを使って、メインメニュー内を移動できます。

4. 録音時の拍子とメトロノームの鳴り方を設定します。

- 選択のしかたは、設定モードの「メトロノームの設定（⑤）：“Metro”」（62 ページ）で行うことができます。
- 設定を行った後、プレイ待機状態に移ります。シーケンサーボタンまたはエグジット／ノーボタンを押します。

5. 録音開始時の各種設定を、必要に応じて行います。

- 録音を開始する際に利用する音色やリズム、自動伴奏を利用する場合の自動伴奏モードの選択などを行います。音色やリズム、自動伴奏モードの選択のしかたなどは、すべて通常の演奏時と同様の操作で行うことができます。56 ページの「システムトラックにリアルタイム録音する場合の応用例」も参考にしてください。
- 録音の開始時に可能な設定については、52 ページの「システムトラックに記録できる内容」を参照してください。

6. 必要に応じて、機能ボタンを押しながらパート／（ミキサー）ボタンを押して、ミキサー設定を行います。

- 自動伴奏パート、メロディーパートの全パートについて、ミキサー設定を行うことができます。
- 設定が済んだら、エグジット／ノーボタンを押して、元の画面（手順５で表示されていた画面）まで戻ってください。

7. レコードボタンを押します。

- ボタンのランプが点滅し、システムトラックへの録音の待機状態になります。

8. 鍵盤演奏を開始すると同時に録音が開始されます。

① 録音中は、ここに現在の小節数と拍数が表示されます。

- 演奏開始前に休符（無音の空白）を入れたい場合は、スタート／ストップボタンを押して録音を開始し、必要な休符が入った後で鍵盤演奏を開始してください。
- 録音中は、手順４で行った設定に従ってメトロノーム音が鳴ります。

9. 鍵盤で演奏をします。

- 自動伴奏によるコード演奏や、ペダルの操作なども記録されます。
- 録音中に記録される内容については、52 ページの「システムトラックに記録できる内容」を参照してください。

10. 演奏が終わったら、スタート／ストップボタンを押して録音を終了します。
録音を終了すると、再生モードの画面に戻ります。

- この状態でスタート／ストップボタンを押すと、今録音した内容を再生することができます。録音内容の再生について詳しくは、59 ページの「録音した内容を再生するには」を参照してください。

NOTE

- リアルタイム録音で、録音済みのトラックに再度録音をする場合、以前録音されたデータは新しいデータに上書きされます。
- 録音時に弾き間違えた場合は、手順１からやり直すか、パンチイン録音（58 ページ）を利用して途中から録音し直すことができます。

システムトラックにリアルタイム録音する場合の応用例

■ 自動伴奏を使わずに録音するには

手順５で、自動伴奏モードをオフにしておきます。（モードボタンのランプを、すべて消灯させておきます）

- 録音中に自動伴奏モードを変更して、途中から自動伴奏を使うことも可能です。

■ シンクロスタートで録音を始めるには

手順５で、シンクロスタート／ストップボタンを押します。

- 手順７の録音待機状態で伴奏鍵盤でコードを指定すると、自動伴奏と録音が同時にスタートします。

■ 前奏やエンディング、フィルインを入れて録音するには

録音中はイントロ、フィルイン、ブレイク、バリエーション 1/2、シンクロスタート／ストップ、エンディングの各ボタンを使用することができます。

■ シンクロスタートで前奏（イントロパターン）から録音を始めるには

手順５で、シンクロスタート／ストップボタンとイントロボタンを続けて押します。

- 手順７の録音待機状態で伴奏鍵盤でコードを指定すると、コード伴奏付きの前奏と録音を同時にスタートします。

■ 録音の途中でリズムのみを開始するには

自動伴奏なしで録音を開始した後で、バリエーションボタン 1/2 のいずれか１つを押します。押したボタンに応じて、（コード演奏なしの）リズムのみの再生が開始されます。この後、モードボタンで自動伴奏モードを選んで、伴奏鍵盤でコードを指定してコード伴奏付きの自動伴奏を使うこともできます。

トラック１～ 16 へのリアルタイム録音

本機のシーケンサー機能には、自動伴奏を含む鍵盤演奏を録音するシステムトラック以外に、16 の単音色で録音可能なトラックが用意されています。これらのトラックに音を重ねて録音していくことで、より本格的なアレンジの楽曲の再現ができます。録音の手順は、システムトラックの録音方法と基本的に同じです。
トラック１～ 16 へのリアルタイム録音は、次の手順で行います。システムトラックへの録音に引き続きトラック１～ 16 への録音を行う場合は、手順１、２は省略してください。

1. シーケンサーボタンを押します。

- ボタンのランプが点灯します。

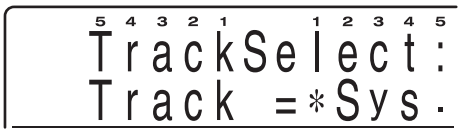
2. ソングエリアを選択します。

- ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、録音するエリア(Song 1～10)を選択します。
- 数秒後、プレイ待機画面に移ります。また、エグジット／ノーボタンを押してプレイ待機画面に移動することもできます。

PL40JA01-1.book 57 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

3. 録音するトラックを選びます。

- シーケンサーボタンでメインメニュー画面に移動し、“TrackSelect”を選びます。



- 録音済みのデータがあるトラックには、画面上に ＊ 印が表示されます。
- ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、トラックを選びます。

4. 記録時の拍子とメトロノームの鳴り方を設定します。

- システムトラックにすでに録音済みの場合など、すでに拍子が設定済みの場合は、拍子設定を行う必要はありません。
- 設定を行った後、プレイ待機状態に移ります。シーケンサーボタンまたはエグジット／ノーボタンを押します。

5. 録音開始時の音色およびテンポを設定します。

- 通常の演奏時の操作と同様に、音色はトーンボタンを使って、テンポはテンポボタン[▲]/[▼] を使って設定することができます。
- 録音開始時のテンポ設定は、最後に録音を行ったトラックに対する設定が保持され、再生時の初期設定として利用されます。

6. 必要に応じて、機能ボタンを押しながらパート／（ミキサー）ボタンを押して、ミキサー設定を行います。

- 設定が済んだらエグジット／ノーボタンを１回押して元の画面に戻ります。

7. レコードボタンを押して、録音待機状態にします。

8. 鍵盤演奏を開始すると同時に録音が開始されます。

- 演奏開始前に休符（無音の空白）を入れたい場合は、スタート／ストップボタンを押して録音を開始し、必要な休符が入った後で鍵盤演奏を開始してください。
- 録音中は、手順４で行った設定に従ってメトロノーム音が鳴ります。

9. 鍵盤で演奏をします。

- ペダルの操作なども記録されます。
- 録音中に記録される内容については、53 ページの「トラック１～ 16 に記録できる内容」を参照してください。

10. 演奏が終わったら、スタート／ストップボタンを押して録音を終了します。
録音を終了すると、再生モードの画面に戻ります。

- この状態でスタート／ストップボタンを押すと、今録音した内容を再生することができます。録音内容の再生について詳しくは、59 ページの「録音した内容を再生するには」を参照してください。

NOTE

- リアルタイム録音で、録音済みのトラックに再度録音をする場合、以前録音されたデータは新しいデータに上書きされます。
- 録音時に弾き間違えた場合は、手順１からやり直すか、パンチイン録音（58 ページ）を利用して途中から録音し直すことができます。

途中から録音をやり直すには（パンチイン録音）

パンチイン録音を使うと、トラックごとに録音済みの内容の途中から録音し直すことができます。

録音済みの演奏を聞きながらタイミングをはかり、途中から鍵盤演奏を開始します。鍵盤演奏を開始するまでの内容は前回録音分がそのまま残り、演奏を開始した以降の内容は新規に演奏した分が録音されます。

途中から録音をやり直すには

録音の終了直後に録音をやり直す場合は、手順１と２は省略してください。

1. シーケンサーボタンを押します。
- ボタンのランプが点灯します。

2. ソングエリアを選択します。
- ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、録音するエリア(Song 1～10)を選択します。

3. 必要に応じて、録音中のメトロノームの鳴らし方を設定します。

4. 録音し直したいトラックを選択します。
- [←] ボタンで“TrackSelect”を選びます。
- ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、トラックを選びます。
- 設定を行った後、シーケンサーボタンまたはエグジット／ノーボタンを押して、プレイ待機状態に移ります。

5. エンター／イエスボタンを押します。
- パンチイン録音モードになります。
  レコードボタンのランプが点滅します。

6. スタート／ストップボタンを押します。
録音済みの内容の再生が開始されます。

7. 録音し直したいところまできたら、タイミングを合わせて鍵盤演奏を開始します。
- 鍵盤演奏を開始すると同時に前の録音内容の再生が停止し、続きの録音が開始されます。

8. 演奏が終わったら、スタート／ストップボタンを押して録音を終了します。
録音を終了すると、再生モードの画面に戻ります。

NOTE

- 手順６で再生を開始した後、パンチイン録音を開始するまでの間の音色などの設定変更は、再生に対して一時的に行われるだけで、記録されません。パンチイン録音の開始後は、通常の録音時と同様の設定変更が可能で、鍵盤演奏と同様に記録されます。

PL40JA01-1.book 59 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

曲頭設定の書き換え（パネルレコード）

曲の開始時のミキサー設定やテンポ設定などだけを、一括して書き換えることができます。

曲頭の設定だけを書き換えるには

1. シーケンサーボタンを押します。
2. 設定変更を行いたい曲のソングエリアを選択します。
   - ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、録音するエリア(Song 1～10)を選択します。
3. テンポ設定やミキサー設定など、変更したい項目の設定を行います。
4. レコードボタンを押します。
   - 曲頭に記録されていた設定内容が、新しい設定内容によって上書きされます。
   - エグジット／ノーボタンを押して、メモリの残量表示から録音待機の画面（音色とリズムを表示）に移ります。または、10 秒間何も操作を行わない場合にも、録音待機の画面に移ります。
5. エグジット／ノーボタンを押します。

録音した内容を再生するには

トラックに録音した演奏内容を再生して、うまく録音されているか確認しましょう。

- リアルタイム録音した直後に再生する場合は、以下の手順１、２は省略してください。

操作手順

1. シーケンサーボタンを押します。
   - ボタンのランプが点灯します。
2. ソングエリアを選択します。
   - ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、再生するエリア(Song 1～10)を選択します。
3. 再生を開始するには、スタート／ストップボタンを押します。
   - テンポボタン [▲]/[▼] を使って、再生のテンポの調節ができます。
   - その他、再生中にできる操作については、以下の***NOTE***を参照してください。
4. 再生を終了するには、再度スタート／ストップボタンを押してください。

NOTE

- スタート／ストップボタンでシーケンサーを再生するときは、常に曲の最初からスタートします。
- シーケンサー再生時にも、レイヤー、スプリット機能を利用した鍵盤演奏が楽しめます。
- 再生中に、ミキサー機能で再生トラックの音量や定位の設定が行えます。このときその設定データは、設定の操作と同時に MIDI アウトから出力されます。
- モードボタンは設定できません。
- 画面のレベルメーター表示で、各パートのオン／オフや、オンの場合にはレベル（２段階）を確認することができます。詳しくは、13 ページの「レベルメーター表示について」を参照してください。

録音全体に関わる設定をするには

シーケンサー機能では、以下の録音全体に関わる設定・操作を行うことができます。

① 選曲の設定
② トラックの設定
③ クオンタイズの実行
④ 拍子の設定
⑤ メトロノームの設定
⑥ 曲名の設定
⑦ トラックの消去
⑧ ソングの消去
⑨ 全ソングの消去

操作手順

1. シーケンサーボタンを押します。

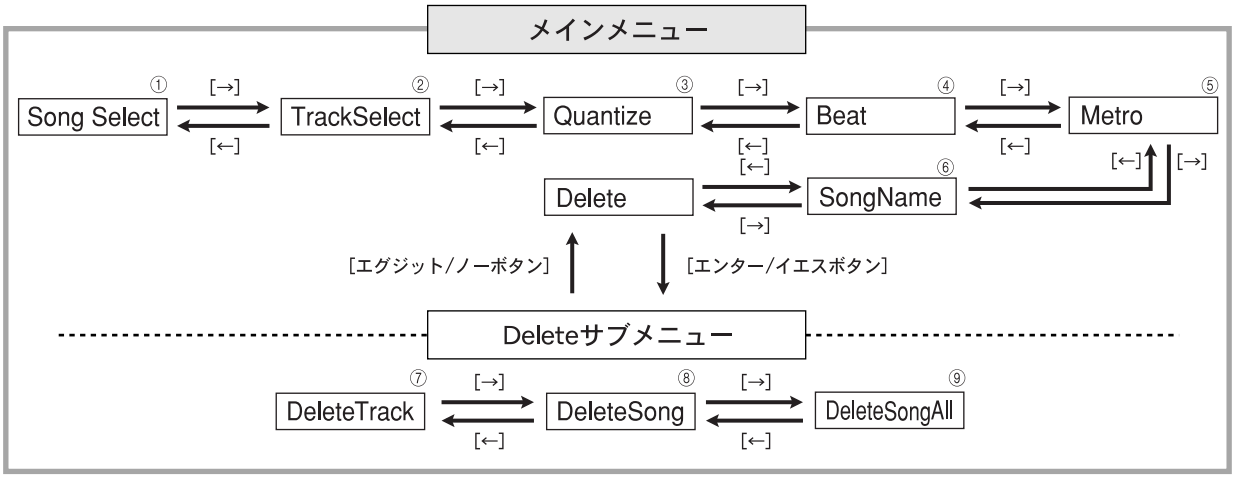
- ボタンのランプが点灯します。

2. 設定を行う対象となるソングエリアを選択します。

- ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、設定対象のエリア（Song 1 ～ 10）を選択します。
- 数秒後プレイ待機画面に移ります。また、エグジット／ノーボタンを押してプレイ待機画面に移動することもできます。

3. シーケンサーボタンを押して、メインメニューに移り、[←]/[→] ボタンを使って設定する項目を表示させます。

- “Delete”サブメニューに移るには、メインメニューで“Delete”を表示させてからエンター／イエスボタンを押します。
- 前記の ① ～ ⑨ に対応した表示は次のとおりです。



4. 表示中の項目に対する設定操作を行います。

- 各項目に対する操作や設定値の意味などについては、それぞれの設定項目の個別の説明(61～63ページ)を参照してください。

5. 設定が終了したら、シーケンサーボタンまたはエグジット／ノーボタンを押します。

- シーケンサーのプレイ待機画面に戻ります。

選曲の設定（①）：“Song Select”

ここでも、ソング（1～ 10）を設定することができます。ソングを選択しないでメインメニューに入った場合や、対象ソングをその場で変えて編集したいときなどに便利です。

トラックの設定（②）：“TrackSelect”

録音を行うトラックを選択します。

クオンタイズの実行（③）：“Quantize”

録音後に行うクオンタイズ値※を設定します。設定モードに入る前に選ばれていたトラックが、クオンタイズされます。

※ クオンタイズ
録音済の音符のタイミングを、トラックごとに設定した音符のタイミングに合わせて揃える機能です。

1. ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って選択します。

表示	設定内容
4	4分音符でクオンタイズします
4 T	4分音符3連音符でクオンタイズします
8	8分音符でクオンタイズします
8 T	8分音符3連音符でクオンタイズします
16	16 分音符でクオンタイズします（初期値）
16 T	16 分3連音符でクオンタイズします
32	32 分音符でクオンタイズします
32 T	32 分3連音符でクオンタイズします
64	64 分音符でクオンタイズします

2. エンター／イエスボタンを押します。
3. クオンタイズを実行して良いかを確認するメッセージ“Sure?”が画面に表示されます。実行して良い場合は、エンター／イエスボタンを押してください。実行をキャンセルする場合は、ここでエグジット／ノーボタンを押します。
   - クオンタイズを実行します。
   - “Completed!”（完了）と画面に約1秒間表示した後、「メインメニュー（Quantize）」に戻ります。

NOTE

- シーケンサーのメモリー容量の残りが少ないと、“Error! Memory Full”（メモリー容量が足りません）が表示され、クオンタイズが実行できない場合があります。

拍子の設定（④）：“Beat”

これから作成する曲の拍子を設定します。

NOTE

- リズムを使った演奏を録音したときは、そのリズムの拍子が自動的に設定されます。

設定値
0
2／4
3／4
4／4（初期値）
5／4
6／4
7／4
9／4

設定値
12／4
3／8
5／8
6／8
7／8
9／8
12／8

- ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って選択します。

演奏を録音してみましょう（シーケンサー機能）

メトロノームの設定（⑤）：“Metro”

シーケンサーのリアルタイム録音時に、メトロノームを鳴らすか（あるいは鳴らさないか）を設定します。

表示	設定内容
Ｏｆｆ	メトロノーム音なし
Ｏｎ	メトロノーム音あり

メトロノーム音：
１拍目はチャイム音、その他の拍は普通のクリック音が、１拍ごとに鳴ります。

- ＋／－ボタンまたはダイヤルを使って選択します。

曲名の設定（⑥）：“SongName”

現在選択されているソング番号のソングに、名前を付けることができます。

1. **サブメニュー画面の“SongNameEdit”を選び、エンター／イエスボタンを押します。**
2. **＋／－ボタンまたはダイヤルを使って、現在カーソルが点滅している所の文字を変更します。**
   - [←]/[→] ボタンを使ってカーソル位置を変更できます。
3. **名前の入力が済んだら、エンター／イエスボタンを押します。**
   - “Completed!”（完了）と画面に約１秒間表示した後、「メインメニュー（SongNameEdt）」に戻ります。

■ 文字・記号一覧表

曲名の設定時に入力できる文字や記号は、以下のとおりです。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	!	#	$	%
&	’	(	)	—	@	^	_	{	}
`	0	1	2	3	4	5	6	7	8
9	a	b	c	d	e	f	g	h	i
j	k	l	m	n	o	p	q	r	s
t	u	v	w	x	y	z		”	,
.	:	;	*	+	=	←	?	→	|
／	¥	<	>	[	]				

トラックの消去（⑦）：“DeleteTrack”

現在選択されているトラックを、まるごと削除します。録音済みのデータがあるトラックには、画面上に＊印が表示されます。

1. **＋／－ボタンまたはダイヤルで削除したいトラックを選び、エンター／イエスボタンを押します。**
   - 削除して良いかを確認するメッセージ“Sure?”が画面に表示されます。
   - 削除をキャンセルする場合は、ここでエグジット／ノーボタンを押してください。
2. **削除して良い場合は、エンター／イエスボタンを押してください。**
   - “Completed!”（完了）と画面に約１秒間表示した後、「Deleteサブメニュー（DeleteTrack）」に戻ります。

PL40JA01-1.book 63 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

ソングの消去（⑧）：“DeleteSong”

現在選択されているソング番号のソングを、まるごと削除します。録音済みのデータがあるソングには、画面上に ＊ 印が表示されます。

1. **＋／－ボタンまたはダイヤルで削除したいソングを選び、エンター／イエスボタンを押します。**
   - 削除して良いかを確認するメッセージ“Sure?”が画面に表示されます。
   - 削除をキャンセルする場合は、ここでエグジット／ノーボタンを押してください。
2. **削除して良い場合は、エンター／イエスボタンを押してください。**
   - “Completed!”（完了）と画面に約１秒間表示した後、「Delete サブメニュー(DeleteSong)」に戻ります。

全ソングの消去（⑨）：“DeleteSongAll”

全ソングを、まるごと削除します。

1. **エンター／イエスボタンを押します。**
   - 削除して良いかを確認するメッセージ“Sure?”が画面に表示されます。
   - 削除をキャンセルする場合は、ここでエグジット／ノーボタンを押してください。
2. **削除して良い場合は、エンター／イエスボタンを押してください。**
   - “Completed!”（完了）と画面に約１秒間表示した後、「Delete サブメニュー(DeleteSongAll)」に戻ります。

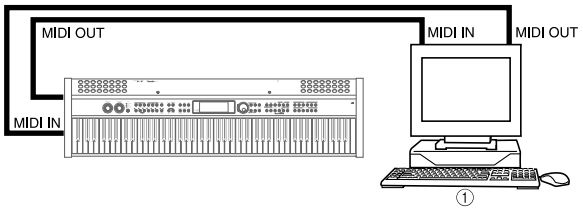
MIDI の利用について

MIDI とは

MIDI（ミディ）は、Musical Instrument Digital Interface の略で、電子楽器どうし、あるいは電子楽器とコンピュータ機器との間で情報をやり取りできるように、デジタル信号の仕様や端子の形状について定めた統一規格のことです。たとえメーカーや機種が違っても、MIDI 対応の機器どうしであれば「鍵盤を弾いた／離した」「音色を切り替えた」といった情報（これらをメッセージと呼びます）を相手に伝えることができます。
本機を単体で使用する場合は、特に MIDI の知識がなくても十分楽しめますが、コンピュータなどの外部機器と組み合わせて使用する場合は、MIDI について最小限知っておくと便利です。ここでは、MIDI の仕組みやメッセージの種類について、簡単に説明しておきましょう。

MIDI の接続について

MIDI のメッセージは、ある機器の MIDI アウト端子から他の機器の MIDI イン端子へと、MIDI ケーブルを通じて一方通行で送られます。例えば、本機から外部機器へとメッセージを送るには、本機の MIDI アウト端子と外部機器の MIDI イン端子を MIDI ケーブルで接続します。逆に外部機器から本機へメッセージを送るには、本機の MIDI イン端子と外部機器の MIDI アウト端子を接続します。
コンピュータなどの外部機器に本機の演奏内容を録音／再生する場合は、お互いの MIDI イン／アウトどうしを接続して、双方向で MIDI メッセージのやり取りができるようにします。
また、MIDI スルー端子は、MIDI イン端子から入ってきた MIDI メッセージをそのまま送信する働きがあります。



① コンピュータなど

NOTE

- 本機とコンピュータの接続は、本機の USB 接続端子経由で行うこともできます。67 ページの「コンピュータとの接続について」を参照してください。

MIDI チャンネルについて

MIDI を使って情報をやり取りするとき、同時に複数のパートの演奏情報を送ることができます。それぞれのパートを区別するのが「MIDI チャンネル」と呼ばれる情報です。MIDI チャンネルには 1 ～ 16 までの 16 チャンネルがあり、MIDI でやり取りする演奏情報（鍵盤を弾く、ペダルを踏むなどの情報）には、必ずこの MIDI チャンネルの情報が含まれています。
本機では 16 の MIDI チャンネルすべてのメッセージを受信できるので、チャンネルごとの音色や音量を個別に設定したり、最高 16 楽器パートを演奏することもできます（これをマルチティンバー機能と呼びます）。逆に本機の鍵盤やペダルの操作を外部に送信する場合は、MIDI チャンネル 1 ～ 16 の中からチャンネルを 1 つ選んで送信します。

GM について

GM（General MIDI）とは、MIDI 音源（MIDI メッセージを受信して楽音を鳴らす機能を持った機器のこと）の仕様に関するメーカーを超えた推奨規格です。
GM の規格では、音色の並び順、ドラム音色の並び順、使用可能な MIDI チャンネル数など、音源の仕組みについて決められています。このため、GM 音源用に作られた演奏データであれば、どのメーカーのどの音源でも、比較的同系統の音色、同じニュアンスで再生することができます。本機の音源部分は GM 規格と合致していますので、市販の GM データやパソコン通信などで流通している GM データを、コンピュータなどの外部機器と接続することで再生することができます。

PL40JA01-1.book 65 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

本機による MIDI メッセージの送受信について

本機では、鍵盤演奏以外にも、自動伴奏パターンやシーケンサーの再生などを MIDI メッセージとして送信することができます。

送信について

■ 鍵盤による演奏情報

UPPER1/UPPER2/LOWER1/LOWER2の各パートの演奏情報を、それぞれ別々の MIDI チャンネルから送信可能です。また、オートハーモナイズ機能がオンの場合のハーモナイズ音も、それぞれ別々の MIDI チャンネルから送信可能です。

■ 自動伴奏による演奏情報

それぞれの伴奏パートの演奏を、別々の MIDI チャンネルから送信可能です。送信するかしないかは、「アカンプ MIDI アウト」で設定します。

■ シーケンサーの再生による演奏情報

次のような対応で、トラックごとの演奏情報を別々の MIDI チャンネルから送信可能です。

- システムトラック
  システムトラックを構成する各パート（グループ A）ごとに、個別の MIDI チャンネルから送信できます。
- トラック 1 ～ 16
  トラック 1 ～ 16 は、それぞれグループ B のパート 1 ～ 16 と対応します。1 つのパートに対して 1 つの MIDI チャンネルを個別に設定して送信できます。

■ 各パートの送信チャンネルについて

各パートごとの送信チャンネルは、77 ページの「送信チャンネル設定」で設定します。

受信について

■ マルチチャンネル受信

エクスターナル 16 パートを使って、一度に 16 チャンネルの MIDI メッセージを受信することができます。各パートごとの受信チャンネルは、77 ページの「受信チャンネル設定」で設定します。

■ 自動伴奏機能利用時のコードジャッジ

外部機器からの MIDI メッセージ受信によって、本機の自動伴奏を使った演奏時のコード判定を行うことができます。設定は 77 ページの「MIDI インコードジャッジ」で行います。

- なお送受信が可能な個別の MIDI メッセージについての詳細は、巻末の「MIDI インプリメンテーション・チャート」を参照してください。

MIDI 関連の設定について

本機を使って外部の MIDI 機器をコントロールしたり、逆に外部の MIDI 機器から本機をコントロールする際の、MIDI メッセージの送受信のしかたに関するさまざまな設定を行うことができます。

MIDI 関連の設定項目

次項目の「設定を変えるには」（69 ページ）で、以下の MIDI 関連設定を行うことができます。設定の操作については、70 ページを参照ください。各設定項目の詳細については、以下の表中の参照ページをそれぞれご覧ください。

設定項目／メニュー	設定内容	参照ページ
ナビゲートチャンネル (Navi. Ch)	どの MIDI チャンネルからのノートオンメッセージで鍵盤を光らせるかを指定します。	77 ページ
アカンプ MIDI アウト (Accomp MidiOut)	本機の自動伴奏による演奏を MIDI メッセージとして送信するか、しないかを設定します。	66、77 ページ
MIDI インコードジャッジ (MidiIn ChordJdg)	外部機器からの MIDI メッセージを受信して自動伴奏のコード判定を行うか、行わないかを設定します。	66、77 ページ
リアルタイムメッセージ出力 (RealTim Message)	リアルタイムメッセージ（[FA], [FC], [F8]）を出力するか、しないかを設定します。	77 ページ
デバイス ID（Device ID）	本機の MIDI デバイス ID を指定します。	67、77 ページ
ローカルコントロール設定 (Local Control)	本機のローカルコントロール※によって本機の各パートが発音するか、しないかを設定します。MIDI の送信／受信は、ローカル設定にかかわらず行われます。	77 ページ
送信チャンネル設定 (MIDI Tx Ch)	本機の各パートごとに MIDI チャンネルメッセージを送信するかしないか、送信する場合に何チャンネルで送信するかを設定します。	77 ページ
受信チャンネル設定 (MIDI Rx Ch)	本機の各エクスターナルパートごとに、MIDI チャンネルメッセージを受信するかしないか、受信する場合は何チャンネルで受信するかを設定します。	78 ページ

※ ここで言う「ローカルコントロール」とは、鍵盤を弾いたり本機に記録したソングを再生するなど、本機自体の操作や本機の内部の機能を使って本機をコントロールすることを指します。

■ MIDI インコードジャッジ

MIDI イン端子を通じて外部から送られる音符情報を使って、本機のコードを指定したい場合に使用します。コンピュータなどの外部機器から、自動伴奏のコード進行をコントロールしたいときに便利です。

- **オン (On) の場合** ……
  モードボタンでコードの指定方法が選ばれているとき、MIDI イン端子から入力されたノート情報でコードが指定できます。コード指定には、受信チャンネル設定（Rx Setting、78 ページ）のパート 1（Pt1）で指定されたチャンネルが利用されます。
- **オフ (Off) の場合** ……
  MIDI インコードジャッジ機能が解除されます。

■ アカンプ MIDI アウト

自動伴奏の内容を外部の音源で鳴らしたいときに、この機能をオンにします。

- **オン (On) の場合** ……
  自動伴奏を鳴らしたとき、その MIDI メッセージを MIDI アウト端子から送信します。
- **オフ (Off) の場合** ……
  自動伴奏を鳴らしたとき、その MIDI メッセージは MIDI アウト端子から送信されません。

■ デバイス ID

デバイス ID とは、システムエクスクルーシブメッセージで機器を判別するための番号で、ちょうど通常の MIDI メッセージ（システムエクスクルーシブを除く MIDI メッセージ）における MIDI チャンネルのようなものです。本機で設定されているデバイス ID 番号を持ったシステムエクスクルーシブメッセージのみが、本機で認識（受信）されます。
デバイス ID の用途としては、外部のシーケンサー 1 台を使って複数の PL-40R をコントロールする場合などが考えられます。それぞれの PL-40R に異なるデバイス ID を割り当てておくことで、特定の PL-40R だけが認識するようにシーケンサーからシステムエクスクルーシブメッセージを送ることができます。

コンピュータとの接続について

本機とコンピュータとの接続は、本機の USB 接続端子を使って行うことができます。

USB 端子での接続

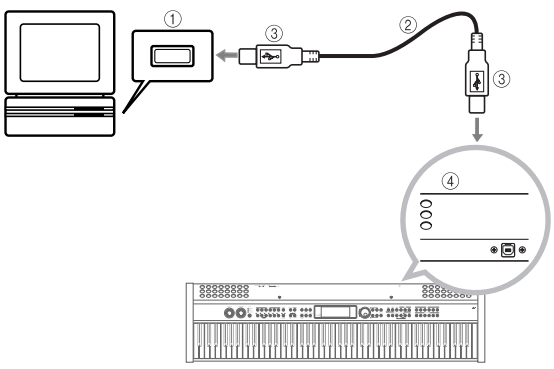
USB 端子を備えたコンピュータと本機の USB 接続端子を接続することで、簡単にコンピュータへのデータ転送ができます。接続には、市販の USB ケーブルが必要です。

接続方法

1. USB 端子を備えたコンピュータに、USB ドライバをインストールしておきます。

- ドライバのインストール方法は、付属のドライバ CD-ROM「PL-40R USB マニュアル／ドライバ CD-ROM」のルートディレクトリにある readme.txt を参照してください。

2. 市販のUSBケーブルを使って、本機とコンピュータを接続します。



① コンピュータ側 USB 端子
② USB ケーブル
③ USB コネクタ
④ 本機側 USB 接続端子

USBモード・MIDIモードについて

USB 接続端子と MIDI 端子、どちらの端子を働くようにするかは、本機が USB モード・MIDI モードのどちらになっているかによります。
本機が USB モードのときは、データ送受信を USB 端子から行います。
USB モード中、本機の MIDI イン／アウト端子は、コンピュータからのデータの MIDI イン／アウト端子として働きます。本体から MIDI イン／アウト端子にデータの送受信を行うことはできません。
また、本機が MIDI モードのときは、データ送受信を MIDI 端子から行います。

- 本機がミュージックライブラリーモード（ミュージックライブラリーランプが点灯している状態）、デモ演奏モードまたはシーケンサーモード状態では、MIDI（USB）機能は利用できません。
- DEMO 2 モード（電源切り忘れお知らせ機能）の状態で「楽譜ナビソフト」を操作して楽譜データ転送機能を使って MIDI（USB）により転送開始をすると、DEMO 2 モードが解除され、MIDI（USB）の情報がやりとりされます。
- コンピュータ上で「楽譜ナビソフト」やシーケンサーソフトなどを使って、SMF などの MIDI ファイルを MIDI（USB）により、本機に送信しながらリアルタイムに再生しようとしている場合では、本機の MIDI（USB）機能は利用できず、DEMO 2 モードは解除されません。

  ※ その場合は、鍵盤を押すなどして DEMO 2 モードを解除してから、シーケンサーなどの再生を開始してください。

USB モード・MIDI モードの設定について

本機とコンピュータの USB 端子同士をつなぎ、コンピュータにインストールされた USB ドライバとの接続が成立したときには、自動的に USB モードとなります。そうでない場合（コンピュータの USB 端子と接続されていない、コンピュータに USB ドライバがインストールされていないなど）には、MIDI モードになります。

MIDI の利用について

USB モード時

MIDI モード時

- 本機の電源を入れる前にUSBを接続をした場合には、電源を入れた後のオープニングデモ終了時、画面に“USB”が表示されます。
- 本機の動作中に USB を接続した場合は、画面に約1秒間“USB”が表示され、USB モードになります。
- 本機の動作中に USB を切断した場合は、画面に約1秒間“MIDI”が表示され、MIDI モードになります。

パソコンでダウンロードした楽譜データをミュージックライブラリーで使用するには（転送機能）

CASIO インターネット楽譜配信サービスを利用すれば、本機に内蔵していない曲を本機のミュージックライブラリー（ユーザーエリア：最大 10 曲）に取り込んで、再生したりアドバンストレッスン機能で練習することができます。人気の J-POP やアニメ、歌謡曲などの豊富なラインアップを用意しており、新曲も追加されます。

- 本機の転送機能や操作方法についての詳細は、本機付属の CD-ROM に入っている『インターネット楽譜ナビソフト』に PDF 形式にて収録されていますので、そちらをご参照ください。
- 『インターネット楽譜ナビソフト』で本機へ転送してユーザーエリアに保存した後は、パソコンを接続していなくてもダウンロードした曲のレッスンや演奏ができます。

転送機能を利用するには

1. 付属の CD-ROM に入っている『インターネット楽譜ナビソフト』をパソコンにインストールします。
2. 『インターネット楽譜ナビソフト』を使って、お好きな楽譜データを購入（ダウンロード）します（1曲 130 円から）。
3. パソコンと本機を接続します。
4. 『インターネット楽譜ナビソフト』を使って、購入（ダウンロード）した楽譜データを本機へ転送します。
   - 本機に楽譜データを転送すると、本機のミュージックライブラリーのグループにダウンロード曲を保存できるユーザーエリア（グループ名“USER”）が追加され、転送した曲を選択できるようになります。転送可能な曲数は、最大 10 曲です（合計およそ 192K バイト）。なお、1 曲分の転送容量が大きい場合は、転送可能な曲数が 9 曲以下になる場合もあります。
5. 本機のアドバンストレッスン機能で練習したり、再生して鑑賞することができます。
   - 曲の選び方や鳴らし方については、35～36ページを参照してください。

必要なハードウェア、ソフトウェアについて

- Windows®パソコンが必要です。Macintoshでは使用できません。
- 対応 OS は Windows 95/98/Me/XP です（Windows 2000 では使用出来ません）。
- 本機との接続について

  ＜ Windows 95 の場合＞

  MIDI 接続でご使用ください。市販のサウンドブラスター用ジョイスティック MIDI 変換ケーブル等をご使用ください。

  ＜ Windows 98/Me/XP の場合＞

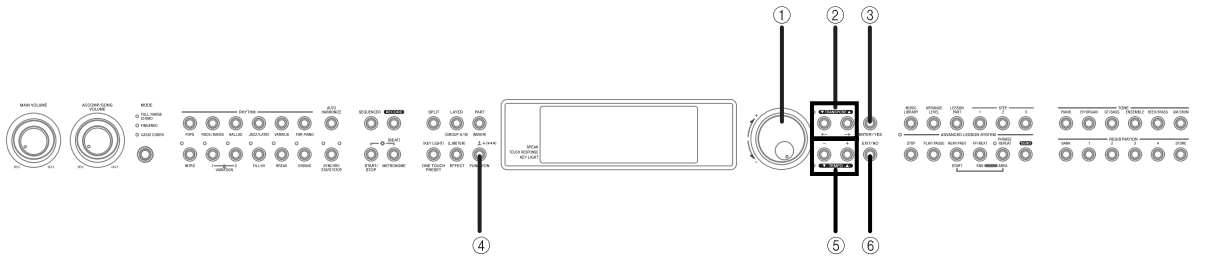
  市販の USB ケーブルで直接パソコンと本機を接続することができます（この場合、MIDI 接続時よりも高速に転送できます）。また、MIDI 接続でもご使用いただけます。

詳細については

『インターネット楽譜ナビソフト』のインストール手順や使い方、楽譜データ購入の手順、本機との接続等やソフトウェアなどの最新情報については、http://music.casio.co.jp/ をご覧ください。

426-JA-070B

設定を変えるには



① ダイヤル　② [←]/[→] ボタン　③ エンター／イエスボタン
④ 機能ボタン　⑤ ＋／－ボタン　⑥ エグジット／ノーボタン

本機が装備している数多くの機能ごとに、さまざまな設定や調整を行うことができます。

設定項目について

設定項目について

以下の各項目の設定を行うことができます。

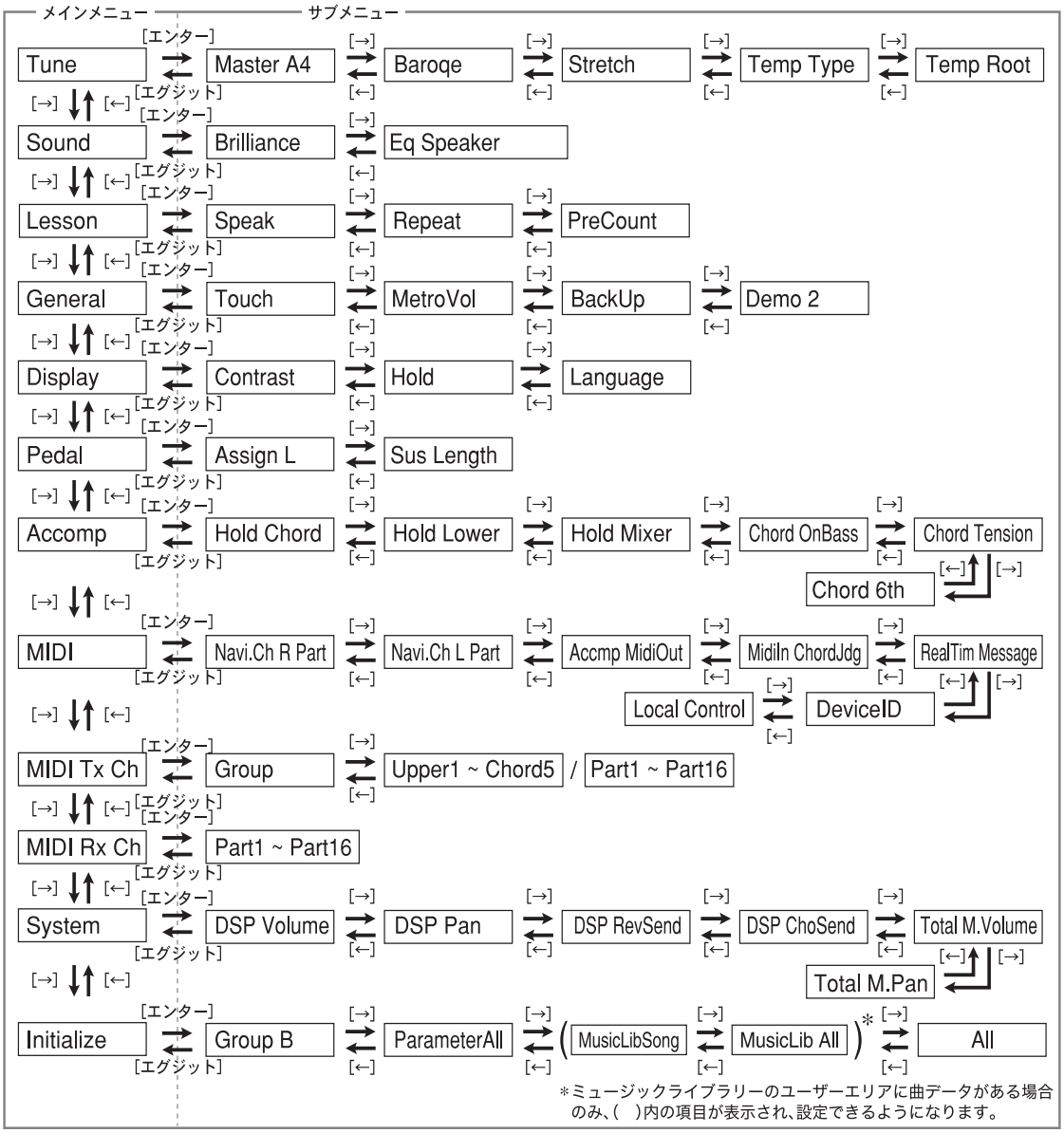
設定項目／メニュー	設定内容	参照ページ
チューニング（Tune）	本機全体のチューニング（音の高さ）を微調整します。	31、71 ページ
サウンド（Sound）	音色の明るさを調節したり（ブリリアンス）、置く場所の状況に合わせる音質選択（イコライザー）の設定を行います。	73 ページ
レッスン（Lesson）	ミュージックライブラリーの演奏や、レッスン機能に関する設定を行います。	73 ページ
ジェネラル（General）	タッチレスポンスやメトロノーム音量、メモリーバックアップの設定など、一般的な設定を行います。	74 ページ
ディスプレイ（Display）	表示画面の明るさや、表示言語などの設定を行います。	74 ページ
ペダル（Pedal）	ペダルに対して割り当てる効果と、効果のかかり方を選択します。	75 ページ
アカンプ（Accomp）	自動伴奏利用時の、伴奏の鳴り方に関する各種の設定を行います。	76 ページ
MIDI	MIDI 関連の設定を行います。	77 ページ
送信チャンネル設定 (MIDI Tx Ch)	MIDI 送信チャンネルに設定を行います。	77 ページ
受信チャンネル設定 (MIDI Rx Ch)	MIDI 受信チャンネルに設定を行います。	78 ページ
システム（System）	本機全体の音量やエフェクト関連の調整などを行います。	79 ページ
イニシャライズ（Initialize）	本機全体を工場出荷時の状態に戻したり、各種設定のみをリセットする操作を行います。	79 ページ

設定を変えるには

設定の操作

1. 機能ボタンを押します。
2. メインメニュー画面で [←]/[→] ボタンを使って、設定したいメインメニューの項目を選び、エンター／イエスボタンを押してサブメニューに移ります。
3. [←]/[→] ボタンを使って、設定したいサブメニューの項目を選びます。

メインメニュー／サブメニューの遷移と概要



メインメニューおよびサブメニューは、上記のような構成になっています。（枠内の文字は、画面上に表示されるメインメニュー名／サブメニュー名）

4. ＋／－ボタンまたはダイヤルで設定値を変更します。

- 設定値は、ボタン操作で変更すると同時に確定します。
- ＋／－ボタンを同時に押すと、初期値に設定されます。
- 各設定項目についての解説と、設定値の意味については、71 ページの「設定メニュー項目詳細」を参照してください。

5. 設定後は、機能ボタンかエグジット／ノーボタンを押すと元の画面に戻ります。

設定メニュー項目詳細

NOTE

- 各項目の初期値については、106 ページの「パラメーター一覧」を参照してください。

設定メニュー：チューニング

メインメニュー	サブメニュー	値域	内容
Tune	Master Tune (Master)	415.3 Hz ～ 466.2 Hz	A_4 の周波数を設定します。 初期設定は A_4 = 440.0Hz です。詳細は、31 ページの「チューニング機能を使うには」を参照してください。
	Baroque Pitch (Baroque)	On (A_4=415.3Hz), Off	「On」に設定すると、チューニングがバロック時代の標準ピッチ（現代より約半音低い）に自動設定されます。初期設定は「Off」です。
	Stretch Tune (Stretch)	On, Off	「Off」に設定すると、ピアノ音色に調律曲線（高域の音は高めに、低域の音は低めに調律する）がかからなくなります。初期設定は「On」です。 調律曲線は古典音律には適さないため、音律の種類を古典音律に設定すると、Stretch Tune 設定は自動的に「Off」に戻されるようになっています。また Stretch Tune が「On」になっていても、ピアノ以外の音色には調律曲線はかかりません。
	Temperament Type (Temp Type)		現在一般的に使われている 12 平均律以外に、6 種類の古典音律に設定することができます。初期値は 12 平均律（Equal）です。
		Equal Temperament (Equal)	12 平均律。オクターブの音程を 12 等分して白鍵黒鍵に割り当てた音律で、現在一般的に鍵盤楽器で採用されています。
		Just Major Intonation (JustMaj)	純正律長調。音楽史上の 3 和音の発展にともなって生まれてきた音律で、1 つの調性（長調）の中で重要な長 3 和音が完璧に協和し美しく響きます。反面、濁る音程もいくつかあり、転調が自由にできない等の欠点があります。

設定を変えるには

メインメニュー	サブメニュー	値域	内容
		Just Minor Intonation (JustMin)	純正律短調。１つの調性（短調）の中で重要な短３和音が完璧に協和するように純正律長調をアレンジした音律で、12 音階のうち 11 音は純正律長調とピッチが同じです。
		Pythagorean System (Pythago)	ピタゴラス音律。オクターブ 12 音の音律としては最も古いと考えられているもので、演奏可能な 12 種類の完全５度音程のうち11個が完全に協和します。３度音程は協和せず濁ってしまいますが、メロディー（単旋律）の演奏には適しています。
		Mean - Tone System (Mean)	ミーントーン。純正律の長所（３和音の美しさ）をあまり損ねずに、転調等も可能にして実用性を高めた音律です。鍵盤楽器の調律法としてルネサンス時代から長く採用されてました。
		Werckmeister (Werck)	ヴェルクマイスター第１技法第３法。すべての調性で演奏可能な一種の平均律であり、バッハの「平均律クラヴィーア曲集」はこれを想定して書かれたと考えられています。基音（ルート）を「C」に設定した場合、白鍵の多い調性はミーントーンに近く、黒鍵の多い調性はピタゴラス音律に近い響きを出します。
		Kirnberger (Kirnber)	キルンベルガー第Ⅲ法。これも一種の平均律で、上記のヴェルクマイスター音律と似ていますが、白鍵の多い調性と黒鍵の多い調性との色彩感の差が、より強調されています。
	Temperament Root (Temp Root)	C, C♯, D, E♭, E, F, F♯, G, A♭, A, B♭, B	音律の基音（ルート）を設定します。初期値は “C” です。12 平均律ではどの音を選んでも同じ響きになりますが、古典音律では違ってきます。ヴェルクマイスター、キルンベルガー以外の古典音律では、演奏する曲の調性の主音をルートに設定してください。

設定メニュー：サウンド

メインメニュー	サブメニュー	値域	内容
Sound	Brilliance	－12～0～12	音色の明るさを調節します。演奏する曲やお好みに応じて調節してください。－に行くほど、まろやかな柔らかい感じの音に、＋に行くほどに明るく固い感じの音になります。
	Equalizer : Speaker	1, 2, 3	置く場所の状況に合わせて、スピーカーからの音質を調整します。(この設定ではヘッドホンでの音質には影響しません) １：明るめの音質です。壁から離れた場所に設置する場合や、カーテン等の前に設置する場合に適しています。 ２：標準的な音質です。壁紙等が貼られた壁の前に設置する場合や、本機の後ろに演奏を聴く人がいる場合に適しています。 ３：柔らかめの音質です。板張り等の硬めの壁の前に設置する場合に適しています。

設定メニュー：レッスン

メインメニュー	サブメニュー	値域	内容
Lesson	Speak	English (Eng), Japanease (Jpn), Off	運指音声を切り替えます。
	Repeat	On, Off	繰り返し再生のオン／オフを切り替えます。
	Pre Count	On, Off	演奏やレッスンが始まる前の、カウントのオン／オフを切り替えます。

設定を変えるには

設定メニュー：ジェネラル

メインメニュー	サブメニュー	値域	内容
General	Touch	Light	軽めの鍵盤を再現したものです。軽く弾いても、音量を確保できます。
		Normal	標準的なタッチレスポンス設定です。
		Heavy	重めの鍵盤を再現したものです。かなり強く弾いたときに、音量が大きくなります。
		Off	タッチレスポンスがかかりません。鍵盤を弾く強弱にかかわらず、常に一定音量となります。
	Metronome Volume (MetroVol)	000 ～ 127	メトロノームの音量を設定します。運指音声も同様に変更できます。
	Memory Back Up (Back Up)	On, Off	電源オフ時に、各種の設定をバックアップするかどうかを設定します。バックアップする項目については、106 ページの「パラメーター一覧」を参照してください。
	Demo 2	On, Off	「電源切り忘れのお知らせ機能」のオン／オフを切り替えます。

設定メニュー：ディスプレイ

メインメニュー	サブメニュー	値域	内容
Display	Contrast	0 ～ 127	画面の明るさを設定します。
	Display Hold (Hold)	On, Off	オンに設定すると、画面が自動的に元に戻らなくなります。
	Language	English (Eng), Japanese (Jpn)	画面の名称表示部を日本語、英語のいずれかで表示させるかを設定します。

設定メニュー：ペダル

メインメニュー	サブメニュー	値域	内容
Pedal	Assign Left (Assign L)	ソフト／ソステヌート端子につないだペダルの利用方法を設定します。	
		Soft	ペダルを、ソフトペダルとして利用します。
		Sostenute	ペダルを、ソステヌートペダルとして利用します。
		Fill-In	ペダルが、フィルインボタンと同じ働きになります。
		Break	ペダルが、ブレイクボタンと同じ働きになります。
		Synchro	ペダルが、シンクロスタート／ストップボタンと同じ働きになります。
		Auto Harmonize (AutoHarmo)	ペダルを使って、オートハーモナイズボタンのオン／オフ切り替えを行います。
		On Bass Chord (OnBassChord)	ペダルを使って、オンベースのオン／オフを切り替えます。オンベース（On Bass Chord）は、設定メニュー：アカンプのパラメータ「On Bass Chord」（76 ページ）です。
		Chord Judge Available (ChordJudge)	フルレンジコードモードで、ペダルを踏んでいる間だけコードジャッジを有効にします。 これにより、不要なコードジャッジを気にしないで、フルレンジコードを利用した演奏ができるようになります。
		DSP	ペダルを使って、DSP のオン／オフ切り替えを行います。
	Sustain Length (Sus Length)	1 ～ 63, Hold	ダンパーペダルを踏み込んでいる間の、音量の減衰のしかたを設定します。「Hold」にすると、ペダルを踏み込んでいる間の減衰時間が最長になります。オルガンなど持続系の音色では、ペダルを踏み込んでいる間は音が鳴り続けます。 数値を設定すると、値に応じた減衰時間となります。数値が小さいほど減衰時間が短くなり、大きいほど長くなります。

設定を変えるには

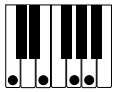
設定メニュー：アカンプ

メインメニュー	サブメニュー	値域	内容
Accomp	Chord Hold (Hold Chord)	On, Off	自動伴奏の演奏中、伴奏鍵盤を離したときに、自動伴奏の演奏が継続されるかされないかを設定します。「On」に設定すると離鍵後も自動伴奏の演奏が継続され、「Off」に設定すると離鍵と同時にリズムのみの演奏になります。
	Lower Hold (Hold Lower)	On, Off	自動伴奏演奏中のロワーパート (Lower1/Lower2) の音を、離鍵すると消音させる（Off）か、離鍵後も鳴らし続ける（On）かを設定します。「On」に設定すると、伴奏音に厚みを加えることができます。
	Mixer Hold (Hold Mixer)	On, Off	伴奏パートのミキサー設定値を保持するか、しないかを設定します。「Off」に設定するとリズム変更と同時にリズムごとのプリセット値が呼び出され、「On」に設定するとリズム変更に関わらずミキサー設定値が保持されます※1。
	On Bass Chord (Chord OnBass)	On, Off	自動伴奏の演奏中、伴奏鍵盤でコードを転回形で指定した場合に、押さえたコードの最低音をベース音とみなすかどうかを設定します。「On」に設定すると最低音がベース音とみなされます。「Off」に設定すると転回形でも基本形と同じコードが鳴ります※2。
	Tension Chord (Chord Tension)	On, Off	自動伴奏の演奏において、テンションコードを判定するか、しないかを設定します。「On」に設定するとテンションコードを判定し、「Off」に設定すると判定しません。
	6th Chord (Chord 6th)	On, Off	自動伴奏の演奏において、6th/m6th の基本形を判定するか、しないかを設定します。「On」に設定すると判定し、「Off」に設定すると判定しません※3。

※ 1. 各リズムのエレメントごとに、最適なミキサー設定値がプリセットされています。通常このプリセット値で自動伴奏の演奏が行われますが、Mixer Hold を「On」に設定することで、プリセット値が呼び出されなくなります。

※ 2. 特に自動伴奏モードの「フィンガード」を利用しており、伴奏鍵盤の範囲が狭い状態でオンベースコード（分数コード）を鳴らしたい場合には、On Bass Chord を「On」に設定すると便利です。伴奏鍵盤の範囲で直接オンベースコードの指定ができる場合には、On Bass Chord を「Off」にしておいてもかまいません。On Bass Chord の設定が「Off」の場合でも、伴奏鍵盤上で押さえたコードの構成音のうち最低音と最低音から２番目の音が５度以上離れている場合は、常に最低音をルートとしたオンベースコードとして判定されます。

※ 3. *例：*
Off : Am7 と判定。転回形はすべて Am7 と判定。
On : C6 と判定。



設定メニュー：MIDI

メインメニュー	サブメニュー	値域	内容
MIDI	Navigate Channel (R) (Navi. Ch R PART)	1 ～ 16, Off	どのMIDIチャンネルから右手パートのノートオンメッセージを鍵盤で光らせるかを指定します。
	Navigate Channel (L) (Navi. Ch L PART)	1 ～ 16, Off	どのMIDIチャンネルから左手パートのノートオンメッセージを鍵盤で光らせるかを指定します。
	Accomp MIDI Out (Accomp MidiOut)	On, Off	本機の自動伴奏による演奏をMIDIメッセージとして送信するか、しないかを設定します※。
	MIDI In Chord Judge (MidiIn ChordJdg)	On, Off	外部機器から伴奏鍵域のMIDIノートオンメッセージを受信したとき、自動伴奏のコード判定を行うか、行わないかを設定します。
	Real Time Message Out (RealTim Message)	On, Off	リアルタイムメッセージ（[FA], [FC], [F8]）を出力するか、しないかを設定します。
	Device ID	1 ～ 32	本機の MIDI デバイス ID を指定します。
	Local Control	On, Off	本機のローカルコントロールによって本機の各パートが発音するか、しないかを設定します。
MIDI Tx Ch	Group	A, B, Off	本機のグループ A のパート、グループ B のパートのどちらかの演奏をMIDIチャンネルメッセージとして送信させるか、または両方とも送信させないかを設定します。グループ A を設定した場合には、以下のグループ A の各パート（Upper1 ～ Chord5）ごとに送信チャンネルを設定できます。グループ B を設定した場合には、以下のグループ B の各パート（Part1 ～ 16）ごとに送信チャンネルを設定できます。
グループ A	Upper1	1 ～ 16, Off	本機のグループ A の各パートごとに MIDI チャンネルメッセージを送信するかしないか、送信する場合に何チャンネルで送信するかを設定します。
	Upper2	1 ～ 16, Off	
	Lower1	1 ～ 16, Off	
	Lower2	1 ～ 16, Off	
	Harmo1	1 ～ 16, Off	
	Harmo2	1 ～ 16, Off	
	Percussion (Perc.)	1 ～ 16, Off	

設定を変えるには

メインメニュー		サブメニュー	値域	内容
		Drum	1 ～ 16, Off	
		Bass	1 ～ 16, Off	
		Chord1	1 ～ 16, Off	
		Chord2	1 ～ 16, Off	
		Chord3	1 ～ 16, Off	
		Chord4	1 ～ 16, Off	
		Chord5	1 ～ 16, Off	
	グループ B	Part1	1 ～ 16, Off	
		〃	〃	
		Part16	1 ～ 16, Off	
MIDI Rx Ch		Part1	1 ～ 16, Off	本機のグループ B の各パートごとに、MIDI チャンネルメッセージを受信するかしないか、受信する場合は何チャンネルで受信するかを設定します。
		〃	〃	
		Part16	1 ～ 16, Off	

※ Accomp MIDI Out は、設定を「On」にするとともに、MIDI Tx の設定をグループ A にし、各パートが必要な設定にされているか（初期値など）を確認してください。

設定メニュー：システム

メインメニュー	サブメニュー	値域	内容
System	DSP Volume	0 ～ 127	エフェクトの DSP がかかっているパートのボリューム（音量）を調節します。ここで設定したボリュームは、ミキサー機能のボリューム設定と乗算されます。
	DSP Pan	－64 ～ 63	エフェクトの DSP がかかっているパートのパン（ステレオ定位）を調節します。
	DSP Reverb Send (DSP RevSend)	0 ～ 127	エフェクトのDSPがかかっているパートのリバーブセンド（リバーブのかかり具合）を調節します。ミキサー機能のリバーブセンド設定は無効になります。
	DSP Chorus Send (DSP ChoSend)	0 ～ 127	エフェクトの DSP がかかっているパートのパン（ステレオ定位）を調節します。ミキサー機能のコーラスセンド設定は無効になります。
	Total Master Volume (Total M.Volume)	0 ～ 127	本機全体の音量を調節します。
	Total Master Pan (Total M.Pan)	－64 ～ 63	本機全体のパン（ステレオ定位）を調節します。

設定メニュー：イニシャライズ

メインメニュー	サブメニュー	内容
Initialize	Group B	MIDI インを利用する際、グループ B のパートの初期化を行います。
	Parameter All	本機の各種の設定状態を、初期状態に戻します。
	(MusicLibSong) ※	ミュージックライブラリーのユーザーエリアの内容を1曲単位で消去します。
	(MusicLib All) ※	ミュージックライブラリーのユーザーエリアの内容をすべて消去します。
	All	本機を工場出荷時の初期状態に戻します。シーケンサーのデータもすべて消去されます。

※ ミュージックライブラリのユーザーエリアに曲データがある場合のみ、（ ）内の項目が表示されて、内容を消去できます。ミュージックライブラリーのユーザーエリアに何も保存されていない場合は、このメニュー項目は表示されません。

PL40JA01-1.book 80 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

426-JA-082A

PL40JA01-1.book 81 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

附　録

426-JA-083A

困ったときは

現 象	原 因	解決方法	参 照
鍵盤を押しても音が出ない。	1. 電源が正しくセットされていない。	1. 電源コードが正しく接続されているか確認する。	☞14ページ
	2. 電源が入っていない。	2. 電源ボタンを押す。	☞18ページ
	3. 音量が下がっている。	3. 全体の音量つまみを使って音量を上げる。	☞18ページ
	4. モードボタンで「カシオコード」や「フィンガード」が設定されているときは、伴奏鍵盤での通常演奏はできません。	4. モードボタンですべてのランプを消灯させて「自動伴奏を使わない」設定にする。	☞23ページ
	5. ローカルコントロールがオフになっている。	5. ローカルコントロールをオンにする。	☞77ページ
	6. メロディーパートがオフになっている。	6. ミキサー機能でメロディーパートをオンにする。	☞45ページ
	7. メロディーパートのボリュームが下がっている。	7. ミキサー機能でメロディーパートのボリュームを上げる。	☞45ページ
	8. MIDI インなどにより、マスターボリュームが下げられている。	8. 設定項目「システム」で“Total M.Volume”設定を上げる。	☞79ページ
	9. “DSP Volume”設定が下がっている。	9. 設定項目「システム」で“DSP Volume”設定を上げる。	☞79ページ
自動伴奏の音が鳴らない。	1. 伴奏の音量が下がっている。	1. 伴奏／ソングの音量つまみで伴奏の音量を上げる。	☞25ページ
	2. 自動伴奏パートがオフになっている。	2. ミキサー機能でそのパートをオンにする。	☞45ページ
	3. 自動伴奏パートのボリュームが下がっている。	3. ミキサー機能でそのパートのボリュームを上げる。	☞45ページ
鍵盤を弾く強弱で音量が変化しない。	タッチレスポンス機能がオフになっている。	機能ボタンでタッチレスポンスの感度を設定する。	☞32ページ
デモ演奏を始めたが音が出ない。	1. 全体の音量つまみが「MIN」の位置にある。	1. 全体の音量つまみを「MAX」の方に動かす。	☞18ページ
	2. ヘッドホンがつながっている。	2. ヘッドホンをヘッドホン端子から抜く。	☞18ページ
メモリーの内容が消えてしまう。	リチウム電池が消耗している。	カシオテクノ・サービスステーションに連絡して、リチウム電池を入れ替える。	☞88ページ
レイヤーまたはスプリットのボタンを押しても効果がない。	1. Upper2、Lower1/2 のいずれかがオフになっている。	1. ミキサー機能でパートオン／オフ設定をオンにする。	☞45ページ
	2. Upper2、Lower1/2 のいずれかのボリュームが下がっている。	2. ミキサー機能でパートのボリューム設定を上げる。	☞45ページ

現 象	原 因	解決方法	参 照
シーケンサー再生で全く鳴らないパートがある。	1. ミキサー機能のパートオン／オフ設定がオフになっている。	1. ミキサー機能でパートがオンになっていることを確認する。	☞45ページ
	2. ミキサー機能のパートのボリューム設定が「0」になっている。	2. ミキサー機能でボリュームの設定値を確認する。	☞45ページ
	3. ソングの音量設定が下がっている。	3. 伴奏／ソングの音量つまみでソングの音量を上げる。	☞25ページ
	4. “DSP Volume”設定が下がっている。	4. 設定項目「システム」で“DSP Volume”設定を上げる。	☞79ページ
シーケンサー再生で、音が途中で切れるパートがある。	同時発音数を超えて演奏している。	ミキサー機能でトラック（パート）をオフにして、再生パートを減らしてみる。	☞45ページ
自動伴奏やリズムが録音できない。	録音トラックにトラック１～ 16を指定している。	トラック／ソング選択機能でシステムトラックを選んで、録音をやり直す。	☞55ページ
コンピュータからMIDIデータを再生しても音が鳴らない。	1. MIDIケーブルが正しく接続されていない。	1. MIDIケーブルが正しく接続されていることを確認する。	☞64ページ
	2. パートがオフまたはボリュームが下がっている。	2. ミキサー機能でパートがオンまたはボリュームが上がっていることを確認する。	☞45ページ
	3. 受信チャンネル設定がオフになっている。	3. 受信チャンネル設定でチャンネルを指定する。	☞78ページ
	4. MIDI インなどにより、マスターボリュームが下げられている。	4. 設定項目「システム」で“Total M.Volume”設定を上げる。	☞79ページ
	5. USBケーブルが正しく接続されていない。	5. USBケーブルが正しく接続されていることを確認する。	☞67ページ
コンピュータとMIDI接続しているとき、鍵盤を弾くと発音が不自然になる。	コンピュータ側の MIDI スルー機能がオンになっている。	コンピュータ側の MIDI スルー機能をオフにするか、本機のローカルコントロールをオフにする。	☞77ページ
演奏情報をコンピュータに録音できない。	1. アカンプMIDIアウトがオフになっている。	1. アカンプMIDIアウトをオンにする。	☞77ページ
	2. 送信チャンネル設定がオフになっている。	2. 送信チャンネル設定でチャンネルを指定する。	☞77ページ
	3. USBケーブルが正しく接続されていない。	3. USBケーブルが正しく接続されていることを確認する。	☞67ページ
	4. リアルタイムメッセージ出力がオフになっている。	4. リアルタイムメッセージ出力をオンにする。	☞77ページ
MIDI インでエクスクルーシブメッセージを受けない。	本体のデバイス ID があっていない。	デバイスIDをエクスクルーシブのデバイス ID にあわせる。	☞77ページ

困ったときは

現 象	原 因	解決方法	参 照
右または左スピーカーからしか音がでない。	1. ミキサーのパンがどちらか片方によっている。 2. MIDI インなどにより、トータルパンがどちらか片方によせられている。 3. “DSP Pan” 設定がどちらか片方によっている。	1. ミキサー機能のパンを確認する。 2. 設定項目「システム」で “Total M.Pan” 設定を調整する。 3. 設定項目「システム」で “DSP Pan” 設定を調整する。	☞46 ページ ☞79 ページ ☞79 ページ
エフェクトをオンにしても効果がかからない。	1. 効果をかけたいパートの、ミキサーのDSPの設定がオフになっている。 2. ミキサーのリバーブセンド、コーラスセンドが「0」になっている。 3. DSP のリバーブセンド、コーラスセンドが「0」になっている。	1. ミキサー機能のDSPの設定をオンにする。 2. ミキサー機能のリバーブセンド、コーラスセンドを設定する。 3. DSP のリバーブセンド、コーラスセンドを設定する。	☞46 ページ ☞46 ページ ☞46 ページ
ミキサーのパンが効かない。	そのパートで、DSP がオンに設定されている。	DSP のパンを設定する。	☞46 ページ
オートハーモナイズがかからない。	モードがノーマル、フルレンジコードになっている。	カシオコードかフィンガードにする。	☞24 ページ
鍵盤が光らない。	キーライトがオフになっている。	キーライトをオンにする。	☞21 ページ
シーケンサーの再生で鍵盤が光らない。	1. データを録音していないトラックを選択している。 2. キーライトがオフになっている。	1. 光らせたい録音データの入っているトラックを選択する。 2. キーライトをオンにする。	☞59 ページ ☞21 ページ
MIDI で鍵盤が光らない。	1. データのチャンネルとナビゲートチャンネルが合っていない。 2. キーライトがオフになっている。	1. 光らせたい曲の光らせたいチャンネルをナビゲートチャンネルと合わせる。 2. キーライトをオンにする。	☞77 ページ ☞21 ページ
ミュージックライブラリーで曲を再生しても音が出ない。	ソングの音量設定が下がっている。	伴奏／ソングの音量つまみでソングの音量を上げる。	☞25 ページ
コンピュータからミュージックライブラリーユーザーエリアにデータが転送できない。	1. USBケーブルが正しく接続されていない。 2. コンピュータのソフトが正しく設定されていない。 3. 本機がミュージックライブラリーモード、デモ演奏モードまたはシーケンサーモード状態になっている。	1. USBケーブルが正しく接続されていることを確認する。 2. コンピュータのソフトが正しく設定されていることを確認する。 3. 本機がミュージックライブラリーモード、デモ演奏モードまたはシーケンサーモード状態になっていないことを確認する。	☞67 ページ 各ソフト付属の取扱説明書 ☞11、35、54 ページ

製品仕様

形式	PL-40R
鍵盤	
◆ 形状	ピアノ形状
◆ 鍵数	88（A_0 ～ C_8）
◆ タッチレスポンス	○　感度設定３段階、ON/OFF あり
◆ 光鍵盤	オン／オフ設定可
◆ 同時発光数	10
楽音	
◆ 音色数	271 （63パネル音色＋128GM音色＋70バリエーション音色＋10ドラム音色）
◆ 最大同時発音数	64
◆ レイヤー機能	オン／オフ設定可
◆ スプリット機能	オン／オフ設定可（スプリットポイント可変）
エフェクト	
◆ エフェクト	○
◆ 種類	３系統 リバーブ（８種類）＋コーラス（８種類）＋ DSP（16 種類）
◆ その他の機能	DSP 設定（ボリューム、パン、リバーブセンド、コーラスセンド）
メトロノーム	
◆ 拍子	0, 2/4 ～ 7/4, 9/4, 12/4, 3/8, 5/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8　拍子
◆ テンポ範囲	30 ～ 255
◆ メトロノームボリューム	0 ～ 127
自動伴奏	
◆ リズム数	100
◆ リズム音源数	65
◆ テンポ範囲	30 ～ 255
◆ コントローラー	イントロ、フィルイン、ブレイク、バリエーション 1/2、 シンクロスタート／ストップ、エンディング、スタート／ストップ
◆ モード	ノーマル、カシオコード、フィンガード、フルレンジコード
◆ パート	ドラム、パーカッション、ベース、コード１～コード５
◆ 伴奏／ソングボリューム	調整可能
◆ アカンプ設定	コードホールドオン／オフ、ロワーホールドオン／オフ、ミキサーホールドオン／オフ、オンベースコードオン／オフ、テンションコードオン／オフ、6th コードオン／オフ
オートハーモナイズ	12 種類 （自動伴奏のコード指定に従い、メロディー音にハーモナイズ音を付加）
ワンタッチプリセット	
◆ プリセット数	100（リズム毎に１セット）
◆ 設定内容	音色、テンポ、他

製品仕様

ミキサー	
◆ チャンネル数	30 チャンネル（グループ A：14, グループ B：16）
◆ パラメータ	音色、パートオン／オフ、音量、パン、エフェクトセンド、 ファインチューン、コースチューン
シーケンサー	
◆ 曲数	10
◆ トラック数	システムトラック＋ 16 トラック
◆ 方式	リアルタイム録音
◆ 容量	最大約 15,500 音符
◆ エディット	パンチイン
◆ その他機能	クオンタイズ、デリート、拍子、メトロノームオン／オフ
ミュージックライブラリー	
◆ 曲数	70 プリセット曲＋ユーザーエリア 10 曲（最大）
◆ アレンジレベル	３段階
◆ テンポ	30 ～ 255
◆ コントローラー	停止、演奏／一時停止、早戻し／前、早送り／次、フレーズリピート
◆ リピート機能	フレーズリピート、セクションリピート
◆ デモ	プリセット 70 曲、リピート再生
レッスン機能	
◆ ステップレッスン	３ステップレッスン
◆ レッスンパート	左手、右手、両手
◆ 音声ガイド	言語選択（英語、日本語）、オン／オフ
◆ その他の機能	リピートオン／オフ、プレカウントオン／オフ
その他	
◆ トランスポーズ	± 12 半音　25 段階
◆ マスターチューニング	A_4 = 415.3Hz ～ 440.0H z ～ 466.2Hz（初期設定 440.0Hz） 単位 0.1Hz　510 段階
◆ サウンド	ブリリアンス、イコライザー（スピーカー用：３種類）
◆ バロックピッチ	オン／オフ
◆ ストレッチチューン	オン／オフ
◆ 音律設定	７種類（12 平均律、純正律長調、純正律短調、ピタゴラス音律、 ミーントーン、ヴェルクマイスター、キルンベルガー） ルート設定可変
◆ システム	トータル（マスター）ボリューム、トータル（マスター）パン
表示	
◆ バックライト	有り
◆ コントラスト	調整可能
◆ その他の機能	言語選択（英語・日本語）、ホールドオン／オフ

MIDI	
◆ 方式	16 マルチティンバー受信、GM LEVEL1 準拠
◆ 設定	GM ON コマンド Rx/Tx チャンネル選択、ナビゲートチャンネル選択 MIDI インコードジャッジ　オン／オフ ローカルオン／オフ、リアルタイムメッセージオン／オフ、デバイス ID アカンプ MIDI アウトオン／オフ
ペダル	ダンパー、ソステヌート／ソフト（切り替え可）
入出力端子	
◆ ヘッドホン端子	ステレオミニジャック×２
◆ ペダル端子	標準ジャック×２
◆ ライン出力端子 (R, L/MONO)	標準ジャック×２ 出力インピーダンス 2.3KΩ 出力電圧 1.8V (RMS) MAX
◆ 電源端子	DC15V
◆ MIDI [OUT] [IN] 端子	
◆ USB 接続端子	
スピーカー	(16cm × 8cm) × 2（出力 7.0W + 7.0W）
電源	家庭用 100V 電源使用　　AC アダプター AD-15ML 使用
消費電力	15V ⎓39W
サイズ	幅 129.8 × 奥行 34.2 × 高さ 13.9cm
重量	約 22.0kg
付属品	ペダル（SP-20）、譜面立て、AC アダプター（AD-15ML）、AC コード、 PL-40R USB マニュアル／ドライバ CD-ROM、取扱説明書（本書）、 保証書、楽譜集、CD-ROM ガイド

◆ 改良のため、仕様およびデザインの一部を、予告なく変更することがあります。

【別売品のご案内】

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
ペダル	SP-3
	SP-20
イス	CB-5
	CB-7
	CB-9BN
	CB-20LB
スタンド	CS-45P
MIDI ケーブル	MK-5

◆ 別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店（全国の有名楽器店、デパートなど）で、お求めになれます。

NOTE

◆ USB ケーブルは、市販品をご利用ください。

ご使用上の注意

「安全上のご注意」と併せてお読みください。

設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
- 極端に温度の低い場所。
- ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所（これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります）。

リチウム電池消耗に関するご注意

本機は、メモリーに記録した内容を電源を切った後（メモリー停止中に電源を切った後）も保持するために、本体内にリチウム電池を内蔵しています。このリチウム電池が消耗すると、録音を行った後で本体の電源を切ると同時に録音内容は消去されてしまいます。内蔵のリチウム電池の寿命は、本機の製造より約５年ですので、お買い上げより相当の年数がたちましたら、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。有償にて電池交換をいたします。

＊ 本機の故障、修理や電池交換などによるメモリーデータの消失により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなるご請求についても、当社では一切その責任は負えませんので、あらかじめご了承ください。

付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

426-JA-090A

保証・アフターサービス

■ 保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間は保証書に記載されています

■ 修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書にしたがって正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● **保証期間中は**
保証書の規定にしたがってお買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ･サービスステーションが修理をさせていただきます。
- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。

● **保証期間が過ぎているときは**
お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ･サービスステーションまでご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ あらかじめご了承いただきたいこと

● 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。
また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。

● 仕様が日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ･サービスステーションにご依頼ください。

■ アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

■ カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします

No.	音色グループ	音色名表示（英語）	音色名表示（日本語）	プログラムチェンジ	バンクセレクトMSB	DCO使用数	同時発音数	Legato対応	DSP
0	PIANO	Stereo Piano	ｽﾃﾚｵﾋﾟｱﾉ	000	2	2	32		
1	PIANO	St.Br.Piano	ｽﾃﾚｵﾌﾞﾗｲﾄ	001	2	2	32		
2	PIANO	St.Mel.Piano	ｽﾃﾚｵﾒﾛｳﾋﾟｱﾉ	000	3	2	32		
3	PIANO	Grand Piano	ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟｱﾉ	000	0	1	64		
4	PIANO	Bright Piano	ﾌﾞﾗｲﾄﾋﾟｱﾉ	001	0	1	64		
5	PIANO	Mellow Piano	ﾒﾛｳﾋﾟｱﾉ	000	16	1	64		
6	PIANO	Honky-Tonk	ﾎﾝｷｰﾄﾝｸ	003	0	2	32		
7	PIANO	2octavePiano	2ｵｸﾀｰﾌﾞﾋﾟｱﾉ	000	30	2	32		
8	PIANO	1octavePiano	1ｵｸﾀｰﾌﾞﾋﾟｱﾉ	000	29	2	32		
9	PIANO	Dance Piano	ﾀﾞﾝｽﾋﾟｱﾉ	001	16	2	32		
10	PIANO	StringsPiano	ｽﾄﾘﾝｸﾞｽﾋﾟｱﾉ	000	24	2	32		Reflection
11	PIANO	Harpsichord	ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ	006	0	2	32		
12	PIANO	Coupled Hps	ｶｯﾌﾟﾙﾊｰﾌﾟｼ	006	8	2	32		
13	EP/ORGAN	ModernEPiano	ﾓﾀﾞﾝｴﾚﾋﾟ	004	16	2	32		Chorus
14	EP/ORGAN	Elec.Piano	ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ	004	0	1	64		Chorus
15	EP/ORGAN	FM E.Piano	ｴﾌｴﾑｴﾚﾋﾟ	005	0	2	32		Chorus
16	EP/ORGAN	60's E.Piano	60's ｴﾚﾋﾟ	004	24	1	64		Tremolo
17	EP/ORGAN	E.GrandPiano	ｴﾚｸﾄﾘｸｸﾞﾗﾝﾄﾞ	002	0	1	64		
18	EP/ORGAN	Synth-Str EP	ｽﾄﾘﾝｸﾞｽｴﾚﾋﾟ	004	30	2	32		Chorus
19	EP/ORGAN	ChurchOrgan	ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ	019	0	1	64		
20	EP/ORGAN	ChapelOrgan	ﾁｬﾍﾟﾙｵﾙｶﾞﾝ	019	1	1	64		
21	EP/ORGAN	Perc.Organ	ﾊﾟｰｶｽｵﾙｶﾞﾝ	017	1	2	32		Rotary
22	EP/ORGAN	Tremolo Org	ﾄﾚﾓﾛｵﾙｶﾞﾝ	016	8	1	64		Rotary
23	EP/ORGAN	Even Bar	ｲｰﾌﾞﾝﾊﾞｰ	016	33	1	64		Rotary
24	EP/ORGAN	Full Organ	ﾌﾙｵﾙｶﾞﾝ	016	2	1	64		Rotary
25	EP/ORGAN	70's Organ	70's ｵﾙｶﾞﾝ	016	32	1	64		Rotary
26	EP/ORGAN	Vibraphone	ﾋﾞﾌﾞﾗﾌｫﾝ	011	0	1	64		Tremolo
27	EP/ORGAN	Marimba	ﾏﾘﾝﾊﾞ	012	0	1	64		
28	EP/ORGAN	Clavi	ｸﾗﾋﾞ	007	0	1	64		Auto Wah
29	GT/BASS	NylonStr.Gtr	ｶﾞｯﾄｷﾞﾀｰ	024	0	1	64		
30	GT/BASS	SteelStr.Gtr	ｱｺｰｽﾃｨｯｸｷﾞﾀｰ	025	0	1	64		Chorus
31	GT/BASS	Jazz Guitar	ｼﾞｬｽﾞｷﾞﾀｰ	026	0	1	64		
32	GT/BASS	Clean Guitar	ｸﾘｰﾝｷﾞﾀｰ	027	1	1	64		Ensemble
33	GT/BASS	AcousticBass	ｱｺｰｽﾃｨｯｸﾍﾞｰｽ	032	0	1	64		
34	GT/BASS	Ride AcoBass	ﾗｲﾄﾞﾍﾞｰｽ	032	32	2	32		
35	GT/BASS	Finger.Bass	ﾌｨﾝｶﾞｰﾍﾞｰｽ	033	0	1	64		
36	GT/BASS	Picked Bass	ﾋﾟｯｸﾍﾞｰｽ	034	0	1	64		
37	GT/BASS	FretlessBass	ﾌﾚｯﾄﾚｽﾍﾞｰｽ	035	0	1	64		
38	GT/BASS	Slap Bass	ｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ	037	0	1	64		
39	GT/BASS	Synth-Bass	ｼﾝｾﾍﾞｰｽ	038	0	2	32		
40	ENSEMBLE	Strings 1	ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ 1	048	0	1	64	○	Reflection
41	ENSEMBLE	Strings 2	ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ 2	049	0	1	64		
42	ENSEMBLE	SynthString	ｼﾝｾｽﾄﾘﾝｸﾞｽ	050	0	2	32		Chorus
43	ENSEMBLE	SymphoSynstr	ｼﾝﾌｫﾆｰｼﾝｽﾄ	050	24	2	32		
44	ENSEMBLE	Choir Aahs	ｸﾜｲｱ	052	0	1	64		Reflection
45	ENSEMBLE	Synth-Voice	ｼﾝｾﾎﾞｲｽ	054	0	1	64		Chorus
46	ENSEMBLE	Warm Pad	ｳｫｰﾑﾊﾟｯﾄﾞ	089	0	1	64		Chorus

PI40JA01-1.book 90 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

No.	音色グループ	音色名表示（英語）	音色名表示（日本語）	プログラムチェンジ	バンクセレクトMSB	DCO使用数	同時発音数	Legato対応	DSP
47	ENSEMBLE	Fantasy	ﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	088	0	2	32		Chorus
48	ENSEMBLE	Square Wave	ｽｸｴｱｳｪｰﾌﾞ	080	0	2	32		Delay
49	ENSEMBLE	SawtoothWave	ｿｰﾄｩｰｽｳｪｰﾌﾞ	081	0	2	32		Delay
50	ENSEMBLE	Calliope	ｶﾘｵﾍﾟ	082	0	2	32		Cross Delay
51	REED/BRASS	BreathyA.Sax	ﾌﾞﾚｯｼｰｱﾙﾄ	065	16	1	64	○	
52	REED/BRASS	Alto Sax	ｱﾙﾄｻｯｸｽ	065	0	1	64	○	
53	REED/BRASS	Tenor Sax	ﾃﾅｰｻｯｸｽ	066	0	1	64	○	
54	REED/BRASS	Soprano Sax	ｿﾌﾟﾗﾉｻｯｸｽ	064	0	1	64	○	
55	REED/BRASS	Clarinet	ｸﾗﾘﾈｯﾄ	071	0	1	64	○	
56	REED/BRASS	Oboe	ｵｰﾎﾞｴ	068	0	1	64	○	
57	REED/BRASS	Flute	ﾌﾙｰﾄ	073	0	1	64	○	
58	REED/BRASS	Trumpet	ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	056	2	1	64		
59	REED/BRASS	Mute Trumpet	ﾐｭｰﾄﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	059	0	1	64	○	
60	REED/BRASS	Trombone	ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ	057	0	1	64		
61	REED/BRASS	Brass	ﾌﾞﾗｽ	061	0	1	64		
62	REED/BRASS	AnalogSynBrs	ｱﾅﾛｸﾞｼﾝｾﾌﾞﾗｽ	062	1	2	32		Delay
63	GM/DRUM	000:GrandPno	0ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟｱﾉ	000	0	1	64		
64	GM/DRUM	000*StreoPno	0ｽﾃﾚｵﾋﾟｱﾉ	000	2	2	32		
65	GM/DRUM	000*StMelPno	0ｽﾃﾚｵﾒﾛｳﾋﾟｱﾉ	000	3	2	32		
66	GM/DRUM	000*G.PnoWid	0ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟｱﾉW	000	8	1	64		
67	GM/DRUM	000*MelowPno	0ﾒﾛｳﾋﾟｱﾉ	000	16	1	64		
68	GM/DRUM	000*StrngPno	0ｽﾄﾘﾝｸﾞｽﾋﾟｱﾉ	000	24	2	32		
69	GM/DRUM	000*1oct.Pno	0ｵｸﾀｰﾌﾞﾋﾟｱﾉ1	000	29	2	32		
70	GM/DRUM	000*2oct.Pno	0ｵｸﾀｰﾌﾞﾋﾟｱﾉ2	000	30	2	32		
71	GM/DRUM	001:BritePno	1ﾌﾞﾗｲﾄﾋﾟｱﾉ	001	0	1	64		
72	GM/DRUM	001*St.BrPno	1ｽﾃﾚｵBﾋﾟｱﾉ	001	2	2	32		
73	GM/DRUM	001*BrPnoWid	1ﾌﾞﾗｲﾄﾋﾟｱﾉW	001	8	1	64		
74	GM/DRUM	001*DancePno	1ﾀﾞﾝｽﾋﾟｱﾉ	001	16	2	32		
75	GM/DRUM	002:E.Grand	2Eｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟｱﾉ	002	0	1	64		
76	GM/DRUM	003:HnkyTonk	3ﾎﾝｷｰﾄﾝｸ	003	0	2	32		
77	GM/DRUM	004:E.Piano1	4ｴﾚﾋﾟ1	004	0	1	64		
78	GM/DRUM	004*E.Piano2	4ｴﾚﾋﾟ2	004	1	1	64		
79	GM/DRUM	004*StSoftEP	4ｿﾌﾄｴﾚﾋﾟ	004	8	2	32		Chorus
80	GM/DRUM	004*ModernEP	4ﾓﾀﾞﾝｴﾚﾋﾟ	004	16	2	32		
81	GM/DRUM	004*60's EP	4ｴﾚﾋﾟ 60's	004	24	1	64		Phaser
82	GM/DRUM	004*SynStrEP	4ｽﾄﾘﾝｸﾞｽｴﾚﾋﾟ	004	30	2	32		
83	GM/DRUM	005:FM EP	5ｴﾌｴﾑｴﾚﾋﾟ	005	0	2	32		
84	GM/DRUM	006:Harpsi.	6ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ	006	0	2	32		
85	GM/DRUM	006*CouplHps	6ｶｯﾌﾟﾙﾊｰﾌﾟｼ	006	8	2	32		
86	GM/DRUM	007:Clavi	7ｸﾗﾋﾞ	007	0	1	64		
87	GM/DRUM	008:Celesta	8ﾁｪﾚｽﾀ	008	0	1	64		
88	GM/DRUM	009:Glocken.	9ｸﾞﾛｯｹﾝ	009	0	1	64		
89	GM/DRUM	010:MusicBox	10ｵﾙｺﾞｰﾙ	010	0	1	64		
90	GM/DRUM	011:Vibes	11ﾋﾞﾌﾞﾗﾌｫﾝ	011	0	1	64		
91	GM/DRUM	012:Marimba	12ﾏﾘﾝﾊﾞ	012	0	1	64		
92	GM/DRUM	013:Xylophon	13ｼﾛﾌｫﾝ	013	0	1	64		
93	GM/DRUM	014:TublrBel	14ﾁｭｰﾌﾞﾗｰﾍﾞﾙ	014	0	1	64		

PI40JA01-1.book 91 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

No.	音色グループ	音色名表示（英語）	音色名表示（日本語）	プログラムチェンジ	バンクセレクトMSB	DCO使用数	同時発音数	Legato対応	DSP
94	GM/DRUM	015:Dulcimer	15ﾀﾞﾙｼﾏｰ	015	0	1	64		
95	GM/DRUM	016:DrwbrOrg	16 D.ｵﾙｶﾞﾝ	016	0	1	64		
96	GM/DRUM	016*Full Org	16ﾌﾙｵﾙｶﾞﾝ	016	2	1	64		Rotary
97	GM/DRUM	016*Trem.Org	16ﾄﾚﾓﾛｵﾙｶﾞﾝ	016	8	1	64		Rotary
98	GM/DRUM	016*70's Org	16ｵﾙｶﾞﾝ 70's	016	32	1	64		Rotary
99	GM/DRUM	016*Even Bar	16ｲｰﾌﾞﾝﾊﾞｰ	016	33	1	64		Rotary
100	GM/DRUM	017:PercOrg1	17 P.ｵﾙｶﾞﾝ 1	017	0	2	32		
101	GM/DRUM	017*PercOrg2	17 P.ｵﾙｶﾞﾝ 2	017	2	1	64		Rotary
102	GM/DRUM	017*PercOrg3	17 P.ｵﾙｶﾞﾝ 3	017	32	2	32		Rotary
103	GM/DRUM	018:Rock Org	18ﾛｯｸｵﾙｶﾞﾝ	018	0	2	32		
104	GM/DRUM	018*Rotary S	18ﾛｰﾀﾘｰｽﾛｰ	018	16	2	32		
105	GM/DRUM	018*Rotary F	18ﾛｰﾀﾘｰﾌｧｰｽﾄ	018	24	1	64		
106	GM/DRUM	019:ChrchOrg	19ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ	019	0	1	64		
107	GM/DRUM	019*ChaplOrg	19ﾁｬﾍﾟﾙｵﾙｶﾞﾝ	019	1	1	64		
108	GM/DRUM	020:Reed Org	20ﾘｰﾄﾞｵﾙｶﾞﾝ	020	0	1	64		
109	GM/DRUM	021:Acordion	21ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ	021	0	1	64		
110	GM/DRUM	022:Harmnica	22ﾊｰﾓﾆｶ	022	0	1	64		
111	GM/DRUM	023:Bandneon	23ﾊﾞﾝﾄﾞﾈｵﾝ	023	0	2	32		
112	GM/DRUM	024:NylonGtr	24ｶﾞｯﾄｷﾞﾀｰ	024	0	1	64		
113	GM/DRUM	024*Ny.GtOff	24ｶﾞｯﾄｷﾞﾀｰｵﾌ	024	16	2	32		Reflection
114	GM/DRUM	025:SteelGtr	25ﾌｫｰｸｷﾞﾀｰ	025	0	1	64		
115	GM/DRUM	025*12Str.Gt	25ｷﾞﾀｰ12ｹﾞﾝ	025	8	2	32		Ensemble
116	GM/DRUM	026:JazzGtr1	26ｼﾞｬｽﾞｷﾞﾀｰ1	026	0	1	64		
117	GM/DRUM	026*JazzGtr2	26ｼﾞｬｽﾞｷﾞﾀｰ2	026	1	1	64		Chorus
118	GM/DRUM	026*PedalStl	26ﾍﾟﾀﾞﾙｽﾁｰﾙ	026	8	2	32		
119	GM/DRUM	027:CleanGt1	27ｸﾘｰﾝｷﾞﾀｰ 1	027	0	1	64		
120	GM/DRUM	027*CleanGt2	27ｸﾘｰﾝｷﾞﾀｰ 2	027	1	1	64		Chorus
121	GM/DRUM	027*CleanGt3	27ｸﾘｰﾝｷﾞﾀｰ 3	027	5	1	64		Ensemble
122	GM/DRUM	027*ChorusEG	27ｺｰﾗｽｷﾞﾀｰ	027	8	2	32		Chorus
123	GM/DRUM	027*ElecGtr1	27ｴﾚｷｷﾞﾀｰ 1	027	16	1	64		
124	GM/DRUM	027*ElecGtr2	27ｴﾚｷｷﾞﾀｰ 2	027	17	1	64		Distortion
125	GM/DRUM	028:Mute Gtr	28ﾐｭｰﾄｷﾞﾀｰ	028	0	1	64		
126	GM/DRUM	028*FunkGtr1	28ﾌｧﾝｸｷﾞﾀｰ 1	028	8	1	64		
127	GM/DRUM	028*FunkGtr2	28ﾌｧﾝｸｷﾞﾀｰ 2	028	16	1	64		Distortion
128	GM/DRUM	029:Ovrdriv1	29 OVD ｷﾞﾀｰ1	029	0	1	64		
129	GM/DRUM	029*Ovrdriv2	29 OVD ｷﾞﾀｰ2	029	1	2	32	○	Distortion
130	GM/DRUM	030:Dist.Gt1	30 DISTｷﾞﾀｰ1	030	0	1	64		
131	GM/DRUM	030*Dist.Gt2	30 DISTｷﾞﾀｰ2	030	1	2	32		Loudness
132	GM/DRUM	030*Dist.Gt3	30 DISTｷﾞﾀｰ3	030	3	1	64	○	Distortion
133	GM/DRUM	030*Dist.Gt4	30 DISTｷﾞﾀｰ4	030	4	1	64	○	
134	GM/DRUM	030*Dist.Gt5	30 DISTｷﾞﾀｰ5	030	5	1	64		Distortion
135	GM/DRUM	030*Feedback	30ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ	030	8	2	32		Distortion
136	GM/DRUM	031:GtrHrmnc	31ｷﾞﾀｰﾊｰﾓﾆｸｽ	031	0	2	32		
137	GM/DRUM	032:Aco.Bass	32ｳｯﾄﾞﾍﾞｰｽ	032	0	1	64		
138	GM/DRUM	032*RideBass	32ﾗｲﾄﾞﾍﾞｰｽ	032	32	2	32		
139	GM/DRUM	033:FingBass	33ﾌｨﾝｶﾞｰﾍﾞｰｽ	033	0	1	64		
140	GM/DRUM	034:PickBass	34ﾋﾟｯｸﾍﾞｰｽ	034	0	1	64		

PI40JA01-1.book 92 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

No.	音色グループ	音色名表示（英語）	音色名表示（日本語）	プログラムチェンジ	バンクセレクトMSB	DCO使用数	同時発音数	Legato対応	DSP
141	GM/DRUM	035:Fretless	35ﾌﾚｯﾄﾚｽﾍﾞｰｽ	035	0	1	64		
142	GM/DRUM	036:Slap Bs1	36ｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ1	036	0	1	64		
143	GM/DRUM	037:Slap Bs2	37ｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ2	037	0	1	64		
144	GM/DRUM	038:SynBass1	38ｼﾝｾﾍﾞｰｽ 1	038	0	2	32		
145	GM/DRUM	038*An.SynBs	38 A.ｼﾝｾﾍﾞｰｽ	038	1	1	64		
146	GM/DRUM	038*AcidBass	38ｱｼｯﾄﾞﾍﾞｰｽ	038	8	1	64		
147	GM/DRUM	039:SynBass2	39ｼﾝｾﾍﾞｰｽ 2	039	0	1	64		
148	GM/DRUM	039*BeefFMBs	39ﾋﾞｰﾌFMﾍﾞｰｽ	039	8	2	32		
149	GM/DRUM	040:Violin	40ﾊﾞｲｵﾘﾝ	040	0	1	64	○	
150	GM/DRUM	041:Viola	41ﾋﾞｵﾗ	041	0	1	64	○	
151	GM/DRUM	042:Cello	42ﾁｪﾛ	042	0	1	64	○	
152	GM/DRUM	043:Contrabs	43ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ	043	0	1	64	○	
153	GM/DRUM	044:Trem.Str	44ﾄﾚﾓﾛｽﾄﾘﾝｸﾞ	044	0	1	64		
154	GM/DRUM	045:Pizz.Str	45ﾋﾟﾁｶｰﾄ	045	0	1	64		
155	GM/DRUM	046:Harp	46ﾊｰﾌﾟ	046	0	1	64		
156	GM/DRUM	047:Timpani	47ﾃｨﾝﾊﾟﾆ	047	0	2	32		
157	GM/DRUM	048:Strings1	48ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ 1	048	0	1	64	○	
158	GM/DRUM	049:Strings2	49ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ 2	049	0	1	64		
159	GM/DRUM	049*Strings3	49ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ 3	049	1	1	64		Reflection
160	GM/DRUM	050:Syn-Str1	50ｼﾝｾｽﾄﾘﾝｸﾞ 1	050	0	2	32		
161	GM/DRUM	050*MelSynSt	50ﾒﾛｳｽﾄﾘﾝｸﾞ	050	2	1	64		
162	GM/DRUM	050*SymSynSt	50ｼﾝﾌｫﾆｰｼﾝｽﾄ	050	24	2	32		Reflection
163	GM/DRUM	051:Syn-Str2	51ｼﾝｾｽﾄﾘﾝｸﾞ 2	051	0	2	32		
164	GM/DRUM	052:ChoirAah	52ｸﾜｲｱ	052	0	1	64		
165	GM/DRUM	053:VoiceDoo	53ﾎﾞｲｽ	053	0	1	64		
166	GM/DRUM	054:SynVoice	54ｼﾝｾﾎﾞｲｽ	054	0	1	64		
167	GM/DRUM	055:Orch.Hit	55ｵｰｹｽﾄﾗﾋｯﾄ	055	0	2	32		Chorus
168	GM/DRUM	056:Trumpet1	56ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ 1	056	0	1	64		
169	GM/DRUM	056*Trumpet2	56ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ 2	056	1	1	64		
170	GM/DRUM	056*Trumpet3	56ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ 3	056	2	1	64		
171	GM/DRUM	057:Trombon1	57ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ 1	057	0	1	64		
172	GM/DRUM	057*Trombon2	57ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ 2	057	1	2	32		
173	GM/DRUM	058:Tuba	58ﾁｭｰﾊﾞ	058	0	1	64		
174	GM/DRUM	059:Mute Trp	59ﾐｭｰﾄﾍﾟｯﾄ	059	0	1	64	○	
175	GM/DRUM	060:Fr.Horn1	60ﾌﾚﾝﾁﾎﾙﾝ 1	060	0	1	64		
176	GM/DRUM	060*Fr.Horn2	60ﾌﾚﾝﾁﾎﾙﾝ 2	060	1	2	32		
177	GM/DRUM	061:Brass 1	61ﾌﾞﾗｽ 1	061	0	1	64		
178	GM/DRUM	061*Brass 2	61ﾌﾞﾗｽ 2	061	8	2	32		
179	GM/DRUM	062:Syn-Brs1	62ｼﾝｾﾌﾞﾗｽ 1	062	0	2	32		Delay
180	GM/DRUM	062*AnSynBrs	62 A.ｼﾝｾﾌﾞﾗｽ	062	1	2	32		Chorus
181	GM/DRUM	062*OctSynBr	62ｼﾝｾﾌﾞﾗｽOCT	062	16	2	32		
182	GM/DRUM	063:Syn-Brs2	63ｼﾝｾﾌﾞﾗｽ 2	063	0	1	64		Ensemble
183	GM/DRUM	064:Sopr.Sax	64ｿﾌﾟﾗﾉｻｯｸｽ	064	0	1	64	○	
184	GM/DRUM	065:Alto Sax	65ｱﾙﾄｻｯｸｽ	065	0	1	64	○	
185	GM/DRUM	065*Vel.ASax	65ﾀｯﾁｱﾙﾄｻｯｸｽ	065	8	1	64	○	
186	GM/DRUM	065*GrwlASax	65ｸﾞﾛｰﾙｱﾙﾄ	065	9	1	64	○	
187	GM/DRUM	065*BrtyASax	65ﾌﾞﾚｯｼｰｱﾙﾄ	065	16	1	64	○	

PI40JA01-1.book 93 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

No.	音色グループ	音色名表示（英語）	音色名表示（日本語）	プログラムチェンジ	バンクセレクトMSB	DCO使用数	同時発音数	Legato対応	DSP
188	GM/DRUM	066:TenrSax1	66ﾃﾅｰｻｯｸｽ 1	066	0	1	64	○	
189	GM/DRUM	066*TenrSax2	66ﾃﾅｰｻｯｸｽ 2	066	1	2	32	○	
190	GM/DRUM	066*BrtyTSax	66ﾌﾞﾚｯｼｰﾃﾅｰ	066	8	2	32	○	
191	GM/DRUM	066*BrgtTSax	66ﾌﾞﾗｲﾄﾃﾅｰ	066	16	1	64	○	
192	GM/DRUM	066*Vel.TSax	66ﾀｯﾁﾃﾅｰｻｯｸｽ	066	24	2	32	○	
193	GM/DRUM	067:Bari.Sax	67ﾊﾞﾘﾄﾝｻｯｸｽ	067	0	1	64	○	
194	GM/DRUM	068:Oboe 1	68ｵｰﾎﾞｴ 1	068	0	1	64	○	
195	GM/DRUM	068*VeloOboe	68ﾀｯﾁｵｰﾎﾞｴ	068	8	1	64	○	
196	GM/DRUM	068*Oboe 2	68ｵｰﾎﾞｴ 2	068	9	1	64	○	
197	GM/DRUM	069:Eng.Horn	69ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭﾎﾙﾝ	069	0	1	64		
198	GM/DRUM	070:Bassoon	70ﾊﾞｽｰﾝ	070	0	1	64		
199	GM/DRUM	071:Clarinet	71ｸﾗﾘﾈｯﾄ	071	0	1	64	○	
200	GM/DRUM	072:Piccolo	72ﾋﾟｯｺﾛ	072	0	1	64	○	
201	GM/DRUM	073:Flute	73ﾌﾙｰﾄ	073	0	1	64	○	
202	GM/DRUM	073*MelFlute	73ﾒﾛｳﾌﾙｰﾄ	073	1	2	32	○	
203	GM/DRUM	074:Recorder	74ﾘｺｰﾀﾞｰ	074	0	1	64		
204	GM/DRUM	075:PanFlute	75ﾊﾟﾝﾌﾙｰﾄ	075	0	2	32	○	
205	GM/DRUM	076:BotlBlow	76ﾎﾞﾄﾙﾌﾞﾛｰ	076	0	1	64		
206	GM/DRUM	077:Shakhchi	77ｼｬｸﾊﾁ	077	0	2	32		
207	GM/DRUM	078:Whistle	78ﾎｲｯｽﾙ	078	0	1	64		
208	GM/DRUM	079:Ocarina	79ｵｶﾘﾅ	079	0	2	32		
209	GM/DRUM	080:SquarWav	80ｽｸｴｱｳｪｰﾌﾞ	080	0	2	32		
210	GM/DRUM	080*Sine	80ｻｲﾝ	080	8	1	64		Cross Delay
211	GM/DRUM	081:Saw.Wave	81ｿｰｳｪｰﾌﾞ	081	0	2	32		
212	GM/DRUM	081*Sawtooth	81ｿｰﾄｩｰｽ	081	1	1	64		
213	GM/DRUM	081*Saw+Sqr	81ｿｰｽｸｴｱ	081	8	2	32		Delay
214	GM/DRUM	082:Calliope	82ｶﾘｵﾍﾟ	082	0	2	32		
215	GM/DRUM	083:Chiff Ld	83ﾁﾌﾘｰﾄﾞ	083	0	2	32		Delay
216	GM/DRUM	084:Charang	84ﾁｬﾗﾝ	084	0	2	32		
217	GM/DRUM	085:Voice Ld	85ﾎﾞｲｽﾘｰﾄﾞ	085	0	2	32		
218	GM/DRUM	086:Fifth Ld	86ﾌｨﾌｽﾘｰﾄﾞ	086	0	2	32		
219	GM/DRUM	087:Bass+Ld	87ﾍﾞｰｽ+ﾘｰﾄﾞ	087	0	2	32		Delay
220	GM/DRUM	088:Fantasy	88ﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	088	0	2	32		Ensemble
221	GM/DRUM	089:WarmPad1	89ｳｫｰﾑﾊﾟｯﾄﾞ 1	089	0	1	64		
222	GM/DRUM	089*WarmPad2	89ｳｫｰﾑﾊﾟｯﾄﾞ 2	089	1	1	64		Phaser
223	GM/DRUM	090:Polysyn	90ﾎﾟﾘｼﾝｾ	090	0	2	32		Delay
224	GM/DRUM	091:SpaceChr	91ｽﾍﾟｰｽｸｳｨｱ	091	0	2	32		
225	GM/DRUM	092:BowGlass	92ﾎﾞｳｸﾞﾗｽ	092	0	2	32		Chorus
226	GM/DRUM	093:MetalPad	93ﾒﾀﾘｯｸﾊﾟｯﾄﾞ	093	0	2	32		Chorus
227	GM/DRUM	094:Halo Pad	94ﾍｲﾛﾊﾟｯﾄﾞ	094	0	2	32		
228	GM/DRUM	095:SweepPad	95ｽｲｰﾌﾟﾊﾟｯﾄﾞ	095	0	2	32		
229	GM/DRUM	096:RainDrop	96ﾚｲﾝﾄﾞﾛｯﾌﾟ	096	0	2	32		Chorus
230	GM/DRUM	097:Soundtrk	97ｻｳﾝﾄﾞﾄﾗｯｸ	097	0	2	32		
231	GM/DRUM	098:Crystal	98ｸﾘｽﾀﾙ	098	0	2	32		Ensemble
232	GM/DRUM	099:Atmsphre	99ｱﾄﾓｽﾌｨｱ	099	0	2	32		Chorus
233	GM/DRUM	100:Britenes	100ﾌﾞﾗｲﾄﾈｽ	100	0	2	32		
234	GM/DRUM	101:Goblins	101ｺﾞﾌﾞﾘﾝ	101	0	2	32		Ring Mod.

PI40JA01-1.book 94 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

No.	音色グループ	音色名表示（英語）	音色名表示（日本語）	プログラムチェンジ	バンクセレクトMSB	DCO使用数	同時発音数	Legato対応	DSP
235	GM/DRUM	102:Echoes	102ｴｺｰ	102	0	1	64		
236	GM/DRUM	103:SF	103ｴｽｴﾌ	103	0	2	32		Auto Pan
237	GM/DRUM	104:Sitar	104ｼﾀｰﾙ	104	0	1	64		
238	GM/DRUM	105:Banjo	105ﾊﾞﾝｼﾞｮｰ	105	0	1	64		
239	GM/DRUM	106:Shamisen	106ｼｬﾐｾﾝ	106	0	1	64		
240	GM/DRUM	107:Koto	107ｺﾄ	107	0	1	64		
241	GM/DRUM	108:Kalimba	108ｶﾘﾝﾊﾞ	108	0	1	64		
242	GM/DRUM	109:Bag Pipe	109ﾊﾞｸﾞﾊﾟｲﾌﾟ	109	0	2	32		
243	GM/DRUM	110:Fiddle	110ﾌｨﾄﾞﾙ	110	0	1	64		
244	GM/DRUM	111:Shanai	111ｼｬﾅｲ	111	0	2	32		
245	GM/DRUM	112:TinklBel	112ﾃｨﾝｸﾙﾍﾞﾙ	112	0	2	32		
246	GM/DRUM	113:Agogo	113ｱｺﾞｺﾞ	113	0	2	32		
247	GM/DRUM	114:SteelDrm	114ｽﾁｰﾙﾄﾞﾗﾑ	114	0	1	64		
248	GM/DRUM	115:WoodBlok	115ｳｯﾄﾞﾌﾞﾛｯｸ	115	0	1	64		
249	GM/DRUM	116:Taiko	116ﾀｲｺ	116	0	1	64		
250	GM/DRUM	117:Melo.Tom	117ﾒﾛﾃﾞｨｯｸﾀﾑ	117	0	1	64		
251	GM/DRUM	118:Syn-Drum	118ｼﾝｾﾄﾞﾗﾑ	118	0	1	64		
252	GM/DRUM	119:RevCymbl	119ﾘﾊﾞｽｼﾝﾊﾞﾙ	119	0	1	64		
253	GM/DRUM	120:FretNoiz	120ﾌﾚｯﾄﾉｲｽﾞ	120	0	1	64		
254	GM/DRUM	121:BrthNoiz	121ﾌﾞﾚｽﾉｲｽﾞ	121	0	1	64		
255	GM/DRUM	122:Seashore	122ｼｰｼｮｱｰ	122	0	1	64		
256	GM/DRUM	123:Bird	123ﾊﾞｰﾄﾞ	123	0	2	32		
257	GM/DRUM	124:Telphone	124ﾃﾚﾎﾝ	124	0	1	64		
258	GM/DRUM	125:Helicptr	125ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰ	125	0	1	64		
259	GM/DRUM	126:Applause	126ｱﾌﾟﾛｰｽﾞ	126	0	2	32		
260	GM/DRUM	127:Gunshot	127ｶﾞﾝｼｮｯﾄ	127	0	1	64		
261	GM/DRUM	StandardSet1	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞｾｯﾄ1	000	0	–	–	–	
262	GM/DRUM	StandardSet2	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞｾｯﾄ2	001	0	–	–	–	
263	GM/DRUM	Room Set	ﾙｰﾑｾｯﾄ	008	0	–	–	–	
264	GM/DRUM	Power Set	ﾊﾟﾜｰｾｯﾄ	016	0	–	–	–	
265	GM/DRUM	Elec.Set	ｴﾚｸﾄﾘｯｸｾｯﾄ	024	0	–	–	–	
266	GM/DRUM	Synth-Set 1	ｼﾝｾｾｯﾄ 1	025	0	–	–	–	
267	GM/DRUM	Synth-Set 2	ｼﾝｾｾｯﾄ 2	030	0	–	–	–	
268	GM/DRUM	Jazz Set	ｼﾞｬｽﾞｾｯﾄ	032	0	–	–	–	
269	GM/DRUM	Brush Set	ﾌﾞﾗｯｼｭｾｯﾄ	040	0	–	–	–	
270	GM/DRUM	Orch.Set	ｵｰｹｽﾄﾗｾｯﾄ	048	0	–	–	–	

NOTE

- 「GM/Various」の音色、“031：GtrHrmnc”、“047：Timpani”、“113：Agogo”は、通常 C♯7 以降の音が、再び 1 オクターブ下の C♯6 からの音域で発音されます。
  トランスポーズ機能で楽器全体の音の高さを変えた場合、この音程が変わる位置もそれに合わせて上下します。
- トランスポーズ機能を設定した場合、通常の A0 ～ C8 鍵盤範囲外の音は、音程が聞き取りにくくなる場合があります。
- Legato 対応 ○：レガートで演奏した場合に発音が変わる音色。

PI40_JA01-1.book 95 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

ドラム音色リスト

音名／ノートナンバー	00:StandardSet 1	01:StandardSet 2	08:Room Set	16:Power Set	24:Elec.Set	25:Synth-Set 1	30:Synth-Set 2	32:Jazz Set	40:Brush Set	48:Orch.Set
C1 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C♯1 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D1 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E♭1 3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E1 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F1 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F♯1 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G1 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A♭1 8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A1 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B♭1 10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B1 11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C0 12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C♯0 13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D0 14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E♭0 15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E0 16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F0 17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F♯0 18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G0 19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A♭0 20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A0 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B♭0 22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B0 23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C1 24	Concert SD	Concert SD	Concert SD	Concert SD	Concert SD	Concert SD	Concert SD	Concert SD	Concert SD	Concert SD
C♯1 25	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll	Snare Roll
D1 26	Finger Snap 2	Finger Snap 2	Finger Snap 2	Finger Snap 2	Finger Snap 1	Finger Snap 2	Finger Snap 2	Finger Snap 1	Finger Snap 1	Finger Snap 1
E♭1 27	High Q	High Q	High Q	High Q	High Q	High Q	High Q	High Q	High Q	Closed Hi-Hat
E1 28	Slap	Slap	Slap	Slap	Slap	Slap	Slap	Slap	Slap	Pedal Hi-Hat
F1 29	Scratch Push 1	Scratch Push 1	Scratch Push 1	Scratch Push 1	Scratch Push 2	Scratch Push 2	Scratch Push 2	Scratch Push 1	Scratch Push 1	Open Hi-Hat
F♯1 30	Scratch Pull 1	Scratch Pull 1	Scratch Pull 1	Scratch Pull 1	Scratch Pull 2	Scratch Pull 2	Scratch Pull 2	Scratch Pull 1	Scratch Pull 1	Ride Cymbal 1
G1 31	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks	Sticks
A♭1 32	Square Click	Square Click	Square Click	Square Click	Square Click	Square Click	Square Click	Square Click	Square Click	Square Click
A1 33	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click	Metronome Click
B♭1 34	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell	Metronome Bell
B1 35	Standard1 Kick 2	Standard2 Kick 2	Room Kick 2	Power Kick 2	Electric Kick 2	Synth1 Kick 2	Techno Kick 2	Jazz Kick 2	Jazz Kick 2	Jazz Kick 1
C2 36	Standard1 Kick 1	Standard2 Kick 1	Room Kick 1	Power Kick 1	Electric Kick 1	Synth1 Kick 1	Synth2 Kick 1	Jazz Kick 1	Jazz Kick 1	Concert BD 1
C♯2 37	Side Stick	Side Stick	Side Stick	Power Side Stick	Side Stick	Synth1 Rim Shot	Synth2 Rim	Side Stick	Side Stick	Side Stick
D2 38	Standard1 Snare 1	Standard2 Snare 1	Room Snare 1	Power Snare 1	Electric Snare 1	Synth1 Snare 1	Synth2 Snare 1	Jazz Snare 1	Brush Snare 1	Concert SD
E♭2 39	Hand Clap 1	Hand Clap 1	Hand Clap 1	Hand Clap 3	Hand Clap 3	Hand Clap 3	Synth2 Hand Clap	Hand Clap 2	Brush Slap	Castanets
E2 40	Standard1 Snare 2	Standard2 Snare 2	Room Snare 2	Power Snare 2	Electric Snare 2	Synth1 Snare 2	Synth2 Snare 2	Jazz Snare 2	Brush Snare 2	Concert SD
F2 41	Low Tom 2	Low Tom 2	Room Low Tom 2	Power Low Tom 2	Electric Low Tom 2	Synth1 Low Tom 2	Synth2 Low Tom 2	Low Tom 2	Brush Low Tom 2	Timpani F
F♯2 42	Closed Hi-Hat	Closed Hi-Hat	Closed Hi-Hat	Power CHH	Closed Hi-Hat	Synth1 Closed HH 1	Synth2 Closed HH 1	Closed Hi-Hat	Brush Closed Hi-Hat	Timpani F#
G2 43	Low Tom 1	Low Tom 1	Room Low Tom 1	Power Low Tom 1	Electric Low Tom 1	Synth1 Low Tom 1	Synth2 Low Tom 1	Low Tom 1	Brush Low Tom 1	Timpani G
A♭2 44	Pedal Hi-Hat	Pedal Hi-Hat	Pedal Hi-Hat	Power PHH	Pedal Hi-Hat	Synth1 Closed HH 2	Synth2 Closed HH 2	Pedal Hi-Hat	Pedal Hi-Hat	Timpani G#
A2 45	Mid Tom 2	Mid Tom 2	Room Mid Tom 2	Power Mid Tom 2	Electric Mid Tom 2	Synth1 Mid Tom 2	Synth2 Mid Tom 2	Mid Tom 2	Brush Mid Tom 2	Timpani A
B♭2 46	Open Hi-Hat	Open Hi-Hat	Open Hi-Hat	Power OHH	Open Hi-Hat	Synth1 Open HH	Synth2 Open HH	Open Hi-Hat	Brush Open Hi-Hat	Timpani A#
B2 47	Mid Tom 1	Mid Tom 1	Room Mid Tom 1	Power Mid Tom 1	Electric Mid Tom 1	Synth1 Mid Tom 1	Synth2 Mid Tom 1	Mid Tom 1	Brush Mid Tom 1	Timpani B

PI40JA01-1.book 96 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

音名／ノートナンバー	00:StandardSet 1	01:StandardSet 2	08:Room Set	16:Power Set	24:Elec.Set	25:Synth-Set 1	30:Synth-Set 2	32:Jazz Set	40:Brush Set	48:Orch.Set
C3 48	High Tom 2	High Tom 2	Room High Tom 2	Power High Tom 2	Electric High Tom 2	Synth1 High Tom 2	Synth2 High Tom 2	High Tom 2	Brush High Tom 2	Timpani c
C♯3 49	Crash Cymbal 1	Crash Cymbal 1	Crash Cymbal 1	Crash Cymbal 1	Crash Cymbal 1	Synth1 Crash Cymbal	Synth2 Crash Cymbal 1	Crash Cymbal 1	Brush Crash Cymbal1	Timpani c#
D3 50	High Tom 1	High Tom 1	Room High Tom 1	Power High Tom 1	Electric High Tom 1	Synth1 High Tom 1	Synth2 High Tom 1	High Tom 1	Brush High Tom 1	Timpani d
E♭3 51	Ride Cymbal 1	Ride Cymbal 1	Ride Cymbal 1	Ride Cymbal 1	Ride Cymbal 1	Synth2 Ride Cymbal	Synth2 Ride Cymbal	Ride Cymbal Inner	Ride Cymbal Inner	Timpani d#
E3 52	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Reverse Cymbal	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Timpani e
F3 53	Ride Bell	Ride Bell	Ride Bell	Ride Bell	Ride Bell	Ride Bell	Ride Bell	Ride Bell	Brush Ride Bell	Timpani f
F♯3 54	Tambourine 1	Tambourine 1	Tambourine 1	Tambourine 1	Tambourine 1	Synth1 Tambourine	Tambourine 2	Tambourine 1	Tambourine 1	Tambourine 1
G3 55	Splash Cymbal	Splash Cymbal	Splash Cymbal	Splash Cymbal	Splash Cymbal	Splash Cymbal	Splash Cymbal	Splash Cymbal	Splash Cymbal	Splash Cymbal
A♭3 56	Cowbell	Cowbell	Cowbell	Cowbell	Cowbell	Synth1 Cowbell	Synth1 Cowbell	Cowbell	Cowbell	Cowbell
A3 57	Crash Cymbal 2	Crash Cymbal 2	Crash Cymbal 2	Crash Cymbal 2	Crash Cymbal 2	Synth2 Crash Cymbal 2	Crash Cymbal 2	Crash Cymbal 2	Brush Crash Cymbal2	Concert Cymbal 2
B♭3 58	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap	Vibraslap
B3 59	Ride Cymbal 2	Ride Cymbal 2	Ride Cymbal 2	Ride Cymbal 2	Ride Cymbal 2	Ride Cymbal Edge	Ride Cymbal Edge	Ride Cymbal Edge	Ride Cymbal Edge	Concert Cymbal 1
C4 60	High Bongo	High Bongo	High Bongo	High Bongo	High Bongo	Synth1 High Bongo	High Bongo	High Bongo	High Bongo	High Bongo
C♯4 61	Low Bongo	Low Bongo	Low Bongo	Low Bongo	Low Bongo	Synth1 Low Bongo	Low Bongo	Low Bongo	Low Bongo	Low Bongo
D4 62	Mute High Conga	Mute High Conga	Mute High Conga	Mute High Conga	Mute High Conga	Synth1 Mute Hi Conga	Mute High Conga	Mute High Conga	Mute High Conga	Mute High Conga
E♭4 63	Open High Conga	Open High Conga	Open High Conga	Open High Conga	Open High Conga	Synth1 Open Hi Conga	Open High Conga	Open High Conga	Open High Conga	Open High Conga
E4 64	Open Low Conga	Open Low Conga	Open Low Conga	Open Low Conga	Open Low Conga	Synth1 Open Low Conga	Open Low Conga	Open Low Conga	Open Low Conga	Open Low Conga
F4 65	High Timbale	High Timbale	High Timbale	High Timbale	High Timbale	High Timbale	High Timbale	High Timbale	High Timbale	High Timbale
F♯4 66	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale	Low Timbale
G4 67	High Agogo	High Agogo	High Agogo	High Agogo	High Agogo	High Agogo	High Agogo	High Agogo	High Agogo	High Agogo
A♭4 68	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo	Low Agogo
A4 69	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa	Cabasa
B♭4 70	Maracas	Maracas	Maracas	Maracas	Maracas	Synth1 Maracas	Synth1 Maracas	Maracas	Maracas	Maracas
B4 71	Short High Whistle	Short High Whistle	Short High Whistle	Short High Whistle	Short High Whistle	Short High Whistle	Short High Whistle	Short High Whistle	Short High Whistle	Short High Whistle
C5 72	Long Low Whistle	Long Low Whistle	Long Low Whistle	Long Low Whistle	Long Low Whistle	Long Low Whistle	Long Low Whistle	Long Low Whistle	Long Low Whistle	Long Low Whistle
C♯5 73	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro	Short Guiro
D5 74	Long Guiro	Long Guiro	Long Guiro	Long Guiro	Long Guiro	Synth1 Guiro	Synth1 Guiro	Long Guiro	Long Guiro	Long Guiro
E♭5 75	Claves	Claves	Claves	Claves	Claves	Synth1 Claves	Synth1 Claves	Claves	Claves	Claves
E5 76	High Wood Block	High Wood Block	High Wood Block	High Wood Block	High Wood Block	High Wood Block	High Wood Block	High Wood Block	High Wood Block	High Wood Block
F5 77	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block	Low Wood Block
F♯5 78	Mute Cuica	Mute Cuica	Mute Cuica	Mute Cuica	Mute Cuica	High Hoo	High Hoo	Mute Cuica	Mute Cuica	Mute Cuica
G5 79	Open Cuica	Open Cuica	Open Cuica	Open Cuica	Open Cuica	Low Hoo	Low Hoo	Open Cuica	Open Cuica	Open Cuica
A♭5 80	Mute Triangle	Mute Triangle	Mute Triangle	Mute Triangle	Mute Triangle	Elec. Mute Triangle	Elec. Mute Triangle	Mute Triangle	Mute Triangle	Mute Triangle
A5 81	Open Triangle	Open Triangle	Open Triangle	Open Triangle	Open Triangle	Elec. Open Triangle	Elec. Open Triangle	Open Triangle	Open Triangle	Open Triangle
B♭5 82	Shaker	Shaker	Shaker	Shaker	Shaker	Synth1 Shaker	Synth1 Shaker	Shaker	Shaker	Shaker
B5 83	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell	Jingle Bell
C6 84	Bell Tree	Bar Chimes	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree	Bell Tree
C♯6 85	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets	Castanets
D6 86	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo	Mute Surdo
E♭6 87	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo	Open Surdo
E6 88	Applause 2	Applause 2	Applause 2	Applause 2	Applause 2	Applause 2	Applause 2	Applause 1	Applause 1	Applause 1
F6 89	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F♯6 90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G6 91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A♭6 92	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A6 93	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B♭6 94	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B6 95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

PI40JA01-1.book 97 ページ 2003年12月11日 木曜日 午後1時50分

音名／ノートナンバー	00:StandardSet 1	01:StandardSet 2	08:Room Set	16:Power Set	24:Elec.Set	25:Synth-Set 1	30:Synth-Set 2	32:Jazz Set	40:Brush Set	48:Orch.Set
C7 96	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C♯7 97	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D7 98	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E♭7 99	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E7 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F7 101	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F♯7 102	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G7 103	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A♭7 104	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A7 105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B♭7 106	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B7 107	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C8 108	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C♯8 109	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D8 110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E♭8 111	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E8 112	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F8 113	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F♯8 114	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G8 115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A♭8 116	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A8 117	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B♭8 118	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B8 119	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C9 120	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C♯9 121	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D9 122	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E♭9 123	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E9 124	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F9 125	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F♯9 126	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G9 127	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

PI40JA01-1.book 98 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

リズムリスト

グループ名	No.	リズム名	表示（日本語）
POPS	00	8Beat 1	8ﾋﾞｰﾄ 1
	01	8Beat 2	8ﾋﾞｰﾄ 2
	02	8Beat Guitar	8ﾋﾞｰﾄｷﾞﾀｰ
	03	8Beat Dance	8ﾋﾞｰﾄﾀﾞﾝｽ
	04	Pop Rock 1	ﾎﾟｯﾌﾟﾛｯｸ 1
	05	Pop Rock 2	ﾎﾟｯﾌﾟﾛｯｸ 2
	06	16Beat 1	16ﾋﾞｰﾄ 1
	07	16Beat 2	16ﾋﾞｰﾄ 2
	08	Funk	ﾌｧﾝｸ
	09	Fusion	ﾌｭｰｼﾞｮﾝ
	10	Euro Pop	ﾕｰﾛﾎﾟｯﾌﾟ
	11	Soul	ｿｳﾙ
	12	Oldies Shuffle	ｵｰﾙﾃﾞｨｰｽﾞ
	13	60's Pop	60sﾎﾟｯﾌﾟ
	14	R&B	ﾘｽﾞﾑ&ﾌﾞﾙｰｽ
	15	Dance Soul	ﾀﾞﾝｽｿｳﾙ
	16	Shuffle Pop 1	ｼｬｯﾌﾙﾎﾟｯﾌﾟ 1
	17	Shuffle Pop 2	ｼｬｯﾌﾙﾎﾟｯﾌﾟ 2
	18	Pop Waltz	ﾎﾟｯﾌﾟﾜﾙﾂ
ROCK/DANCE	19	Rock 1	ﾛｯｸ 1
	20	60's Rock	60sﾛｯｸ
	21	70's Rock	70sﾛｯｸ
	22	Shuffle Rock	ｼｬｯﾌﾙﾛｯｸ
	23	Rock 2	ﾛｯｸ 2
	24	Blues	ﾌﾞﾙｰｽ
	25	Shuffle Boogie	ｼｬｯﾌﾙﾌﾞｷﾞ
	26	Twist	ﾂｲｽﾄ
	27	Dance 1	ﾀﾞﾝｽ 1
	28	Dance 2	ﾀﾞﾝｽ 2
	29	Dance 3	ﾀﾞﾝｽ 3
	30	Disco Soul	ﾃﾞｨｽｺｿｳﾙ
	31	70's Disco	70sﾃﾞｨｽｺ
	32	90's Dance	90sﾀﾞﾝｽ
	33	Techno	ﾃｸﾉ
	34	Electric Pop	ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾎﾟｯﾌﾟ
BALLAD	35	8Beat Ballad 1	8Btﾊﾞﾗｰﾄﾞ 1
	36	8Beat Ballad 2	8Btﾊﾞﾗｰﾄﾞ 2
	37	8Beat Ballad 3	8Btﾊﾞﾗｰﾄﾞ 3
	38	16Beat Ballad 1	16Btﾊﾞﾗｰﾄﾞ 1
	39	16Beat Ballad 2	16Btﾊﾞﾗｰﾄﾞ 2
	40	16Beat Ballad 3	16Btﾊﾞﾗｰﾄﾞ 3
	41	ShuffleBallad 1	ｼｬｯﾌﾙﾊﾞﾗｰﾄﾞ 1
	42	6/8 Ballad	6/8ﾊﾞﾗｰﾄﾞ
	43	ShuffleBallad 2	ｼｬｯﾌﾙﾊﾞﾗｰﾄﾞ 2
JAZZ/LATIN	44	Big Band	ﾋﾞｯｸﾞﾊﾞﾝﾄﾞ
	45	Fox Trot	ﾌｫｯｸｽﾄﾛｯﾄ
	46	Swing 1	ｽｲﾝｸﾞ 1
	47	Swing 2	ｽｲﾝｸﾞ 2
	48	Jazz Combo 1	ｼﾞｬｽﾞｺﾝﾎﾞ 1
	49	Slow Swing	ｽﾛｰｽｲﾝｸﾞ
	50	Modern Jazz	ﾓﾀﾞﾝｼﾞｬｽﾞ
	51	Bossa Nova 1	ﾎﾞｻﾉﾊﾞ 1
	52	Samba 1	ｻﾝﾊﾞ 1
	53	Merengue	ﾒﾚﾝｹﾞ

グループ名	No.	リズム名	表示（日本語）
JAZZ/LATIN	54	Cha-Cha-Cha 1	ﾁｬﾁｬﾁｬ 1
	55	Salsa	ｻﾙｻ
	56	Beguine	ﾋﾞｷﾞﾝ
	57	Rhumba 1	ﾙﾝﾊﾞ 1
	58	Mambo	ﾏﾝﾎﾞ
	59	Tango	ﾀﾝｺﾞ
VARIOUS	60	Polka	ﾎﾟﾙｶ
	61	March 1	ﾏｰﾁ 1
	62	Waltz	ﾜﾙﾂ
	63	Bluegrass	ﾌﾞﾙｰｸﾞﾗｽ
	64	Country	ｶﾝﾄﾘｰ
	65	Gospel	ｺﾞｽﾍﾟﾙ
	66	Broadway	ﾌﾞﾛｰﾄﾞｳｪｲ
	67	Hawaiian	ﾊﾜｲｱﾝ
	68	Reggae	ﾚｹﾞｴ
FOR PIANO サブグループ			
(BALLAD)	69	Piano Ballad 1	ﾋﾟｱﾉﾊﾞﾗｰﾄﾞ 1
	70	Piano Ballad 2	ﾋﾟｱﾉﾊﾞﾗｰﾄﾞ 2
	71	Piano Ballad 3	ﾋﾟｱﾉﾊﾞﾗｰﾄﾞ 3
	72	Ep Ballad 1	ｴﾚﾋﾟﾊﾞﾗｰﾄﾞ 1
	73	Ep Ballad 2	ｴﾚﾋﾟﾊﾞﾗｰﾄﾞ 2
	74	Ep Ballad 3	ｴﾚﾋﾟﾊﾞﾗｰﾄﾞ 3
	75	Blues Ballad	ﾌﾞﾙｰｽﾊﾞﾗｰﾄﾞ
	76	Piano Ballad 4	ﾋﾟｱﾉﾊﾞﾗｰﾄﾞ 4
	77	Easy Listening	ｲｰｼﾞｰﾘｽﾆﾝｸﾞ
(JAZZ)	78	Jazz Combo 2	ｼﾞｬｽﾞｺﾝﾎﾞ 2
	79	Jazz Waltz	ｼﾞｬｽﾞﾜﾙﾂ
	80	Mellow Jazz	ﾒﾛｳｼﾞｬｽﾞ
	81	Jazz Combo 3	ｼﾞｬｽﾞｺﾝﾎﾞ 3
	82	Swing 3	ｽｲﾝｸﾞ 3
	83	Ragtime	ﾗｸﾞﾀｲﾑ
	84	Boogie-Woogie	ﾌﾞｷﾞｳｷﾞ
(CLASSIC)	85	Arpeggio 1	ｱﾙﾍﾟｼﾞｵ 1
	86	Arpeggio 2	ｱﾙﾍﾟｼﾞｵ 2
	87	Arpeggio 3	ｱﾙﾍﾟｼﾞｵ 3
	88	Piano Waltz 1	ﾋﾟｱﾉﾜﾙﾂ 1
	89	Piano Waltz 2	ﾋﾟｱﾉﾜﾙﾂ 2
	90	Piano Waltz 3	ﾋﾟｱﾉﾜﾙﾂ 3
(VARIOUS)	91	Piano Pop	ﾋﾟｱﾉﾎﾟｯﾌﾟ
	92	6/8 March	6/8 ﾏｰﾁ
	93	March 2	ﾏｰﾁ 2
	94	2Beat	2ﾋﾞｰﾄ
	95	Piano Waltz 4	ﾋﾟｱﾉﾜﾙﾂ 4
	96	Bossa Nova 2	ﾎﾞｻﾉﾊﾞ 2
	97	Samba 2	ｻﾝﾊﾞ 2
	98	Rhumba 2	ﾙﾝﾊﾞ 2
	99	Cha-Cha-Cha 2	ﾁｬﾁｬﾁｬ 2

NOTE

- ▭のリズムについては、ピアノのみの伴奏がつきます。これらのリズムは、コード伴奏音だけで構成されており、ドラムなどのリズム音は入っていないため、モードボタンの上のすべてのランプが消灯している状態では発音しません。いずれかのランプが点灯している状態で、コードを指定してご使用下さい。

エフェクト一覧

DSP エフェクトリスト

No.	エフェクト名
1	Reflection
2	Gate Reverb
3	Chorus
4	Ensemble
5	Delay
6	Cross Delay
7	Phaser
8	Flanger
9	Loudness
10	Tremolo
11	Auto Pan
12	Rotary
13	Distortion
14	Auto Wah
15	Ring Mod.
16	Lo-Fi

コーラスエフェクトリスト

No.	エフェクト名
1	Chorus 1
2	Chorus 2
3	Chorus 3
4	Chorus 4
5	F-backChorus
6	Flanger
7	Short Delay
8	ShortDelayFB

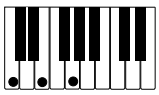
リバーブエフェクトリスト

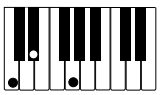
No.	エフェクト名
1	Room 1
2	Room 2
3	Room 3
4	Stage
5	Hall 1
6	Hall 2
7	Delay
8	Pan Delay

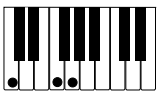
フィンガード／フルレンジコード一覧

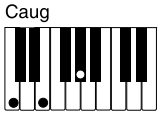
C を根音とした場合の例です。

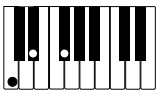
基本コード（23 種類）

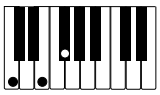
C


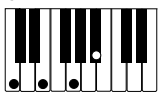
Cm


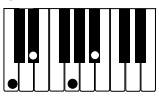
Csus4


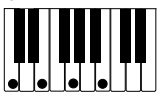
Caug


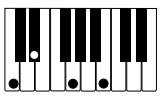
Cdim


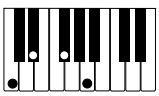
C♭5


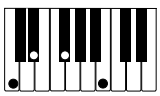
C7


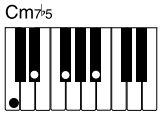
Cm7


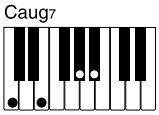
CM7


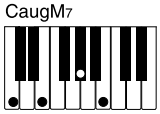
CmM7


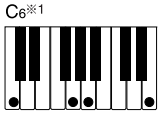
Cdim7


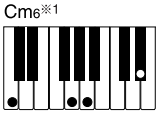
CdimM7


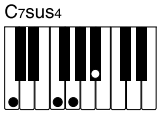
Cm7♭5


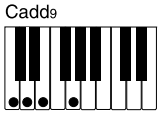
Caug7


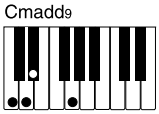
CaugM7


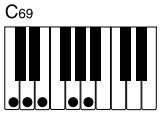
C6※1


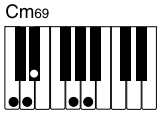
Cm6※1


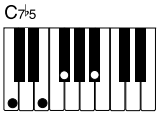
C7sus4


Cadd9


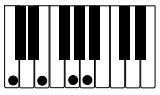
Cmadd9


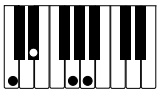
C69


Cm69


C7♭5


※ 1. 6th, m6th について
「6th Chord off」の時は上図のように、ベース音と２番目の音を５度以上離して押さえる必要があります。
「6th Chord On」の時なら次の図のように「基本形＋６度の音」で押さえれば指定できます。

C6


Cm6


オンベースコード：ベース音がコードの構成音のタイプ（33 種類）

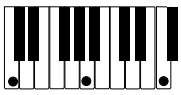
次のいずれかの場合に、最低音をベース音として、以下のコードが判別されます。

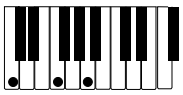
- 最低音と２番目のコードが５度以上離れているとき
- 「On Bass Chord On」の設定のとき

● ３音

F/C　A♭/C　Fm/C
Am/C　Fsus4/C　Gsus4/C
Adim/C　F♯dim/C　A♭♭5/C
F♯♭5/C

例：
F/C

On Bass Chord = Off


On Bass Chord = On


● ４音

F7/C　A♭7/C　Fm7/C　Am7/C※2
FM7/C　A♭M7/C　FmM7/C　AmM7/C
F♯dimM7/C　AdimM7/C　F♯m7♭5/C
Eaug7/C　A♭aug7/C　EaugM7/C　A♭augM7/C
F7sus4/C　G7sus4/C
Fadd9/C　A♭add9/C　Fmadd9/C　Amadd9/C
A♭7♭5/C

※ 2. ５度の音（ミ）を省略すると Am7/C と判別、省略しなければ C6 と判別します。

資料

オンベースコード：ベース音がコードの構成音以外のタイプ（122 種類）

次のいずれかの場合に、最低音をベース音として、以下のコードが判別されます。

- 最低音と２番目のコードが５度以上離れているとき
- 「On Bass Chord On」の設定のとき

● major chord type
F♯/C G/C A/C B♭/C C♯/C D/C

● minor chord type
F♯m/C Gm/C A♭m/C B♭m/C
Bm/C C♯m/C Dm/C

● sus4 type
C♯sus4/C Dsus4/C F♯sus4/C A♭sus4/C
Asus4/C Bsus4/C

● dim type
Fdim/C Gdim/C A♭dim/C Bdim/C
C♯dim/C Ddim/C

● aug type
C♯aug/C Daug/C

● major ♭5 type
C♯♭5/C F♭5/C G♭5/C A♭5/C

● 7th type
C♯7/C E♭7/C E7/C F♯7/C
G7/C A7/C B♭7/C B7/C

● m7th type
C♯m7/C E♭m7/C F♯m7/C Gm7/C
A♭m7/C B♭m7/C Bm7/C

● M7th type
DM7/C EM7/C F♯M7/C GM7/C
AM7/C B♭M7/C BM7/C

● mM7th type
DmM7/C EmM7/C F♯mM7/C GmM7/C
A♭mM7/C B♭mM7/C BmM7/C

● dim7 type
Ddim7/C

● dimM7 type
DdimM7/C FdimM7/C GdimM7/C
A♭dimM7/C B♭dimM7/C BdimM7/C

● m7♭5 type
C♯m7♭5/C E♭m7♭5/C Fm7♭5/C Gm7♭5/C
A♭m7♭5/C B♭m7♭5/C Bm7♭5/C

● aug7 type
C♯aug7/C E♭aug7/C Faug7/C F♯aug7/C
Aaug7/C B♭aug7/C

● augM7 type
DaugM7/C FaugM7/C F♯augM7/C GaugM7/C
AaugM7/C B♭augM7/C BaugM7/C

● 7sus4 type
C♯7sus4/C E♭7sus4/C E7sus4/C F♯7sus4/C
A♭7sus4/C B♭7sus4/C B7sus4/C

● add9 type
C♯add9/C Eadd9/C F♯add9/C Gadd9/C
Aadd9/C Badd9/C

● m add9 type
Dm add9/C F♯m add9/C Gm add9/C A♭m add9/C
Bm add9/C

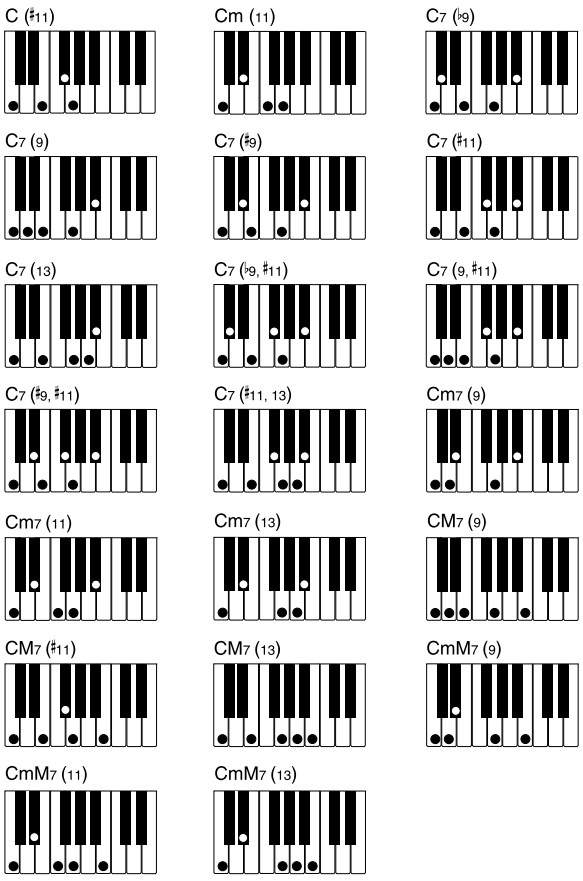
● 69 type
C♯69/C D69/C E69/C F♯69/C
G69/C A69/C B69/C

● m69 type
C♯m69/C Dm69/C Em69/C F♯m69/C
A♭m69/C Bm69/C

● 7♭5 type
C♯7♭5/C A7♭5/C B♭7♭5/C B7♭5/C

テンションコード（20 種類）

「Tension Chord On」の時、判別されます。



テンションコードのオンベースコード（39 種類）

「Tension Chord On」の時に限り、次のいずれかの場合に、最低音をベース音として、以下のコードが判別されます。

- 最低音と２番目のコードが５度以上離れているとき
- または「On Bass Chord On」の設定のとき

A♭(♯11)/C	D(♯11)/C	Fm(11)/C
D6(♯11)/C		
D7(♭9)/C	D7(9)/C	D7(♯9)/C
F7(♭9)/C	F7(♯9)/C	F7(13)/C
A♭7(♭9)/C	A♭7(9)/C	A♭7(♯11)/C
A♭7(13)/C		
D7(9,♯11)/C	D7(♯9,♯11)/C	
F7(♭9,♯11)/C	F7(9,♯11)/C	F7(♯9,♯11)/C
F7(♯11,13)/C	A♭7(♭9♯11)/C	
A♭7(9,♯11)/C	A♭7(♯9,♯11)/C	A♭7(♯11,13)/C
C♯m(11)/C	Dm(11)/C	Fm7(9)/C
Fm7(13)/C	Am7(9)/C※3	Am7(13)/C※4
C♯(♯11)/C	FM7(9)/C	FM7(♯11)/C
A♭M7(9)/C	A♭M7(♯11)/C	FmM7(9)/C
FmM7(11)/C	AmM7(9)/C	AmM7(11)/C

※3. ５度の音（ミ）を省略すると Am7(9)/C と判別、省略しなければ CM7(13) と判別します。

※4. ５度の音（ミ）を省略すると Am7(13)/C と判別、省略しなければコード判別しません。

ソングリスト

No.	グループ／原題	邦題	作曲者	表示（日本語）	アレンジレベル段階数	自動伴奏曲
STANDARD ～ スタンダード						
1	Over The Rainbow	虹の彼方に	H. Arlen	ニジノ　カナタニ	3	
2	Someday My Prince Will Come	いつか王子様が	F.Churchill	イツカ　オウジサマガ	3	
3	Waltz For Debby	ワルツ・フォー・デビー	B.Evans	ワルツ　フォー　デビ	3	
4	My Favorite Things	私のお気に入り	R.Rodgers	ワタシノ　オキニイリ	3	
5	Autumn Leaves	枯葉	J.Kosma	カレハ	3	
6	energy flow	エナジー・フロー	坂本　龍一	エナジー　フロー	3	
7	Ballade Pour Adeline	渚のアデリーヌ	P.Senneville	ナギサノ　アデリーヌ	3	
8	The Entertainer	エンターテイナー	S.Joplin	エンターテイナー	3	
9	Maple Leaf Rag	メープル・リーフ・ラグ	S.Joplin	メープルリーフラグ	3	
CLASSIC 1 ～ クラシック 1						
10	Piano Concerto No.1 Op.23 1st Mov.	ピアノコンチェルト　第1番　第1楽章	P.I.Tchaikovsky	ピアノコンチェルト　1	3	
11	March From "The Nutcracker"	行進曲「くるみ割り人形」より	P.I.Tchaikovsky	クルミワリニンギョウ	3	
12	Etude Op.10 No.3 "Chanson de l'adieu"	エチュード　作品10の3「別れの曲」	F.F.Chopin	ワカレノ　キョク	3	
13	Fantaisie-Impromptu Op.66	幻想即興曲　作品66	F.F.Chopin	ゲンソウソッキョウキョ	3	
14	Valse Op.64 No.2	ワルツ　作品64の2	F.F.Chopin	ワルツ　64-2	3	
15	Prelude Op.28 No.7	プレリュード　作品28の7	F.F.Chopin	プレリュード28-7	3	
16	Nocturne Op.9 No.2	ノクターン　作品9の2	F.F.Chopin	ノクターン　9-2	3	
17	Hungarian Dances No.5	ハンガリー舞曲　第5番	J.Brahms	ハンガリーブキョク5	3	
18	La Fille aux Cheveux de Lin	亜麻色の髪の乙女	C.A.Debussy	アマイロノ　カミノオトメ	3	
19	Arabesque No.1	アラベスク　第1番	C.A.Debussy	アラベスク　no.1	3	
20	Promenade From "Tableaux d'une Exposition"	プロムナード　「展覧会の絵」より	M.Mussorgsky	プロムナード	3	
21	Fröhlicher Landmann	楽しき農夫	R.Schumann	タノシキ　ノウフ	3	
22	Von fremden Ländern und Menschen	異国から「子供の情景」より	R.Schumann	イコクカラ	3	
23	Träumerei	トロイメライ「子供の情景」より	R.Schumann	トロイメライ	3	
24	La Prière d'une Vierge	乙女の祈り	T.Badarzewska	オトメノ　イノリ	3	
25	Gymnopédies No.1	ジムノペディ　第１曲	E.Satie	ジムノペディ　1	3	
26	Je Te Veux	ジュ・トゥ・ヴ	E.Satie	ジュ・トゥ・ヴ	3	
27	Liebesträume No.3	愛の夢　第3番	F.Liszt	アイノ　ユメ　no.3	3	
28	Moments Musicaux Op.94 No.3	楽興の時　作品94の3	F.P.Schubert	ガッキョウノ　トキ　3	3	
29	Impromptu Op.142 No.3 "Thema"	即興曲　作品142の3　テーマ	F.P.Schubert	アムプロムプチュ	3	
30	La Chevaleresque	貴婦人の乗馬	F.Burgmüller	キフジンノジョウバ	3	
31	O mio babbino caro From "Gianni Schicchi"	お父様にお願い　オペラ「ジャンニ・スキッキ」より	G.Puccini	オトウサマニ　オネガイ	3	
CLASSIC 2 ～ クラシック 2						
32	Canon in D Major	カノン　ニ長調	J.Pachelbel	パッヘルベルノカノン	3	
33	Klavierbüchlein für Anna Magdalena Bach "Menuet"	メヌエット「アンナ・マグダレーナのためのクラヴィーア小曲集」より	J.S.Bach	バッハノ　メヌエット	2	
34	Invention No.1	インヴェンション　第１番	J.S.Bach	インヴェンション　1	3	
35	Invention No.13	インヴェンション　第13番	J.S.Bach	インヴェンション　13	3	
36	Wohltemperierte Klavier I Praeludium 1	平均律　クラヴィーア曲集　Ⅰ　プレリュード　第1番	J.S.Bach	ヘイキンリツ I-1 P	3	

PI40JA01-1.book　104 ページ　２００３年１２月１１日　木曜日　午後１時５０分

No.	グループ／原題	邦題	作曲者	表示（日本語）	アレンジレベル段階数	自動伴奏曲
37	Goldberg-Variationen　Aria	ゴールトベルク変奏曲より　アリア	J.S.Bach	ゴールトベルクアリア	3	
38	Goldberg-Variationen　Var.30	ゴールトベルク変奏曲より　第30変奏	J.S.Bach	ゴールトベルクV30	3	
39	Sonata K.545 1st Mov.	ソナタ　K.545　第1楽章	W.A.Mozart	ソナタ　K.545 1M	3	
40	Variations on "Ah, Vous Dirai-je,Maman" K.265	きらきら星変奏曲より	W.A.Mozart	キラキラボシ　ヘンソウ	3	
41	Sonata K.331 1st Mov. Theme	ソナタ　K.331　第1楽章　テーマ	W.A.Mozart	ソナタ　K.331テーマ	3	
42	Sonata K.331 3rd Mov. "Turkish March"	ソナタ　K.331　第3楽章　トルコ行進曲	W.A.Mozart	トルコ　コウシンキョク	3	
43	Sonatina Op.36 No.1 1st Mov.	ソナチネ　作品36の1　第１楽章	M.Clementi	クレメンティノ　ソナチネ	2	
44	Sonata Op.13 "Pathétique" 2nd Mov.	ソナタ　作品13「悲愴」第2楽章	L.v.Beethoven	ソナタ　ヒソウ　2Mov	3	
45	Sonata Op.27 No.2 "Moonlight" 1st Mov.	ソナタ　作品27の2「月光」第1楽章	L.v.Beethoven	ソナタ　ゲッコウ　1M	3	
46	Für Elise	エリーゼのために	L.v.Beethoven	エリーゼノ　タメニ	3	
VARIOUS ～ その他						
47	Happy Birthday To You	ハッピー・バースデイ・トゥ・ユー	M.J.Hill & P.S.Hill	ハッピーバースデイ	1	★
48	Jingle Bells	ジングル・ベル	J.Pierpont	ジングルベル	1	★
49	Silent Night	きよしこの夜	F.Gruber	キヨシ　コノヨル	1	★
50	We Wish You A Merry Christmas	おめでとうクリスマス	British Folk Song	オメデトウ　クリスマス	1	★
51	Joy To The World	もろびとこぞりて	G.F.Händel	モロビト　コゾリテ	2	
52	Auld Lang Syne	ほたるの光	Scottish Folk Song	ホタルノ　ヒカリ	1	★
53	Chopsticks	チョップスティックス	Traditional	チョップスティックス	2	
54	Neko Funjyatta	ねこふんじゃった	Unknown 作者不詳	ネコ　フンジャッタ	2	
55	Sippin' Cider Through A Straw	森のくまさん	American Folk Song	モリノ　クマサン	1	★
56	Grandfather's Clock	大きな古時計	H.Work	オオキナ　フルドケイ	1	★
57	Yankee Doodle	アルプス一万尺	American Folk Song	アルプス　イチマンジ	1	★
58	Le Pianiste-Virtuose No.1	ハノン　第１番	C.Hanon	ハノン　no.1	1	
59	Le Pianiste-Virtuose No.39 C-Am	ハノン　第39番　スケール練習　ハ長調−イ短調	C.Hanon	スケール C−Am	1	
60	Le Pianiste-Virtuose No.39 F-Dm	ハノン　第39番　スケール練習　ヘ長調−ニ短調	C.Hanon	スケール F−Dm	1	
61	Le Pianiste-Virtuose No.39 B♭-Gm	ハノン　第39番　スケール練習　変ロ長調−ト短調	C.Hanon	スケール B♭−Gm	1	
62	Le Pianiste-Virtuose No.39 E♭-Cm	ハノン　第39番　スケール練習　変ホ長調−ハ短調	C.Hanon	スケール E♭−Cm	1	
63	Le Pianiste-Virtuose No.39 A♭-Fm	ハノン　第39番　スケール練習　変イ長調−ヘ短調	C.Hanon	スケール A♭−Fm	1	
64	Le Pianiste-Virtuose No.39 D♭-B♭m	ハノン　第39番　スケール練習　変ニ長調−変ロ短調	C.Hanon	スケール D♭−B♭m	1	
65	Le Pianiste-Virtuose No.39 G♭-E♭m	ハノン　第39番　スケール練習　変ト長調−変ホ短調	C.Hanon	スケール G♭−E♭m	1	
66	Le Pianiste-Virtuose No.39 B-G♯m	ハノン　第39番　スケール練習　ロ長調−嬰ト短調	C.Hanon	スケール B−G♯m	1	
67	Le Pianiste-Virtuose No.39 E-C♯m	ハノン　第39番　スケール練習　ホ長調−嬰ハ短調	C.Hanon	スケール E−C♯m	1	
68	Le Pianiste-Virtuose No.39 A-F♯m	ハノン　第39番　スケール練習　イ長調−嬰ヘ短調	C.Hanon	スケール A−F♯m	1	
69	Le Pianiste-Virtuose No.39 D-Bm	ハノン　第39番　スケール練習　ニ長調−ロ短調	C.Hanon	スケール D−Bm	1	
70	Le Pianiste-Virtuose No.39 G-Em	ハノン　第39番　スケール練習　ト長調−ホ短調	C.Hanon	スケール G−Em	1	

PI.40.JA01-1.book　105 ページ　２００３年１２月１１日　木曜日　午後１時５０分

PI40JA01-1.book 106 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

NOTE

change : 操作により設定された値に変更する
clear : 初期値に戻す
recall : Mode遷移前、前設定に戻す

Prec : 直前のパネル情報を曲のヘッダーに記録する
Hcall : 曲や自動伴奏データのヘッダー情報を本体設定に反映させる

※ リコール項目
シーケンサー、ミュージックライブラリーの各モードを抜けて通常状態に戻ったとき、○の付いている項目については、それらモードに入る直前の通常状態での設定が復帰します。

＜本体で操作可能なパラメータ＞ 項目		設定範囲 MIN.	設定範囲 MAX.	初期値	同時押し	電源バックアップ項目 (BuckUp off時)	電源バックアップ項目 (BuckUp on時)	※リコール項目	シーケンサー記録項目 曲No. Change	シーケンサー記録項目 Sys Tr. Rec中操作	シーケンサー記録項目 グループB Tr. Rec中操作	ワンタッチプリセットで呼び出される項目	レジストレーションで呼び出される項目
Key Light	On/Off	Off	On	On	–	clear	recall (電源off直前)	○					
Transpose		–12	+12	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec			
Tempo		30	255	120	選択されているRhythmの推奨テンポ	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec		change	change
Metronome	On/Off	Off	On	Off	–	clear	clear		clear (強制offする)				
	Beat	0	12/8	4/4	4/4	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
Accomp/Song Volume						–	–						
Effect	Reverb Type	Off	Pan Delay	Hall 1	Hall 1	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec		change	change
	Chorus Type	Off	Short Delay FB	Chorus 3	Chorus 3	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec		change	change
	DSP Type	Off	Lo-Fi	Chorus	Ensemble	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec		change	change
Tone	Layer On/Off	Off	On	Off	–	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec		change	change
	Split On/Off	Off	On	Off	–	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec		change	change
	Display Part	U1	L2	U1	–	clear	recall (電源off直前)			rec		clear	clear
Auto Harmonize	On/Off	Off	On	Off	–	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec		change	change
	Type	Duet 1	Big Band	Duet 1	Duet 1	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
Rhythm	グループ選択	POPS	FOR PIANO	POPS	–	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec			
	各ｸﾞﾙｰﾌﾟ内のﾘｽﾞﾑ選択 (×6ｸﾞﾙｰﾌﾟ)	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの先頭ﾘｽﾞﾑ	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの最後のﾘｽﾞﾑ	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの先頭ﾘｽﾞﾑ	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの先頭ﾘｽﾞﾑ	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec			
	Variation選択	VARIATION 1	VARIATION 2	VARIATION 1	–	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec			
Split Point	(メロディー、伴奏共通) ※鍵盤で設定可能な範囲	A_0	C_8	$F\sharp_3$	$F\sharp_3$	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
Mode	(Normal,CC,Fin,FullRange)	Normal	Full Range Chord	Normal	–	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec			

＜本体で操作可能なパラメータ＞ 項目		設定範囲 MIN.	設定範囲 MAX.	初期値	同時押し	電源バックアップ項目 (BuckUp off時)	電源バックアップ項目 (BuckUp on時)	※リコール項目	シーケンサー記録項目 曲No. Change	シーケンサー記録項目 Sys Tr. Rec中操作	シーケンサー記録項目 グループB Tr. Rec中操作	ワンタッチプリセットで呼び出される項目	レジストレーションで呼び出される項目
Song Sequencer	Mode On/Off	Off	On	Off	–	clear	clear						
	Song No.	1	10	1	–	clear	recall (電源off直前)		change				
	ｸﾞﾙｰﾌﾟB ｶﾚﾝﾄTrack選択	Track 1	Track 16	Track 1	–	clear	clear						
	Quantize Resolution	4分音符	32分3連	4分音符	4分音符	clear	recall (電源off直前)						
Music Library	Mode on/off	Off	On	Off	–	clear	clear						
	Song No.	STANDARDの先頭曲	VARIOUSの最後の曲	STANDARDの先頭曲	STANDARDの先頭曲	clear	recall (電源off直前)						
Repeat	Repeat ﾓｰﾄﾞ (off/ﾌﾚｰｽﾞ/ｾｸｼｮﾝ)	Off	ｾｸｼｮﾝ	Off	–	recall (電源off直前)	recall (電源off直前)						
	Repeat ﾌﾚｰｽﾞ No.	1	曲の最後のﾌﾚｰｽﾞ	1	–	clear	recall (電源off直前)						
	ｾｸｼｮﾝ Repeat ｽﾀｰﾄﾎﾟｲﾝﾄ	曲の頭	曲の最後の直前	曲の頭	–	clear	recall (電源off直前)						
	ｾｸｼｮﾝ Repeat ｴﾝﾄﾞﾎﾟｲﾝﾄ	曲の頭の直後	曲の最後	曲の最後	–	clear	recall (電源off直前)						
Advanced Lesson System	ｱﾚﾝｼﾞﾚﾍﾞﾙ(1、2、3)	1	3	3	–	clear	recall (電源off直前)						
	Part Select(Left,Right,Both)	Left	L+R(Both)	L+R(Both)	–	clear	recall (電源off直前)						
	3Step Lesson Step No.	1	3	–	–	clear	–						
Function													
Tune	Master Tune	415.3	466.2	440	440	–	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Baroque Pitch	Off	On	Off	Off	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Stretch Tune	Off	On	On	On	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Scale Type(平、純長、純短、ﾋﾟﾀ、中全、ﾍﾞﾙ、ｷｭﾙ)	Equal	Kirnberger	Equal	Equal	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Scale Root(C～B)	C	B	C	C	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
Sound	Brilliance	−12	12	0	0	recall (電源off直前)	recall (電源off直前)						
	Equalizer:Speaker	1	3	2	2	recall (電源off直前)	recall (電源off直前)						
Lesson	Speak (Off, English, Japanese)	Off	Japanese	English	English	recall (電源off直前)	recall (電源off直前)						
	Repeat	Off	On	On	On	recall (電源off直前)	recall (電源off直前)						
	Pre Count	Off	On	On	On	clear	recall (電源off直前)		Hcall				
General	Touch (Off, Light,Normal,Heavy)	Off	Heavy	Norm.	Norm.	clear	recall (電源off直前)	○					
	Metronome Volume	0	127	100	100	clear	recall (電源off直前)						

PI140JA01-1.book 107 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

＜本体で操作可能なパラメータ＞ 項目		設定範囲 MIN.	設定範囲 MAX.	初期値	同時押し	電源バックアップ項目 (BuckUp off時)	電源バックアップ項目 (BuckUp on時)	※リコール項目	シーケンサー記録項目 曲No. Change	シーケンサー記録項目 Sys Tr. Rec中操作	シーケンサー記録項目 グループB Tr. Rec中操作	ワンタッチプリセットで呼び出される項目	レジストレーションで呼び出される項目
	Memory BuckUp	Off	On	Off	Off	–	–						
	Demo2	Off	On	On	On	clear	recall (電源off直前)						
Display	Contrast	0	127	25	25	recall (電源off直前)	recall (電源off直前)						
	Display Hold	Off	On	Off	Off	clear	recall (電源off直前)						
	Language	English	Japanese	English	English	recall (電源off直前)	recall (電源off直前)						
Pedal	Left	Soft	DSP	Soft	Soft	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Sus Length	1	Hold	Hold	Hold	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
Accomp	Chord Hold	Off	On	On	On	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Lower Hold	Off	On	Off	Off	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Mixer Hold	Off	On	Off	Off	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	On Bass Chord	Off	On	Off	Off	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Tension Chord	Off	On	Off	Off	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	6th Chord	Off	On	On	On	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
MIDI	Navi. Ch.(R Part)	Off	16	4	4	clear	recall (電源off直前)						
	Navi. Ch.(L Part)	Off	16	3	3	clear	recall (電源off直前)						
	Accomp MIDI Out	Off	On	Off	Off	clear	recall (電源off直前)						
	MIDI In Chord Judge	Off	On	Off	Off	clear	recall (電源off直前)						
	Realtime Message MIDI Out	Off	On	Off	Off	clear	recall (電源off直前)						
	Device ID	1	32	17	17	clear	recall (電源off直前)						
	Local Control	Off	On	On	On	clear	clear	○					
MIDI Tx ch	ｸﾞﾙｰﾌﾟ (Off, A、B)	Off	B	A	A	clear	recall (電源off直前)						
	A(U1～C5)	Ch.1	Ch.16	Partによる	Ch. 1	clear	recall (電源off直前)						
	B(Part 1 ～16)	Ch.1	Ch.16	Partによる	Ch. 1	clear	recall (電源off直前)						
MIDI Rx ch	B(Part 1 ～16)	Off	Ch.16	Partによる	Ch. 1	clear	recall (電源off直前)						
System	DSP Volume	0	127	127	127	clear	recall (電源off直前)						
	DSP Pan	-64	63	0	0	clear	recall (電源off直前)						

PI140JA01-1.book 108 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

＜本体で操作可能なパラメータ＞ 項目		設定範囲 MIN.	設定範囲 MAX.	初期値	同時押し	電源バックアップ項目 (BuckUp off時)	電源バックアップ項目 (BuckUp on時)	※リコール項目	シーケンサー記録項目 曲No. Change	シーケンサー記録項目 Sys Tr. Rec中操作	シーケンサー記録項目 グループB Tr. Rec中操作	ワンタッチプリセットで呼び出される項目	レジストレーションで呼び出される項目
	DSP Reverb Send	0	127	40	40	clear	recall (電源off直前)						
	DSP Chorus Send	0	127	0	0	clear	recall (電源off直前)						
	Master Volume	0	127	127	127	clear	recall (電源off直前)	○					
	Master Pan	−64	63	0	0	clear	recall (電源off直前)	○					
Initialize	Ext.Part, Parameter All, All	−	−	−	−								
MIXER	グループAカレントPart選択	1	16	1	−	clear	clear						
	グループBカレントPart選択	1	16	1	−	clear	clear						
	グループA/B選択	A	B	A	−	clear	clear		clear				
U1～L2	音色グループ選択	PIANO ｸﾞﾙｰﾌﾟ	最後の ｸﾞﾙｰﾌﾟ	Partによる	(Mixerでの +−同押: Pianoｸﾞﾙｰﾌﾟ)	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec		change	change
	各音色ｸﾞﾙｰﾌﾟ内での音色選択 (×6ｸﾞﾙｰﾌﾟ)	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの 先頭音色	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの 最後の音色	Partによる	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの 先頭音色	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec		change	change
	Part On/Off	Off	On	On	On	clear	clear	○	Hcall			change	change
	Volume	0	127	127	100	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
	Pan	−64	63	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
	Reverb Depth	0	127	40	40	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
	Chorus Depth	0	127	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
	DSP On/Off	Off	On	Off (U2のみOn)	Off	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
	Coarse Tune	−24	24	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
	Fine Tune	−64	63	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
Harmo1/2	音色グループ選択	PIANO ｸﾞﾙｰﾌﾟ	最後の ｸﾞﾙｰﾌﾟ	Partによる	(Mixerでの +−同押: Pianoｸﾞﾙｰﾌﾟ)	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec(U1/2に連動)		change	change
	各音色ｸﾞﾙｰﾌﾟ内での音色選択 (×6ｸﾞﾙｰﾌﾟ)	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの 先頭音色	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの 最後の音色	Partによる	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの 先頭音色	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall	rec(U1/2に連動)		change	change
	Part On/Off	Off	On	On	On	clear	clear	○	Hcall			change	change
	Volume	0	127	95	100	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
	Pan	−64	63	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
	Reverb Depth	0	127	40	40	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
	Chorus Depth	0	127	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
	DSP On/Off	Off	On	H1:Off、 H2:On	Off	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
	Coarse Tune	−24	24	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change

PI140JA01-1.book 109 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

＜本体で操作可能なパラメータ＞ 項目		設定範囲 MIN.	設定範囲 MAX.	初期値	同時押し	電源バックアップ項目 (BuckUp off時)	電源バックアップ項目 (BuckUp on時)	※リコール項目	シーケンサー記録項目 曲No. Change	シーケンサー記録項目 Sys Tr. Rec中操作	シーケンサー記録項目 グループB Tr. Rec中操作	ワンタッチプリセットで呼び出される項目	レジストレーションで呼び出される項目
	Fine Tune	−64	63	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall			change	change
Accomp	音色グループ選択 (Bass,Chord1～5) (Drum,Percﾊﾟｰﾄはﾄﾞﾗﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ)	PIANO ｸﾞﾙｰﾌﾟ	最後の ｸﾞﾙｰﾌﾟ	伴奏ﾃﾞｰﾀによる	(Mixerでの＋−同押: Pianoｸﾞﾙｰﾌﾟ)	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	各音色ｸﾞﾙｰﾌﾟ内音色 (×6ｸﾞﾙｰﾌﾟ Drum,Perc ではﾄﾞﾗﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ)	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの先頭音色	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの最後の音色	伴奏ﾃﾞｰﾀによる	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの先頭音色	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Part On/Off	Off	On	On	On	clear	clear		Hcall				
	Volume	0	127	伴奏ﾃﾞｰﾀによる	100	clear	recall (電源off直前)		Hcall				
	Pan	−64	63	伴奏ﾃﾞｰﾀによる	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Reverb Depth	0	127	伴奏ﾃﾞｰﾀによる	40	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Chorus Depth	0	127	伴奏ﾃﾞｰﾀによる	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	DSP On/Off	Off	On	Off	Off	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Coarse Tune	−24	24	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Fine Tune	−64	63	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
グループB (1～16)	音色グループ選択	PIANO ｸﾞﾙｰﾌﾟ	最後の ｸﾞﾙｰﾌﾟ	PIANOｸﾞﾙｰﾌﾟ (Part10は Drum)	(Mixerでの＋−同押: Pianoｸﾞﾙｰﾌﾟ)	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	各音色ｸﾞﾙｰﾌﾟ内での音色選択	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの先頭音色	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの最後の音色	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの先頭音色	各ｸﾞﾙｰﾌﾟの先頭音色	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Part On/Off	Off	On	On	On	clear	clear	○	Hcall				
	Volume	0	127	100	100	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Pan	−64	63	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Reverb Depth	0	127	40	40	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Chorus Depth	0	127	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	DSP On/Off	Off	On	Off	Off	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Coarse Tune	−24	24	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				
	Fine Tune	−64	63	0	0	clear	recall (電源off直前)	○	Hcall				

NOTE

上記以外で録音できるものは、以下のとおりです。

- 伴奏コントローラー（Synchroスイッチ含む）操作
- レジストレーション呼出し操作
- ワンタッチプリセット呼出し操作
- ペダル操作
- 鍵盤操作

PI40JA01-1.book 110 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

MIDI インプリメンテーション

チャンネルメッセージ

- 各パートが受信するチャンネルメッセージのチャンネルナンバーは、本体の「受信チャンネル設定」の各パートの設定に従います。設定をオフにすると、そのパートでチャンネルメッセージは受信されません。
- 本体の「MIDI インコードジャッジ」がオンの時は、「受信チャンネル設定」のパート 1 で設定されているチャンネルの、本体で設定されているコード判定可能な鍵域のノートメッセージで、本体の自動伴奏のコード指定ができます。

ノートメッセージ

■ ノートオフ

受信
フォーマット

第 1 バイト	第 2 バイト	第 3 バイト
8nH	kkH	vvH
9nH	kkH	00H

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)
kk.....ノートナンバー＝ 00H ～ 7FH
vv.....ノートオフベロシティ＝ 00H ～ 7FH

動作
ノートオフベロシティの値は無視します。

送信
フォーマット

第 1 バイト	第 2 バイト	第 3 バイト
8nH	kkH	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)
kk.....ノートナンバー＝ 15H ～ 6CH
vv.....ノートオフベロシティ＝ 40H

■ ノートオン

受信
フォーマット

第 1 バイト	第 2 バイト	第 3 バイト
9nH	kkH	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)
kk.....ノートナンバー＝ 00H ～ 7FH
vv.....ノートオンベロシティ＝ 00H ～ 7FH

動作
ノートナンバー＝ 00H ～ 7FH です。

送信
フォーマット

第 1 バイト	第 2 バイト	第 3 バイト
9nH	kkH	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)
kk.....ノートナンバー＝ 15H ～ 6CH
vv.....ノートオンベロシティ＝ 01 ～ 7FH

ポリフォニックキープレッシャー

フォーマット

第 1 バイト	第 2 バイト	第 3 バイト
AnH	kkH	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)
kk.....ノートナンバー＝ 00H ～ 7FH
vv.....プレッシャーバリュー＝ 00H ～ 7FH

受信動作
システムエクスクルーシブメッセージで効果を設定します。

送信動作
ポリフォニックキープレッシャーの送信は行いません。

MIDI インプリメンテーション

コントロールチェンジ

■ バンクセレクト

フォーマット

第1バイト	第2バイト	第３バイト
BnH	00H	mmH (バンクセレクト MSB)
BnH	20H	llH (バンクセレクト LSB)

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

mm.....バンクナンバー MSB ＝ 00H ～ 7FH

ll.....バンクナンバー LSB ＝ 00H ～ 7FH

受信動作
ll の値は無視されます。

送信動作
このメッセージは、音色選択のときに送信されます。

■ モジュレーションホイール

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	01H	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....モジュレーションデプス＝ 00H ～ 7FH

受信動作
システムエクスクルーシブメッセージでモジュレーションの種類を設定します。

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

■ ポルタメントタイム

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	05H	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....ポルタメントタイム＝ 00H ～ 7FH

■ データエントリー

フォーマット

第1バイト	第2バイト	第３バイト
BnH	06H	mmH (データエントリー MSB)
BnH	26H	llH (データエントリー LSB)

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

mm.....RPN、NRPN で設定した機能のデータ値の MSB

ll.....RPN、NRPN で設定した機能のデータ値の LSB

■ チャンネルボリューム

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	07H	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....ボリューム＝ 00H ～ 7FH

送信動作
ミキサーボリュームを変更したときに送信されます。

PL40JA01-1.book 113 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

■ パン

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	0AH	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....パン＝ 00H（左定位）～ 40H（中央定位）～ 7FH（右定位）

受信動作
ドラムパートでは、各ドラムパートノートナンバーのパンの設定から相対的に変化します。

送信動作
ミキサーパンを変更したときに送信されます。

■ エクスプレッションコントローラー

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	0BH	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....エクスプレッション＝ 00H ～ 7FH

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

■ ホールド１（ダンパーペダル）

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	40H	vvH

受信動作

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....ホールド１＝ 00H ～ 7FH (00H ～ 3FH：OFF, 40H ～ 7FH：ON)

送信動作

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....ホールド１＝ 00H, 7FH (00H : OFF, 7FH : ON)

ダンパーペダルを操作したときに送信されます。

■ ポルタメント

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	41H	vvH

受信動作

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....ポルタメント＝ 00H ～ 7FH (00H ～ 7EH : OFF, 7FH : ON)

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

■ ソステヌート

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	42H	vvH

受信動作

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....ソステヌート＝ 00H ～ 7FH (00H ～ 3FH : OFF, 40H ～ 7FH : ON)

送信動作

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....ソステヌート＝ 00H, 7FH (00H : OFF, 7FH : ON)

ソステヌートペダルを操作したときに送信されます。

MIDI インプリメンテーション

■ ソフト

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	43H	vvH

受信動作

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....ソフト＝00H～7FH (00H～3FH : OFF, 40H ～ 7FH : ON)

送信動作

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....ソフト＝ 00H, 7FH (00H : OFF, 7FH : ON)

ソフトペダルを操作したときに送信されます。

■ サウンドコントローラ２（レゾナンス）

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	47H	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....フィルターレゾナンス＝ 00H ～ 7FH

送信動作

このメッセージの送信は行いません。

■ サウンドコントローラ３（リリースタイム）

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	48H	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....アンプリリースタイム＝ 00H ～ 7FH

送信動作

このメッセージの送信は行いません。

■ サウンドコントローラ４（アタックタイム）

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	49H	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....アンプアタックタイム＝ 00H ～ 7FH

送信動作

このメッセージの送信は行いません。

■ サウンドコントローラ５（ブライトネス）

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	4AH	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....フィルターカットオフフリケンシー＝00H～ 7FH

送信動作

このメッセージの送信は行いません。

■ ポルタメントコントロール

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	54H	kkH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

kk.....ソースノートナンバー＝ 00H ～ 7FH

送信動作

このメッセージの送信は行いません。

■ エフェクト１（リバーブセンドレベル）

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	5BH	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....リバーブセンドレベル＝ 00H ～ 7FH

送信動作
ミキサーリバーブセンドを操作したときに送信されます。

■ エフェクト３（コーラスセンドレベル）

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	5DH	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....コーラスセンドレベル＝ 00H ～ 7FH

送信動作
ミキサーコーラスセンドを操作したときに送信されます。

■ NRPN

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	63H	pmH (MSB)
BnH	62H	plH (LSB)

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

pm.....NRPN の MSB

pl.....NRPN の LSB

受信動作

- 定義外の NRPN 番号でも受信し設定保持しますが、その後データエントリーの値を受信しても無視されます。
- 各機能は、NRPN の MSB と LSB を受信して機能が指定された後にデータエントリーのMSBを受信することで設定されます。データエントリーの LSB を受信しても、無視されます。

送信動作
NRPN に割り当てられたパラメータを変更する操作をしたときに送信されます。

ビブラートレイト

NRPN MSB = 01H
NRPN LSB = 08H
Data Entry MSB = mmH

mm.....ビブラートレイト＝ 00H ～ 40H ～ 7FH (－64 ～ 0 ～＋63)

受信動作
受信するとプリセット値に対する相対値を設定します。40H (0) のときに相対値が 0 になります。

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

ビブラートデプス

NRPN MSB = 01H
NRPN LSB = 09H
Data Entry MSB = mmH

mm.....ビブラートデプス＝ 00H ～ 40H ～ 7FH (－64 ～ 0 ～＋63)

受信動作
受信するとプリセット値に対する相対値を設定します。40H (0) のときに相対値が 0 になります。

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

ビブラートディレイ

NRPN MSB = 01H
NRPN LSB = 0AH
Data Entry MSB = mmH

mm.....ビブラートディレイ＝ 00H ～ 40H ～ 7FH (－64 ～ 0 ～＋63)

受信動作
受信するとプリセット値に対する相対値を設定します。40H (0) のときに相対値が 0 になります。

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

フィルターカットオフフリケンシー

NRPN MSB = 01H
NRPN LSB = 20H
Data Entry MSB = mmH

mm.....カットオフフリケンシー＝00H～40H～7FH (－64 ～ 0 ～＋63)

受信動作
受信するとプリセット値に対する相対値を設定します。40H (0) のときに相対値が 0 になります。

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

フィルターレゾナンス

NRPN MSB = 01H
NRPN LSB = 21H
Data Entry MSB = mmH

mm.....フィルターレゾナンス＝ 00H ～ 40H ～ 7FH (－64 ～ 0 ～＋63)

受信動作
受信するとプリセット値に対する相対値を設定します。40H (0) のときに相対値が 0 になります。

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

フィルター／アンプエンベロープアタックタイム

NRPN MSB = 01H
NRPN LSB = 63H
Data Entry MSB = mmH

mm.....フィルター／アンプエンベロープアタックタイム＝00H～40H～7FH (－64～0～＋63)

受信動作
受信するとプリセット値に対する相対値を設定します。40H (0) のときに相対値が 0 になります。

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

フィルター／アンプエンベロープディケイタイム

NRPN MSB = 01H
NRPN LSB = 64H
Data Entry MSB = mmH

mm.....フィルター／アンプエンベロープディケイタイム＝00H～40H～7FH (－64～0～＋63)

受信動作
受信するとプリセット値に対する相対値を設定します。40H (0) のときに相対値が 0 になります。

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

フィルター／アンプエンベロープリリースタイム

NRPN MSB = 01H
NRPN LSB = 66H
Data Entry MSB = mmH

mm.....フィルター／アンプエンベロープリリースタイム＝00H～40H～7FH (－64～0～＋63)

受信動作
受信するとプリセット値に対する相対値を設定します。40H (0) のときに相対値が 0 になります。

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

■ RPN

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	65H	qmH (MSB)
BnH	64H	qlH (LSB)

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

qm.....RPN の MSB

ql.....RPN の LSB

受信動作

- 定義外の RPN 番号でも受信し設定保持しますが、その後データエントリーの値を受信しても無視されます。
- 各機能は、RPN の MSB と LSB を受信して機能が指定された後にデータエントリーの MSB を受信することで設定されます。データエントリーの LSB を受信しても無視されます。

送信動作
RPN に割り当てられたパラメータを変更する操作をしたときに送信されます。

PL40JA01-1.book 117 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

ピッチベンドセンシティビティー

RPN MSB = 00H
RPN LSB = 00H
Data Entry MSB = mmH

mm.....ピッチベンドセンシティビティー= 00H ～ 18H (0 ～ 24 半音)

受信動作
Data Entry LSB を受信した場合は無視されます。

送信動作
このメッセージは伴奏機能で送信されます。

マスターファインチューニング

RPN MSB = 00H
RPN LSB = 01H
Data Entry MSB = mmH
Data Entry LSB = llH

mm, ll....マスターファインチューニング= 00 00H ～ 40H 00H ～ 7FH 7FH (－100 ～ 0 ～ ＋99.99 セント)

送信動作
ミキサーファインチューンを操作したときに送信されます。

マスターコースチューニング

RPN MSB = 00H
RPN LSB = 02H
Data Entry MSB = mmH

mm.....マスターコースチューニング= 28H ～ 40H ～ 58H (－24 ～ 0 ～＋24 半音)

受信動作
Data Entry LSB を受信した場合は無視されます。

送信動作
ミキサーコースチューンを操作したときに送信されます。

ヌル

RPN MSB = 7FH
RPN LSB = 7FH

受信動作
RPN ヌルを受信すると、以後新たに RPN ヌル以外の機能が指定されるまで、RPN、NRPN 共に Data Entry MSB, LSB を受信しても無視されます。

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

プログラムチェンジ

フォーマット

第１バイト	第２バイト
CnH	ppH

pp.....プログラムナンバー= 00H ～ 7FH

受信動作
ドラムパートは、バンクセレクト MSB が 00H 以外に設定されている場合は、このメッセージを受信した場合、無視して 00H として扱い、プログラムチェンジを行います。

送信動作
音色選択を行ったときに送信されます。

チャンネルプレッシャー

フォーマット

第１バイト	第２バイト
DnH	vvH

vv.....プレッシャーバリュー= 00H ～ 7FH

受信動作
システムエクスクルーシブメッセージで効果を設定します。

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

MIDI インプリメンテーション

ピッチベンドチェンジ

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
EnH	llH	mmH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

ll.....ピッチベンドチェンジ LSB ＝ 00H ～ 7FH

mm.....ピッチベンドチェンジ MSB ＝ 00H ～ 7FH

受信動作

- ピッチが最低になるときの llH mmH は、00H 00H です。ピッチの中央位置は 00H 40H で得られます。ピッチが最高になるのは 7FH7FH です。
- ピッチベンドチェンジは常に LSB と MSB の 14 ビットで設定します。

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

チャンネルモードメッセージ

■ オールサウンドオフ

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	78H	00H

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

受信動作
受信した MIDI チャンネルで演奏しているすべての音を直ちに消音します。

送信動作
このメッセージの送信は行いません。

■ リセットオールコントローラー

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	79H	00H

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

受信動作
以下のコントローラーをリセットします。

コントローラー名	リセット値
ポリフォニックキープレッシャー	vvH ＝ 00H
モジュレーションホイール	vvH ＝ 00H
エクスプレッションコントローラー	vvH ＝ 7FH
ホールド 1	vvH ＝ 00H
ポルタメント	vvH ＝ 00H
ソステヌート	vvH ＝ 00H
ソフト	vvH ＝ 00H
NRPN	msb ＝ 7FH, lsb ＝ 7FH
RPN	msb ＝ 7FH, lsb ＝ 7FH
チャンネルプレッシャー	vvH ＝ 00H
ピッチベンドチェンジ	llH mmH = 00H 40H

送信動作
機器のモード切り換えの際などに送信されます。

PL40JA01-1.book 119 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

■ オールノートオフ

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	7BH	00H

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

受信動作
受信した MIDI チャンネルで、発音中の音をすべてノートオフします。受信時にホールド１またはソステヌートがオンのときは、発音を続けます。

送信動作
このメッセージは送信されません。

■ オムニモードオフ

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	7CH	00H

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

受信動作
受信時には、オールノートオフメッセージとして機能します。

送信動作
このメッセージは送信されません。

■ オムニモードオン

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	7DH	00H

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

受信動作
このメッセージを受信しても、オムニモードオンにはなりません。オールノートオフメッセージとして機能します。

送信動作
このメッセージは送信されません。

■ モノモードオン

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	7EH	vvH

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

vv.....モノモードチャンネル数＝ 00H ～ 10H

受信動作
このメッセージを受信しても、モノモードにはなりません。単にオールサウンドオフメッセージと、オールノートオフメッセージとして機能します。

送信動作
このメッセージは送信されません。

■ ポリモードオン

フォーマット

第１バイト	第２バイト	第３バイト
BnH	7FH	00H

n.....ボイスチャンネルナンバー＝ 0H ～ FH (Ch.1 ～ Ch.16)

受信動作
チャンネル n をモード３にします。
オールサウンドオフメッセージと、オールノートオフメッセージとしても機能します。

送信動作
このメッセージは送信されません。

システムメッセージ

システムリアルタイムメッセージ

■ アクティブセンシング

フォーマット

第 1 バイト
FEH

受信動作
一度アクティブセンシングを受信してからは、400msec 以内になんらかのメッセージが送られてくることを期待するようになります。
もしも送られてこないと、オールサウンドオフ、オールノートオフ、リセットオールコントローラーの処理を行います。

送信動作
このメッセージは送信されません。

■ タイミングクロック

フォーマット

第 1 バイト
F8H

受信動作
このメッセージは受信しません。

送信動作
本体の「リアルタイムメッセージ出力」の設定がオンの時、伴奏やソングが再生したときにこのメッセージが送信されます。

■ スタート

フォーマット

第 1 バイト
FAH

受信動作
このメッセージは受信しません。

送信動作
本体の「リアルタイムメッセージ出力」の設定がオンの時、伴奏やソングが再生したときにこのメッセージが送信されます。

■ ストップ

フォーマット

第 1 バイト
FCH

受信動作
このメッセージは受信しません。

送信動作
本体の「リアルタイムメッセージ出力」の設定がオンの時、伴奏やソングが再生したときにこのメッセージが送信されます。

システムコモンメッセージ

本機では、システムコモンメッセージの送受信は行いません。

ユニバーサルシステムエクスクルーシブメッセージ

■ GM システムオン

フォーマット

F0H 7EH 7FH 09H 01H F7H

送信動作
このメッセージは送信されません。

■ リバーブパラメータ（リバーブタイプの設定）

フォーマット

F0 7F 7F 04 05 01 01 01 01 01 pp vv F7

Reverb Type:
pp = 0 ;
vv = 0 : Room1
= 1 : Room2
= 2 : Room3
= 3 : Hall1
= 4 : Hall2
= 6 : Delay
= 7 : Pan Delay
= 8 : Stage

送信動作

リバーブスイッチ等、リバーブタイプ設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作

リバーブタイプが設定されます。

■ コーラスパラメータ（コーラスタイプの設定）

フォーマット

F0 7F 7F 04 05 01 01 01 01 02 pp vv F7

Reverb Type:
pp = 0 ;
vv = 0 : Chorus1
= 1 : Chorus2
= 2 : Chorus3
= 3 : Chorus4
= 4 : F-backChorus
= 6 : Flanger
= 7 : Short Delay
= 8 : ShortDelayFB

送信動作

コーラススイッチ等、コーラスタイプ設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作

コーラスタイプが設定されます。

その他

各モード別の MIDI の送受信条件は、以下のとおりです。

モード	IN	OUT
通常状態	○	○
ミュージックライブラリー	×	×
シーケンサー	○※1	○
ディスク	○※2	○
デモ	×	×
デモ２	×	×

※ 1. 録音不可

※ 2. 鳴らすのみ

■ マスターボリューム

フォーマット

F0H 7FH 7FH 04H 01H llH mmH F7H

ll..... マスターボリューム LSB

mm..... マスターボリューム MSB

受信動作

常に受信します。

送信動作

このメッセージの送信は行いません。

MIDI インプリメンテーション

システムエクスクルーシブメッセージ

F0 44 7E 02 00 [SysExDevID] 40 20 05 0D 00 00 2F 00 00 00 00 il ih 04 00 pp 07 vl vh F7

[SysExDevID]：システム・エクスクルーシブ・デバイス ID 00H ～ 1FH, 7FH

機器を判別するための番号で、送受信において一致しないと認識しない。ただし 7FH はユニバーサル・デバイス ID なので、本体の設定に関わらず無条件に認識します。

※ 本機の説明においてはデフォルト値の 10H または 7FH を用いています。

il : Parameter ID Low
ih : Parameter ID High
pp : Part 指定の必要があるパラメータはここに設定
vl : 7bit Low Data :
vh : 7bit High Data : 14bit 長のデータまで対応

■ DSP タイプ

F0 44 7E 02 00 10 40 20 05 0D 00 00 2F 00 00 00 00 01 00 04 00 00 07 vl 00 F7

vl = 00 : Reflection
vl = 01 : Gate Reverb
vl = 02 : Chorus
vl = 03 : Ensemble
vl = 04 : Delay
vl = 05 : Cross Delay
vl = 06 : Phaser
vl = 07 : Flanger
vl = 08 : Loudness
vl = 09 : Tremolo
vl = 0A : AutoPan
vl = 0B : Rotary
vl = 0C : Distortion
vl = 0D : Auto Wah
vl = 0E : Ring Mod.
vl = 0F : Lo-Fi

送信動作
DSP スイッチ等、DSP タイプ切り替え操作をしたときメッセージが送出されます。

受信動作
DSP タイプを切り替えます。

■ DSP オン／オフ

F0 44 7E 02 00 10 40 20 05 0D 00 00 2F 00 00 00 00 02 00 04 00 00 07 vl 00 F7

vl = 0 : Off
vl = 1 : On

送信動作
DSP スイッチ等、DSP 機能のオン／オフ操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
DSP オン／オフが設定されます。

■ DSP ボリューム

F0 44 7E 02 00 10 40 20 05 0D 00 00 2F 00 00 00 00 03 00 04 00 00 07 vl 00 F7

vl = 0 ～ 7F :

送信動作
機能スイッチ等、DSP ボリュームの設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
DSP ボリュームが設定されます。

■ DSP パン

F0 44 7E 02 00 10 40 20 05 0D 00 00 2F 00 00 00 00 04 00 04 00 00 07 vl 00 F7

Insertion Pan Right Level：インサーションエフェクトのパンポット

vl = 0 ～ 7F : 40 で Offset されている。

送信動作
機能スイッチ等、DSP パンの設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
DSP パンが設定されます。

PL40JA01-1.book 123 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

■ DSP コーラス・センド・レベル

F0 44 7E 02 00 10 40 20 05 0D 00 00 2F 00 00 00 00 05 00 04 00 00 07 vl 00 F7

vl = 0 ～ 7F :

送信動作
機能スイッチ等、DSP コーラス・センド・レベルの設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
DSP コーラス・センド・レベルが設定されます。

■ DSP リバーブ・センド・レベル

F0 44 7E 02 00 10 40 20 05 0D 00 00 2F 00 00 00 00 06 00 04 00 00 07 vl 00 F7

vl = 0 ～ 7F :

送信動作
機能スイッチ等、DSP リバーブ・センド・レベルの設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
DSP リバーブ・センド・レベルが設定されます。

■ 伴奏／ソング音量

F0 44 7E 02 00 10 40 20 05 0D 00 00 2F 00 00 00 00 0D 00 04 00 00 07 vl 00 F7

vl = 0 ～ 7F :

送信動作
伴奏／ソング音量つまみ等、伴奏／ソング音量の設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
伴奏／ソング音量が設定されます。

■ パートの DSP オン／オフ

F0 44 7E 02 00 10 40 20 05 0D 00 00 2F 00 00 00 00 10 00 04 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)
vl = 0 : Off
vl = 1 : On

送信動作
ミキサー等、パートの DSP オン／オフ設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
パートの DSP オン／オフが設定されます。

■ マスター・チューン

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 10 00 08 00 00 00 0F vl vh 00 F7

範囲
0018H : －100.0[cent] : 下限 : 参考設定値 vl = 18H, vh = 00H : A_4 = 415.3Hz
0400H : 0.0[cent] : 中央値 : 参考設定値 vl = 00H, vh = 08H : A_4 = 440Hz
07E8H : ＋100.0[cent] : 上限 : 参考設定値 vl = 68H, vh = 0FH : A_4 = 466.2Hz

送信動作
機能等、マスター・チューン設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
マスター・チューンが設定されます。

■ マスター・キーシフト（トランスポーズ）

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 11 00 08 00 00 00 07 vl 00 F7

範囲
28H : －24 [semitones] : 下限
40H : 0 [semitones] : 中央値
58H : ＋24 [semitones] : 上限

送信動作
トランスポーズ等、マスター・キーシフト設定操作したときメッセージが送出されます。バロック・ピッチオンのときは－１オフセットされる。

受信動作
マスター・キーシフトが設定されます。

※ 本体トランスポーズスイッチ操作では範囲（34H －4CH）を送出。

MIDI インプリメンテーション

■ マスター・パン

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 13 00 08 00 00 00 07 vl 00 F7

範囲
00H : －64 (left)
40H : 0 (center)
7FH : ＋64 (right)

送信動作
機能等、マスター・パン設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
マスター・パンが設定されます。

※ 但し、00H = 01H

■ ストレッチ・チューン（チューン機能）

F0 44 7E 02 00 10 40 20 05 0D 00 00 2F 00 00 00 00 00 00 04 00 00 07 vl 00 F7

vl = 00H : Off
vl = 01H : On

送信動作
機能等、ストレッチ・チューン設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
ストレッチ・チューンの設定がされます。

■ スケール・チューン

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 77 00 48 00 00 pp 00 00 0C 07

V00V00 00 V01V01 00 V02V02 00 V03V03 00 V04V04 00 V05V05 00 V06V06 00 V07V07 00 V08V08 00 V09V09 00 V10V10 00 V11V11 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
V00V00 - V11V11 = 00H : −64 (cents)
V00V00 - V11V11 = 40H : 0 (cents)
V00V00 - V11V11 = 7FH : +63 (cents)

12 音階の各音程の微調整をします。
この機能を利用することにより、12 平均律、純正調などの調律を設定することができます。

key	C	C♯	D	D♯	E	F	F♯	G	G♯	A	B♭	B
ScaleNum	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

ScaleNum 00から11までのチューニングを設定します。
中央値は 40H です。

送信動作
機能の音律設定等、スケール・チューン操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
スケール・チューンの設定がされます。

※ 本体の音律設定操作による送出メッセージ

基音 C で A のチューニングを±0（中央値）としたときの例

Equal
F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 77 00 48 00 00 10 00 00 0C 07
40 00 40 00 40 00 40 00 40 00 40 00 40 00 40 00 40 00 40 00 40 00 F7

JustMaj
F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 77 00 48 00 00 10 00 00 0C 07
50 00 33 00 54 00 60 00 42 00 4E 00 31 00 52 00 35 00 40 00 62 00 44 00 F7

JustMin
F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 77 00 48 00 00 10 00 00 0C 07
50 00 71 00 54 00 60 00 42 00 4E 00 6F 00 52 00 5E 00 40 00 62 00 44 00 F7

Pythago
F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 77 00 48 00 00 10 00 00 0C 07
3A 00 48 00 3E 00 34 00 42 00 38 00 46 00 3C 00 4A 00 40 00 36 00 44 00 F7

Mean
F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 77 00 48 00 00 10 00 00 0C 07
4A 00 32 00 43 00 54 00 3C 00 4D 00 35 00 47 00 2F 00 40 00 51 00 39 00 F7

Werck
F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 77 00 48 00 00 10 00 00 0C 07 4C 00 42 00 44 00 46 00 42 00 4A 00 40 00 48 00 44 00 40 00 48 00 44 00 F7

Kirnber
F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 77 00 48 00 00 10 00 00 0C 07 4A 00 40 00 43 00 44 00 3C 00 48 00 40 00 47 00 42 00 40 00 46 00 3E 00 F7

■ リバーブ・レベル

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 03 00 08 00 00 00 07 vl 00 F7

リバーブ音のリターン（出力）レベルを設定します。

value	level
00H	0 (%)
40H	100 (%)
7FH	200 (%)

送信動作
リバーブ・スイッチ等、リバーブ・レベル設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
リバーブ・レベルの設定がされます。

※ 本体リバーブ・スイッチ操作による送出メッセージ

vl = 00H : Off
vl = 40H : On

■ コーラス・レベル

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 09 00 08 00 00 00 07 vl 00 F7

コーラス音のリターン（出力）レベルを設定します。

value	level
00H	0 (%)
40H	100 (%)
7FH	200 (%)

送信動作
コーラス・スイッチ等、コーラス・レベル設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
コーラス・レベルの設定がされます。

※ 本体コーラス・スイッチ操作による送出メッセージ

vl = 00H : Off
vl = 40H : On

■ パート・オン／オフ（ノートメッセージの受信の ON/OFF 設定）

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 20 00 08 00 00 pp 00 vl F7

0H : OFF
1H : ON

pp =Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)
vl = 00H : Off
vl = 01H : On

送信動作
ミキサー等、パート・オン／オフ設定操作したときメッセージが送出されます。

受信動作
パート・オン／オフの設定がされます。

※ 本体ミキサー操作では、グループ A/B 選択に関わらず PartB : 10H ～ 1FH のみメッセージが送出されます

チャンネル、ポリフォニック・アフター・タッチの受信動作について

※ 本機操作による送信は行いません。受信のみ行います。

NOTE

- アフターを使用するにあたって、初期電源オン時、イニシャライズ後、Rx.Caf、Rx.Paf はオンになります。したがって Rx.Caf、Rx.Paf をオフにする場合は、所定のメッセージにより Rx.Caf、Rx.Paf のオフを受けた場合にかぎります。

■ チャンネル・アフター・タッチの受信オン／オフ

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 1C 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

vl = 00H : Off
vl = 01H : On

■ ポリフォニック・アフター・タッチの受信オン／オフ

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 1 F 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

vl = 00H : Off
vl = 01H : On

チャンネル・アフター・タッチの効果

■ チャンネル・アフター・タッチによる Pitch 変化の設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 47 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 28H : －24 (semitones)
vl = 40H : 0 (semitones)
vl = 58H : ＋24 (semitones)

■ チャンネル・アフター・タッチによるフィルターカットオフ変化の設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 48 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : －9600 (cents)
vl = 40H : 0 (cents)
vl = 7FH : ＋9600 (cents)

■ チャンネル・アフター・タッチによるアンプ変化の設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 49 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : －100.0 (%)
vl = 40H : 0.0 (%)
vl = 7FH : ＋100.0 (%)

■ チャンネル・アフター・タッチによる Lfo1 の周波数変化の設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 4A 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : －10.0 (Hz)
vl = 40H : 0.0 (Hz)
vl = 7FH : ＋10.0 (Hz)

■ チャンネル・アフター・タッチによる Lfo1 のピッチ変調の深さの設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 4B 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : 0 (cents)
vl = 7FH : 600 (cents)

■ チャンネル・アフター・タッチによる Lfo1 のフィルターカットオフの変調の深さの設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 4C 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : 0 (cents)
vl = 7FH : 2400 (cents)

PL40JA01-1.book 127 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

■ チャンネル・アフター・タッチによる Lfo1 のアンプ振幅の変調の深さの設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 4D 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : 0 (%)
vl = 7FH : 100 (%)

■ チャンネル・アフター・タッチによる Lfo2 の周波数変化の設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 4E 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : －10.0 (Hz)
vl = 40H : 0.0 (Hz)
vl = 7FH : ＋10.0 (Hz)

■ チャンネル・アフター・タッチによる Lfo2 のピッチ変調の深さの設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 4F 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : 0 (cents)
vl = 7FH : 600 (cents)

■ チャンネル・アフター・タッチによる Lfo2 のフィルターカットオフの変調の深さの設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 50 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : 0 (cents)
vl = 7FH : 2400 (cents)

■ チャンネル・アフター・タッチによる Lfo2 のアンプ振幅の変調の深さの設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 51 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : 0 (%)
vl = 7FH : 100 (%)

ポリフォニック・アフター・タッチの効果

■ ポリフォニック・アフター・タッチによるピッチ変化の設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 53 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 28H : －24 (semitones)
vl = 40H : 0 (semitones)
vl = 58H : ＋24 (semitones)

■ ポリフォニック・アフター・タッチによるフィルターカットオフ変化の設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 54 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : －9600 (cents)
vl = 40H : 0 (cents)
vl = 7FH : ＋9600 (cents)

■ ポリフォニック・アフター・タッチによるアンプ変化の設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 55 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : －100.0 (%)
vl = 40H : 0.0 (%)
vl = 7FH : ＋100.0 (%)

■ ポリフォニック・アフター・タッチによる Lfo1 の周波数変化の設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 56 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : －10.0 (Hz)
vl = 40H : 0.0 (Hz)
vl = 7FH : ＋10.0 (Hz)

■ ポリフォニック・アフター・タッチによる Lfo1 のピッチ変調の深さの設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 57 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : 0 (cents)
vl = 7FH : 600 (cents)

■ ポリフォニック・アフター・タッチによる Lfo1 のフィルターカットオフの変調の深さの設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 58 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : 0 (cents)
vl = 7FH : 2400 (cents)

■ ポリフォニック・アフター・タッチによる Lfo1 のアンプ振幅の変調の深さの設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 59 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : 0 (%)
vl = 7FH : 100 (%)

■ ポリフォニック・アフター・タッチによる Lfo2 の周波数変化の設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 5A 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : －10.0 (Hz)
vl = 40H : 0.0 (Hz)
vl = 7FH : ＋10.0 (Hz)

■ ポリフォニック・アフター・タッチによる Lfo2 のピッチ変調の深さの設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 5B 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : 0 (cents)
vl = 7FH : 600 (cents)

■ ポリフォニック・アフター・タッチによる Lfo2 のフィルターカットオフの変調の深さの設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 5C 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : 0 (cents)
vl = 7FH : 2400 (cents)

PL40JA01-1.book 129 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

■ ポリフォニック・アフター・タッチによる Lfo2 のアンプ振幅の変調の深さの設定

F0 44 7E 02 00 10 40 20 01 00 00 00 2F 00 00 00 00 5D 00 08 00 00 pp 07 vl 00 F7

pp = Part : 0 ～ 1F (Group A : 00H ～ 0FH, Group B : 10H ～ 1FH)

範囲
vl = 00H : 0 (%)
vl = 7FH : 100 (%)

索引

英数字
３ステップレッスン 39
DSP 33
GM 64
MIDI 64
MIDI Rx Ch 78
MIDI Tx Ch 77
MIDI インコードジャッジ 66
MIDI モード 67
USB モード 67
USB 端子 67

ア
アカンプ MIDI アウト 66
アドバンスト
レッスンシステム 35, 38
アレンジレベル 38
イニシャライズ 79
インターナル 45
イントロ 26
運指音声 41
エクスターナル 45
エクスターナルトラック 51
エフェクト 33
エンディング 28
オートハーモナイズ 28
オンベース
(On Bass Chord) 24, 75
オンベースコード 101

カ
カシオコード 23, 24
クオンタイズ 61
グループ A 44
グループ B 44
コースチューン 47
コーラス 33
コーラスセンド 46

サ
シーケンサー 51
システムトラック 51
シンクロスタート 27
シンクロスタート／ストップ 27
スプリット 20
スプリットポイント 20
ソステヌートペダル 21
ソフトペダル 21
ソング 51

タ
タッチレスポンス 32
ダンパーペダル 21
チューニング 31, 71
デバイス ID 67
デモ 11
転回形 24
テンションコード 103
テンポ 25
トラック 51
トランスポーズ 31

ナ
ナビゲートチャンネル 66

ハ
パート 44
パネルレコード 59
パラメータ 46
バリエーション 26
パン 46
バンク 48
パンチイン録音 52, 58
ファインチューン 47
フィルイン 26
フィンガード 23, 24
フルレンジコード 23, 25
ブレイク 26
フレーズリピート 37

PL40JA01-1.book 131 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

マ

マルチチャンネル受信 65
ミキサー 44
ミュージックライブラリー 35, 38

ラ

リアルタイムメッセージ出力 66
リアルタイム録音 52, 55
リチウム電池 88
リバーブ 33
リバーブセンド 46
レイヤー 19
レジストレーション 48
レッスンパート 38
レベルメーター表示 13

ワ

ワンタッチプリセット 30

Model PL-40R

MIDI インプリメンテーション・チャート

Version : 1.0

ファンクション			送　信	受　信	備　考
ベーシック チャンネル	電源ＯＮ時 設定可能範囲		1 ～ 16 1 ～ 16	1 ～ 16 1 ～ 16	
モード	電源ＯＮ時 メッセージ 代　用		モード 3 × ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	モード 3 × ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	
ノート ナンバー	音　域		21～108 ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	0 ～ 127 0 ～ 127 *1	鍵盤 *1 : 音色による
ベロシティー	ノート・オン ノート・オフ		○ 9nH v= 1 ～ 127 × 8nH v = 64	○ 9nH v = 1 ～ 127 × 9nH v= 0、8nH v=**	 **: 関係なし
アフター タッチ	キー別 チャンネル別		× ×	○ ○	
ピッチ・ベンド			×	○	
コントロール チェンジ		0, 32	○	○	バンクセレクト
		1	×	○	モジュレーション
		5	×	○	ポルタメントタイム
		6, 38	○	○	データエントリー
		7	○	○	ボリューム
		10	○	○	パン
		11	×	○	エクスプレッション
		64	○	○	ホールド1
		65	×	○	ポルタメント
		66	○ *2	○	ソステヌート
		67	○ *2	○	ソフトペダル
		71	×	○	レゾナンス
		72	×	○	リリースタイム

426-JA-138B

PL40JA01-1.book 136 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

426-JA-139B

PI40JA01-1.book 137 ページ 2003年12月11日 木曜日 午後1時50分

	73	×	○	アタックタイム
	74	×	○	ブライトネス
	84	×	○	ポルタメントコントロール
	91	○	○	リバーブセンド
	93	○	○	コーラスセンド
	98, 99	○	○	NRPN LSB, MSB
	100, 101	○	○	RPN LSB, MSB
	120	×	○	オールサウンドオフ
	121	○	○	リセットオールコントローラー
プログラムチェンジ	設定可能範囲	○ 0 ～ 127 ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	○ 0 ～ 127 ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊	
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソング・ポジション	×	×	
	ソング・セレクト	×	×	
	チューン	×	×	
リアルタイム	クロック	○	×	
	コマンド	○	×	
その他	ローカル ON/OFF	×	×	
	オール・ノート・オフ	×	○	
	アクティブ・センシング	×	○	
	システムリセット	×	×	
備　考	*2：ペダルの設定により択一			

モード 1 ： オムニ・オン、ポリ　　モード 2 ： オムニ・オン、モノ　　○ ： あり
モード 3 ： オムニ・オフ、ポリ　　モード 4 ： オムニ・オフ、モノ　　× ： なし

PL40JA01-1.book 138 ページ ２００３年１２月１１日 木曜日 午後１時５０分

This recycle mark indicates that the packaging conforms to the environmental protection legislation in Germany.

これは、梱包箱がドイツの環境保護法に適合していることを示すリサイクルマークです。

CASIO

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

P MA0310-D Printed in China
PL40R-JA-1-Z